

独立行政法人国立高等専門学校機構
福島工業高等専門学校要覧



2023

機械システム工学科／電気電子システム工学科／化学・バイオ工学科／都市システム工学科／ビジネスコミュニケーション学科

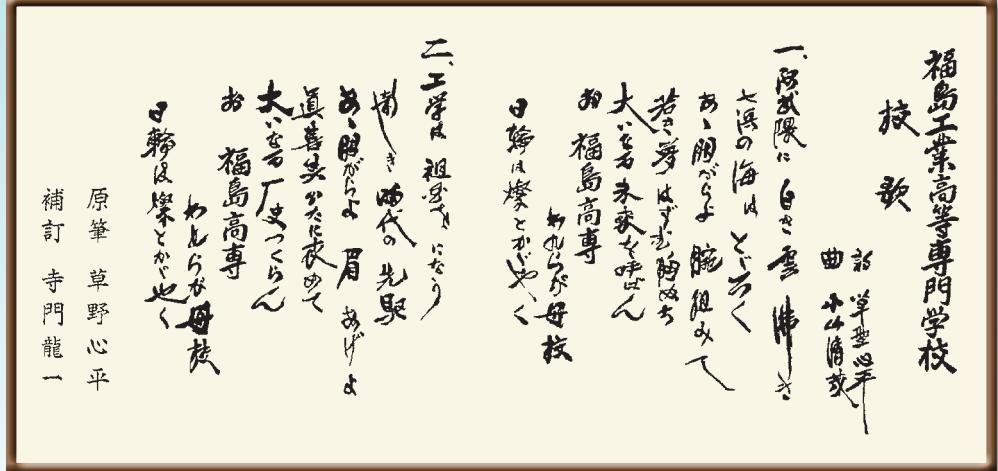
専攻科：産業技術システム工学専攻／ビジネスコミュニケーション学専攻

目次	Contents
教育理念 学習・教育目標 ポリシー等	2 Educational Philosophy, Educational Goals, Admission Policies
沿革	6 School History
歴代校長	7 Former Presidents
名誉教授	7 Professors Emeritus
組織	8 Organization
教職員数	8 Number of Staff
役職員	8 Executive Officials
組織図	9 Organizational Diagram
委員会等	9 Committees
学科紹介	10 Departments and Program
一般教科	10 Department of General Education
機械システム工学科	12 Department of Mechanical System Engineering
電気電子システム工学科	14 Department of Electrical and Electronic System Engineering
化学・バイオ工学科	16 Department of Applied Chemistry and Biochemistry
都市システム工学科	18 Department of Civil and Environmental Engineering
ビジネスコミュニケーション学科	20 Department of Business Communication
教育課程	22 Curricula
専攻科紹介	29 Programs for Advanced Courses
産業技術システム工学専攻	31 Industrial Technology System Engineering Course
ビジネスコミュニケーション学専攻	35 Business Communicology Course
持続可能な社会の発展に向けた取組	39 Projects for Sustainable Developments:SDGs Promotion Projects
廃炉に向けた人材育成の取組	40 Human Resources Development on Decommissioning Projects
原子力規制人材育成事業	41 Human Resources Development on Nuclear Regulation
福島イノベーション・コスト構想への対応	42 Contribution to the Fukushima Innovation Coast Framework
カーボンニュートラル社会連携講座	43 Carbon-Neutral Social Cooperation Lecture
サステナブルイノベーションセンター	44 Sustainable Innovation Center
図書館	45 Library
情報処理教育センター	46 Information Processing Education Center
地域環境テクノセンター	47 Center for Environmental Technology and Community Liaison (CETCL)
国際化・SDGs推進センター	49 Center for International Relations and SDGs Promotion
モノづくり教育研究支援センター	51 Manufacturing Support Center for Education and Research
学生学習支援センター	52 Student Learning Support Center
学生保健センター	53 Student Health Care Center
福利厚生施設「磐陽会館」	53 Ban'yo Student Hall and Health Center
学寮「磐陽寮」	54 Ban'yo Student Dormitory
学生	55 Student Body
学生定員及び現員	55 The Number of Students
出身地別学生数	55 The Number of Students by Home District
入学志願者状況	56 The Number of Applicants for Admission
奨学生数	56 The Number of Scholarship Students
卒業生の進路	57 Career Path of the Graduates, Class of 2022
就職者の産業別分野	57 Employment by Industry
大学等編入学状況	58 Students Continuing Education at National, Public, and Private Universities
専攻科修了生の進路	59 Place of employment / Graduate school :Advanced Course graduates
収入支出決算額	60 Finances
科学研究費助成事業及び外部資金の受入状況	60 Grant-in-Aid for Scientific Research and Acceptance of External Funds
土地・建物	60 School Grounds, Buildings and Facilities
建物配置図	61 Campus Map





校長
田口重憲



— スローガン —

持続可能な社会発展を目指し、グローバルに活躍する次世代技術者を育成する



教育理念

1. 広く豊かな教養と人間力の育成
2. 科学技術の基礎的素養と創造性及び実践性の育成
3. 固有の才能の展開と国際的な視野及びコミュニケーション能力の育成

学習・教育目標

- (A) 地球的視野から人や社会や環境に配慮し、持続可能な社会の発展に貢献できる能力を養うために、倫理・教養を身につける。
- (B) 工学およびビジネスの幅広い基礎知識の上に、融合・複合的な専門知識を修得し、知識創造の時代に柔軟に対応できる能力を身につける。
- (C) 工学系科目－ビジネス系科目の協働（シナジー）効果により、複眼的な視野を持って自ら工夫して新しい産業技術を創造できる能力を身につける。
- (D) イノベーションに即応するために、情報収集や自己学習を通して常に自己を啓発し、問題解決のみならず課題探究する能力を身につける。
- (E) モノづくりやシステムデザイン能力を養うことにより、創造的実践力を身につける。
- (F) 情報技術を活用して、グローバルなコミュニケーション能力およびプレゼンテーション能力を身につける。

福島高専ディプロマポリシー（卒業・修了認定方針）

本校では、以下の「養成する人材像」に示す人材を育成する教育内容を学習し、「卒業時・修了時に身につけるべき資質能力」を身に付け、所定の単位を修得し、卒業・修了要件を満たした学生に対して卒業・修了を認定します。

○養成する人材像

<準学士課程（本科）、専攻科課程>

●工学系学科と専攻

- ①十分な基礎学力の上に専門知識を修得し、知識創造の時代に柔軟に対応できるエンジニア
- ②イノベーションに即応するために、問題解決のみならず課題探究できるエンジニア
- ③モノづくりと環境保全の調和に配慮し、持続可能な社会の発展に貢献できるエンジニア
- ④グローバルなコミュニケーション能力を備え、ビジネス系の知識も獲得した実践的エンジニア

●ビジネス系学科と専攻

- ①自己実現ができるビジネス・スペシャリスト
- ②グローバルなコミュニケーション能力を有するビジネス・スペシャリスト
- ③論理的思考に優れたビジネス・スペシャリスト
- ④長期的な視野をもち、持続可能な社会の実現に貢献するビジネス・スペシャリスト

準学士課程(本科)の各学科で養成する人材像

学 科	養 成 す る 人 材 像
機械システム工学科	機械工学の専門知識を持って他分野の技術も取り入れることで、高度化するシステムに対処し、常に発展する新しいモノづくりを担うことができる機械技術者を育成する
電気電子システム工学科	電気・電子・情報の技術を応用することでシステムを構築し、産業界の多様な問題を解決できるクリエイティブな技術者を育成する
化学・バイオ工学科	持続可能な社会を実現するために、物理化学、無機化学、分析化学、有機化学、生物化学、化学工学などの専門分野の基礎知識を身につけ、化学製品、材料、食品など物質生産の分野において幅広く活躍できる化学技術者を育成する
都市システム工学科	持続可能な建設技術を基礎に、社会基盤施設の維持・管理分野や自然災害に対する防災・減災分野で活躍できるシビルエンジニアを育成する
ビ ジ ネ ス コミュニケーション学科	社会に対して広く関心を持ち、進展するグローバル化に対応できるリテラシー（語学や情報など）を身につけるとともに、環境問題に配慮し持続可能な社会に貢献できる人材を育成する

専攻科課程の各専攻で養成する人材像

産業技術システム工学専攻

本科の機械システム工学科、電気電子システム工学科、化学・バイオ工学科、都市システム工学科のそれぞれの専門分野の基礎学力を充実させ、その応用性や専門性を深める。また復興人材育成特別プログラムにより地域復興に活躍できる人材を育成する。本専攻は次の4つのコースから成る。

コ ー ス	養 成 す る 人 材 像
生産・情報システム工学コース	機械系・電気系の材料工学分野及び機械加工系、電子・情報工学系を融合した教育・研究を行う。機械設計関連、システム制御関連、電子物性関連及び情報関連分野に関するより高度で応用性の高い専門科目を学び生産・情報分野で活躍できる人材を育成する。 このコースの教育研究は復興人材育成特別プログラムのロボット技術、メカトロニクス、防災通信等と密接に関係しており、これらの分野で地域の復興に活躍できる人材も育成する。
エネルギーシステム工学コース	機械系・電気系のエネルギー関連分野の教育・研究を行う。エネルギー分野に関するより高度で応用性の高い専門科目を学び、機械・電気関連のエネルギー分野で活躍できる人材を育成する。 このコースの教育研究は復興人材育成特別プログラムの再生可能エネルギー分野、原子力安全工学分野にも密接に関係しており、エネルギー関連産業で活躍できる人材も育成する。
化学・バイオ工学コース	応用化学分野・生命工学分野及びそれらの関連分野の教育・研究を行う。化学・バイオ工学科（準学士課程）専門分野の基礎学力をさらに充実させたうえで、その専門性を高める。さらに、現代の応用化学分野・生命工学分野及びそれらの関連分野における先端技術やその動向に柔軟に対応できる人材を育成する。 このコースの教育研究は、復興人材育成特別プログラムの放射線計測関連分野に關係しており、廃炉技術の重要な一分野である放射線及び放射性物質の取扱いの分野で活躍できる人材も育成する。
社会環境システム工学コース	建設・環境系の教育・研究を行う。土木工学と環境工学に関する専門知識を修得し、さらに関連科目的履修を通して複眼的視野を深める。これらを通して日々進化する先端技術に柔軟に対応しつつ、環境に配慮することのできる建設技術を身につけた人材を育成する。 このコースの教育研究は、復興人材育成特別プログラムの減災工学分野に關係しており、まちを災害から守る技術分野や災害復興に取り組む分野で活躍できる人材も育成する。

ビジネスコミュニケーション学専攻

準学士課程のビジネスコミュニケーション学科の専門的な基礎学力を充実させ、その応用性や専門性を深めることで、地域社会の発展に貢献するとともに、グローバルに活躍できる人材を育成する。本専攻は次の1つのコースから成る。

コ ー ス	養 成 す る 人 材 像
ビ ジ ネ ス コミュニケーション学科 コ ー ス	準学士課程のビジネスコミュニケーション学科で習得した社会学系知識の応用力を育み、さらに専門性を深める科目を履修する。くわえて、工学系とビジネス系のシナジー効果を期待できる科目を履修することにより、工学の基礎知識と国際社会で通用するビジネスコミュニケーション能力を併せ持つ人材を育成する。 このコースの教育研究は復興人材育成特別プログラムの各分野に關係しており、社会の持続可能性に配慮しながら地域社会の発展に貢献するとともに、たしかなコミュニケーション能力と国際感覚をもち、地域社会と国際社会の垣根をこえてグローバルに活躍できる人材も育成する。

卒業時(修了時)に身に付けるべき学力や資質・能力

準学士課程 (本科)

1. 豊かな教養と国際的な感覚を有し、継続的な自己学習ができる人間性
2. 専門分野の基礎知識とそれらの総合的応用能力
3. モノづくりやデザイン能力を有し、広い視野から問題を分析し解決できる実践力
4. 日本語や他の言語による基礎的なコミュニケーション能力
5. 福島イノベーション・コースト構想に協力し、地域課題の解決に貢献できる能力

専攻科課程

1. 地球的視野から人や社会や環境に配慮でき、生涯にわたって主体的に学び続ける能力
2. 工学およびビジネスの幅広い基礎知識の上に、融合・複合的な専門知識を修得し、知識創造の時代に柔軟に対応できる能力
3. モノづくりやデザイン能力を有し、工学系科目－ビジネス系科目の協働（シナジー）効果により複眼的な視野から問題を見つけ解決する能力
4. 国際社会で必要な情報処理能力およびコミュニケーション能力
5. 福島イノベーション・コースト構想の基本理念を理解し、地域産業基盤の構築に貢献できる能力

福島高専アドミッションポリシー（入学者受入方針）

アドミッションポリシー（入学者受入方針）は、本校の学習・教育目標を達成できる能力を持った人を入学させるための方針で、次のように定められています。

準学士課程（本科）

求める学生像

●全学科

1. 基礎的学習内容を十分に理解し、自ら学ぼうとする人（知識・技能）
2. 自ら目標を立て、達成に向けて粘り強く努力する人（思考力・判断力・表現力）
3. あらゆる物事に関心を持ち、深く探究する人（思考力・判断力・表現力）
4. 創造的な「モノづくり」に強い興味を持っている人（主体性・協働）
5. しっかりしたモラルを持ち、まわりの人たちを尊重する人（主体性・協働）

●機械システム工学科

- ① ロボット技術や機械の仕組みに興味があり、アイデアを形にしたい人
- ② 環境にやさしいエネルギー技術に関心のある人
- ③ モノづくりの知識と技術を身に付けて、将来、地域の発展に貢献したい人

●電気電子システム工学科

- ① ロボット制御技術、エネルギー技術、情報通信技術に興味があり、将来、その技術者として社会に貢献したい人
- ② 電気回路やコンピュータ、センサなどを駆使して、様々なシステムをつくりあげたい人
- ③ 電気・電子・情報について学んだ知識を応用して、自分のアイデアを形にしたい人
- ④ 電気電子技術をベースとして、農林水産業、サービス業など様々な業種に関心を持ち、これらの産業を活性化したいと考えている人

●化学・バイオ工学科

- ① 化学やバイオテクノロジーの知識と技術を身につけて、将来、その技術者として地域・社会に貢献したい人
- ② 地球に優しい化学技術や新素材をつくり、環境問題の解決、持続可能な社会の構築を目指したい人
- ③ 学んだ化学バイオ技術を、農林水産資源の生産・管理や有効活用に役立てたいと考える人

●都市システム工学科

- ① 自然環境と調和した建設技術に興味を持っている人
- ② 道路・橋・港など建設構造物の維持管理に興味を持っている人
- ③ 災害に負けない安全なまちづくりに貢献したい人

●ビジネスコミュニケーション学科

- ① 社会・経済のしくみや動きに広く関心のある人
- ② 外国語によるコミュニケーション能力を高めて、グローバルに活躍したい人
- ③ 情報リテラシーを身につけて、高度情報化社会で活躍したい人
- ④ 地球環境に配慮し、持続可能な社会の発展に貢献したい人

入学者選抜の基本方針

福島高専では以下の点を重視して、入学者の選抜を行います。

1. 中学校で学習する国語・社会・数学・理科・英語の学習内容を十分に理解していることを学力検査で評価します。
2. 中学校での成績評価が良好なことを調査書および推薦書で評価します。
3. 課題達成型推薦入試においては、モノづくりや課外活動などの課題に取り組み、顕著な結果を残していることを活動報告書で評価します。

専攻科課程

求める学生像

●全専攻

1. 専門の知識と基礎技術を有し、より高度な実践的かつ創造的技術を修得する意欲のある人（知識・技能）
2. 工学と経営の融合した分野に強い興味を持っている人（思考力・判断力・表現力）
3. 職業人としての倫理観を身につけ、専門分野で地域及び社会の発展に貢献したい人（主体性・協働）

●産業技術システム工学専攻

<生産・情報システム工学コース>

- ① 機械・電気の専門的な基礎力を有し、機械・情報を活用した創造的なモノづくりに興味を持っている人
- ② 生産・情報分野の技術者としての素養を身につけ、豊かな社会の発展に貢献することに意欲を持っている人

<エネルギーシステム工学コース>

- ① 機械・電気の専門的な基礎力を有し、エネルギー分野に興味を持っている人
- ② エネルギー分野の技術者としての素養を身につけ、豊かな社会の発展に貢献することに意欲を持っている人

<化学・バイオ工学コース>

- ① 応用化学分野・生命工学分野及びそれらの関連分野の学修と研究に打ち込み、先端技術に柔軟に対応できる知識とスキルを修得したい人
- ② 工学を修める者としての確かな倫理観を持ち、工学の発展及び地域・社会の環境改善に貢献したい人

<社会環境システム工学コース>

- ① 建設・環境工学の研究に打ち込み、先端技術に柔軟に対応する知識とスキルを修得したい人
- ② 確かな倫理観を持ち、工学の発展及び地域・社会の環境改善に貢献したい人

●ビジネスコミュニケーション学専攻

<ビジネスコミュニケーション学コース>

- ① 現代社会への幅広い関心を持ち、社会科学の研究と、語学や情報、環境問題などの関連分野の学習に打ち込む意欲を持っている人
- ② たしかなコミュニケーション能力と情報リテラシーを身につけ、地域社会と国際社会の垣根をこえてグローバルに活躍する意欲のある人

入学者選抜の基本方針

高等専門学校卒業程度の、各専門で必要な基礎的素養（工学系では、数学、各専門分野の基礎的知識・能力、ビジネス系では経営学分野の基礎的知識・能力）を有していることを評価します。評価方法は、推薦による選抜では推薦書・調査書・志望調査書、学力試験による選抜では調査書・志望調査書・学力試験、社会人特別選抜では調査書・志望調査書および面接とします。

また、外国語による国際的コミュニケーション基礎能力を有していることを、英語の資格に関する証明書で評価します。

沿革

昭和37年4月	国立学校設置法の一部を改正する法律の施行により、平工業高等専門学校が設置され、機械工学科、電気工学科、工業化学科の3学科をもって発足した。 初代校長に、福島県教育長佐藤光が任命された。 開校式並びに第1回入学式を挙行し、121名に対し入学を許可した。 仮校舎（元県立平盲ろう学校・平市才槌小路20）で授業を開始した。
昭和38年3月	本校舎並びに寄宿舎の一部（第1期工事）が竣工した。 現在地に移転した。 初めて学生祭を開催した。
4月	電気工学科実験棟・機械工学科実験棟並びに寄宿舎の一部（第2期工事）が竣工した。
10月	学校所在地の呼称を「磐陽台」と名付けた。同時に、寮は「磐陽寮」と命名した。
昭和39年3月	校旗及び校歌を制定した。
5月	第1回東北地区工業高等専門学校体育大会を本校で開催した。
6月	第一体育館新築工事が竣工した。
9月	第一体育館新築工事が竣工した。
昭和40年3月	工業化学科実験棟・機械工学科実験棟並びに寄宿舎の一部（第3期工事）が竣工した。 事務部に庶務・会計の2課が設置された。
4月	水泳プール新設工事が竣工した。
9月	校舎落成記念式典と第1回高専祭を開催した。
10月	陸上競技場（第一運動場）新設工事が竣工した。
昭和41年4月	土木工学科が設置された。 武道場新築工事が竣工した。
9月	本校所在地の市名が市町村合併により「いわき市」と改称された。
昭和42年3月	土木工学科実験棟及び寄宿舎増築工事が竣工した。 第1回卒業証書授与式を挙行し、109名に卒業証書を授与した。
3月	本校の名称を平工業高等専門学校から福島工業高等専門学校に改称した。
6月	第2種電気主任技術者認定学校の指定を受けた。
7月	昭和44年4月 事務部に学生課が設置された。 佐藤忠良氏制作の「青年の像」が建てられた。
9月	テニスコート・野球場（第二運動場）新設工事が竣工した。
昭和45年5月	創立10周年記念式典を第一体育館において挙行した。
昭和47年5月	電子計算機室新築工事が竣工した。
昭和48年3月	「建学之碑」が建てられた。
昭和49年3月	創立15周年記念のつどいを第一体育館において挙行した。
昭和52年11月	第二体育館新築工事が竣工した。
昭和53年1月	初代校長佐藤光が退任し、第二代校長に文部省管理局教育施設部長柏木健三郎が任命された。
4月	環境科学教育研究センター新築工事が竣工した。 初めて公開講座（環境科学）を開催した。
8月	一般教室増築工事が竣工した。
昭和55年3月	福利厚生施設「磐陽会館」新築工事が竣工した。
昭和56年3月	創立20周年記念式典を第一体育館において挙行した。
昭和57年6月	校長柏木健三郎が退任し、第三代校長に茨城大学教授武田二郎が任命された。
昭和59年4月	電子計算機室を情報処理教育センターに改名した。
昭和62年4月	校長武田二郎が退任し、第四代校長に茨城大学教授寺門龍一が任命された。
平成元年4月	創立30周年記念式典をいわき市平市民会館で挙行した。
平成4年10月	コミュニケーション情報学科が設置された。
平成6年4月	土木工学科が建設環境工学科に改組された。
平成7年4月	コミュニケーション情報学科棟が竣工した。
平成8年3月	工業化学科が物質工学科に改組された。
4月	校長寺門龍一が退任し、第五代校長に茨城大学教授岩松幸雄が任命された。
平成9年4月	地域交流センターが設置された。
平成13年4月	低学年棟新築工事が竣工した。
平成14年3月	創立40周年記念式典を管理棟大會議室において挙行した。
11月	校長岩松幸雄が退任し、第六代校長に茨城大学教授安久正紘が任命された。
平成15年4月	独立行政法人国立高等専門学校機構が発足した。
平成16年4月	専攻科が設置され、第1回専攻科入学式を挙行し、28名に対し、入学を許可した。 (機械・電気システム工学専攻、物質・環境システム工学専攻、ビジネスコミュニケーション学専攻の3専攻)
平成18年1月	専攻科棟新築工事が竣工した。 第1回専攻科修了証書授与式を挙行し、26名に修了証書を授与した。
3月	地域交流センターと環境科学教育センターを統合し、地域環境テクノセンターを設置した。
4月	校長安久正紘が退任し、第七代校長に茨城大学教授奈良宏一が任命された。
平成19年4月	事務部の3課を2課（総務課・学生課）に改組した。 「母子想像」が経済産業省の「近代化産業遺産」に認定された。
11月	大学評価・学位授与機関による高等専門学校機関別認証評価の認定を受けた。
平成20年3月	技術部をモノづくり教育支援センターに改組した。
平成21年4月	大学評価・学位授与機関による認定専攻科における教育の実施状況等の審査において「適」を受けた。
平成22年2月	創立50周年記念式典及び記念講演会をいわき芸術文化交流館アリオスにおいて、記念祝賀会をいわきワシントンホテル椿山荘において挙行した。
平成24年10月	校長奈良宏一が退任し、第八代校長に京都大学施設部長中村隆行が任命された。
平成26年4月	専攻科3専攻（機械・電気システム工学専攻、物質・環境システム工学専攻、ビジネスコミュニケーション学専攻）が2専攻（産業技術システム工学専攻、ビジネスコミュニケーション学専攻）5コースに改組された。
平成27年4月	学生保健センターが設置された。
平成28年4月	コミュニケーション情報学科がビジネスコミュニケーション学科に改組された。
平成29年4月	機械工学科が機械システム工学科、電気工学科が電気電子システム工学科、物質工学科が化学・バイオ工学科、建設環境工学科が都市システム工学科にそれぞれ改組された。 グローバル化推進センターが設置された。
平成30年4月	校長中村隆行が退任し、第九代校長に文部科学省大臣官房文教施設企画部長 山下治が任命された。
令和2年2月	図書館改修工事が竣工した。（昭和45年11月竣工）
令和3年12月	国際寮（隣寮）が竣工した。
令和4年3月	大学改革支援・学位授与機関が実施した高等専門学校機関別認証評価において大学評価基準に適合しているとの認定を受けた。 若葉寮が竣工した。
9月	創立60周年記念式典及び記念講演会をいわき芸術文化交流館アリオスにおいて、記念祝賀会をいわきワシントンホテル椿山荘において挙行した。
11月	第18回専攻科修了証書授与式及び第57回卒業証書授与式を挙行した。
令和5年3月	校長山下治が退任し、第十代校長に文部科学省研究振興局主任学術調査官 田口重憲が任命された。
4月	第62回入学式及び令和5年度編入学式並びに第20回専攻科入学式を各教室においてインターネットを使用して行った。

School History

National Institute of Technology, Fukushima College was founded in April 1962, as **Taira National College of Technology**. The College originally comprised three faculties, the **Department of Mechanical Engineering**, the **Department of Electrical Engineering** and the **Department of Industrial chemistry**. The **Civil Engineering Department** was added in 1966, the same year in which the City of Iwaki was formed through the merger of several existing towns and cities. The name of the school was changed to its current form in the following year.

Although classes were initially held in temporary structures, various permanent building and facilities have been constructed as follows: The main administrative and classroom building in 1963, departmental laboratory buildings between 1964 and 1967, four dormitories between 1963 and 1965, an athletic track and field in 1965, a library in 1970, a computer center in 1973, the **Environmental Science Education and Research Center** in 1979, and the **Ban'yo Student Hall and Health Center** in 1981.

In 1969 the Statue of Youth(Seinen no Zo)by the famous sculptor **Churyo Sato** was erected in front of the main administration building as the symbol of the college.

A ceremony commemorating the 30th anniversary of the founding of the school was held in 1992, along with various other events.

In 1994 the range of educational fields offered by the college was broadened when the four existing engineering departments were joined by the **Communication and Information Science Department**.

In November 2002 A ceremony commemorating the 40th anniversary of the College's founding was held in the Conference Room of the Administration Building.

In April 2004 Inauguration of Institute of National Colleges of Technology, Japan
Establishment of Advanced Engineering Courses (Advanced Course in Mechanical and Electrical System Engineering, Advanced Course in Chemical and Environmental System Engineering, and Advanced Course in Business Communication)

In January 2006 Completion of the building for Advanced Courses. Certificates were allotted for the Advanced Course Graduates.

In May 2007 Our curriculum, called "General Engineering" was authorized as a JABEE certificated program.

In April 2009 "Technical Office" was reorganized into "Manufacturing Support Center for Education and Research".

In February 2010 Education in the Advanced Courses was accredited by National Institution for Academic Degree and University Evaluation.

In October 2012 Ceremonies for 50th anniversary of the founding of the school were held, along with various other events.

In November 2022 Ceremonies for 60th anniversary of the founding of the school were held, along with various other events.

In April 2023 Osamu Yamashita, the principal of the school, retired. Shigenori Taguchi was appointed as the 10th principal of the school.

歴代校長

Former Presidents

佐藤 光 SATO Hikaru	昭和37年4月1日～ 昭和53年3月31日
柏木 健三郎 KASHIWAGI Kenzaburo	昭和53年4月1日～ 昭和59年3月31日
武田 二郎 TAKEDA Jiro	昭和59年4月1日～ 平成元年3月31日
寺門 龍一 TERAKADO Ryuchi	平成元年4月1日～ 平成9年3月31日
岩松 幸雄 IWAMATSU Sachio	平成9年4月1日～ 平成15年3月31日
安久正紘 AGU Masahiro	平成15年4月1日～ 平成19年3月31日
奈良宏一 NARA Koichi	平成19年4月1日～ 平成26年3月31日
中村 隆行 NAKAMURA Takayuki	平成26年4月1日～ 平成30年3月30日
山下 治 YAMASHITA Osamu	平成30年4月1日～ 令和5年3月31日
田口 重憲 TAGUCHI Shigenori	令和5年4月1日～

名誉教授

Professors Emeritus

武田 二郎 TAKEDA Jiro	平成元年4月1日	森川 治 MORIKAWA Osamu	平成23年4月1日
金田 誠 KANEDA Makoto	平成4年4月1日	渡辺 敏夫 WATANABE Toshio	平成25年4月1日
中山 淳一 NAKAYAMA Jun-ichi	平成7年4月1日	西山 公紀 NISHIYAMA Kiminori	平成25年4月1日
小林 伸吉 KOBAYASHI Shinkichi	平成12年4月1日	秋山 秀博 AKIYAMA Hidehiro	平成25年4月1日
坂本 智 SAKAMOTO Saoru	平成13年4月1日	奈良 宏一 NARA Koichi	平成26年4月1日
山形 弘道 YAMAGATA Hiromichi	平成14年4月1日	春日 健 KASUGA Takeshi	平成26年4月1日
岩松 幸雄 IWAMATSU Sachio	平成15年4月1日	根岸 嘉和 NEGISHI Yoshikazu	平成27年4月1日
日下部 剛資 KUSAKABE Takashi	平成15年4月1日	山ノ内 正司 YAMANOUCHI Masaji	平成29年4月1日
渡辺 洋太郎 WATANABE Yotaro	平成16年4月1日	中村 隆行 NAKAMURA Takayuki	平成30年4月1日
官野 一彦 KANNO Kazuhiko	平成16年4月1日	青柳 克弘 AOYAGI Katsuhiko	令和3年4月1日
大隈 信行 OKUMA Nobuyuki	平成18年4月1日	大槻 正伸 OHTSUKI Masanobu	令和4年4月1日
亀井 宣男 KAMEI Nobuo	平成19年4月1日	鈴木 三男 SUZUKI Mitsuo	令和4年4月1日
橋本 孝一 HASHIMOTO Koichi	平成19年4月1日	宮澤 泰彦 MIYAZAWA Yasuhiro	令和4年4月1日
渡辺 博 WATANABE Hiroshi	平成21年4月1日	石原 万里 ISHIHARA Mai	令和4年4月1日
山野 和一 YAMANO Kazuichi	平成22年4月1日	山下 治 YAMASHITA Osamu	令和5年4月1日
根本 信行 NEMOTO Nobuyuki	平成22年4月1日	鈴木 晴彦 SUZUKI Haruhiko	令和5年4月1日
井上 和人 INOUE Kazuto	平成22年4月1日	原田 正光 HARADA Masamitsu	令和5年4月1日
佐東 信司 SATO Shinji	平成23年4月1日		

シンボルツリー「けやき」School Tree:Zelkova

組織

Organization

●教職員数 Number of Staff

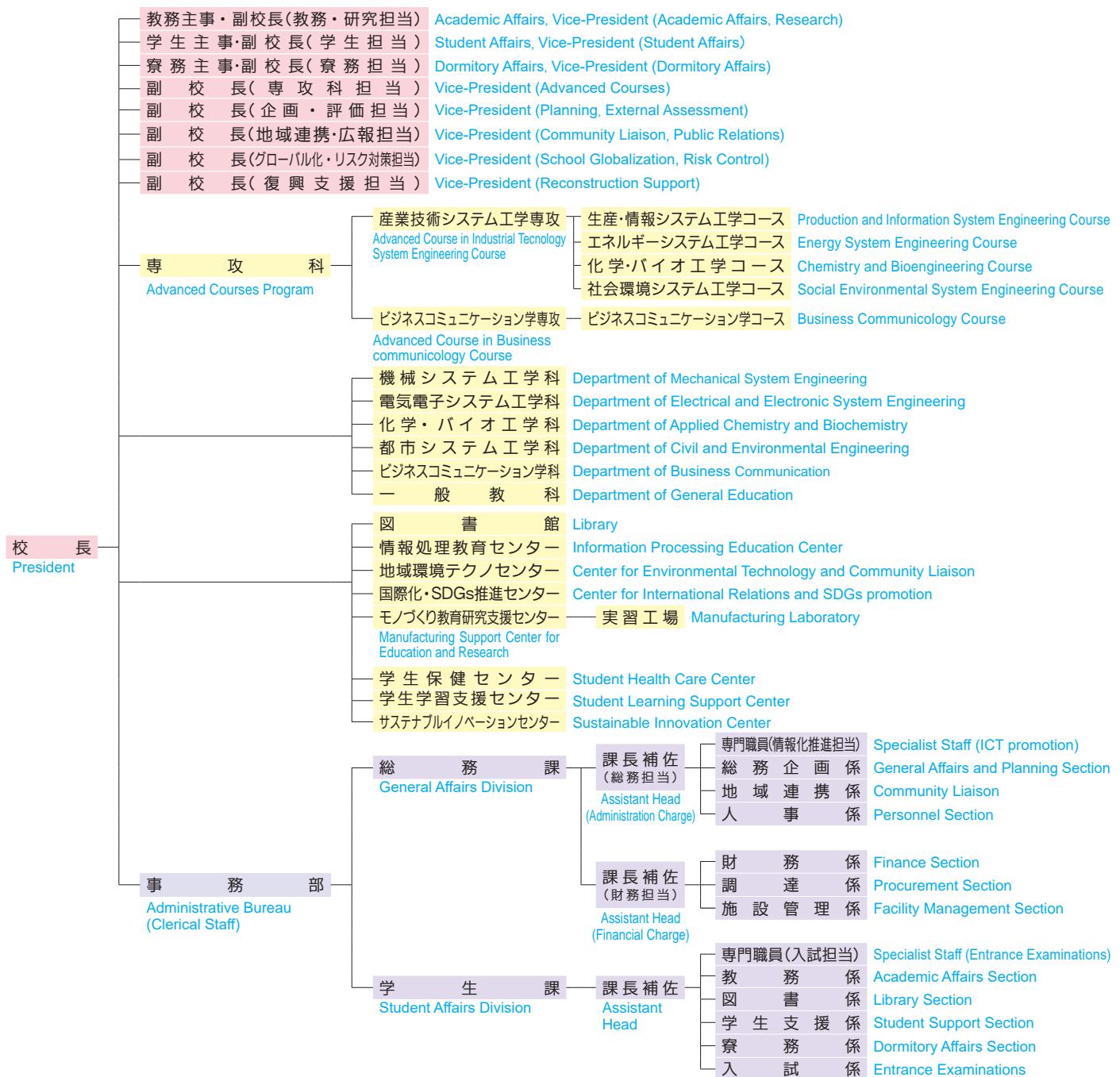
区分 Classification	教職員数 Number of Staff
校長 President	1
教授 Professor	23
准教授 Associate Professor	28 (2)
講師 Assistant Professor	4
助教 Research Associate	16 (1)
小計 Subtotal	72 (3)
事務系職員 Administrative Staff	42 (14)
計 Total	114 (17)

令和5年4月1日現在 As of April 1, 2023 ()内は女子数

●役職員 Executive Officials

校長 President	田口重憲 TAGUCHI Shigenori	国際化・SDGs推進センター長 Head of Center for International Relations and SDGs promotion	高野克宏 TAKANO Katsuhiro
教務主事・副校長(教務・研究担当) Academic Affairs Vice-President (Academic Affairs, Research)	緑川猛彦 MIDORIKAWA Takehiko	SDGs推進コーディネータ The SDGs Promotion Coordinator	梅澤洋史 UMEZAWA Hirohito
学生主事・副校長(学生担当) Student Affairs, Vice-President (Student Affairs)	笠井哲 KASAI Akira	モノづくり教育研究支援センター長 Head of Manufacturing Support Center for Education and Research	赤尾尚洋 AKAO Takahiro
寮務主事・副校長(寮務担当) Dormitory Affairs, Vice-President (Dormitory Affairs)	赤尾尚洋 AKAO Takahiro	技術専門員 Technical Chief	小口高昭 OGUCHI Takaaki
副校長(専攻科担当) Vice-President (Advanced Courses)	齊藤充弘 SAITO Mitsuhiro	技術専門職員(機械系ファクトリー グループ長) Chief Technical Official(Chief of Mechanical Factory Group)	福崎宏 FUKUZAKI Hiroshi
副校長(企画・評価担当) Vice-President (Planning, External Assessment)	植英規 UE Hidenori	技術専門職員(広域系プラクティス グループ長) Chief Technical Official(Chief of Wide Area Practice Group)	安藤守 ANDO Mamoru
副校長(地域連携・広報担当) Vice-President (Community Liaison, Public Relations)	芥川一則 AKUTAGAWA Kazunori	技術専門職員 Chief Technical Official	松口義人 MATSUGUCHI Yoshito
副校長(グローバル化・リスク対策担当) Vice-President (School Globalization, Risk Control)	高野克宏 TAKANO Katsuhiro	技術専門職員 Chief Technical Official	柳沼仁志 YAGINUMA Hitoshi
副校長(復興支援担当) Vice-President (Reconstruction Support)	鈴木茂和 SUZUKI Shigekazu	技術専門職員 Chief Technical Official	和賀宗仙 WAGA Toshinori
専攻科 Advanced Courses Program	専攻科長 Director of Advanced Courses Program	齊藤充弘 SAITO Mitsuhiro	鈴木摩耶 SUZUKI Maya
	産業技術システム工学専攻長 Head of Advanced Course in Industrial Technology System Engineering Course	齊藤充弘 SAITO Mitsuhiro	学生保健センター長 Head of Student Health Care Center
	生産・情報システム工学コース長 Head of Production and Information System Engineering Course	植英規 UE Hidenori	学生学習支援センター長 Head of Student Learning Support Center
	エネルギーシステム工学コース長 Head of Energy System Engineering Course	鄭耀陽 ZHENG Yaoyang	サステナブルイノベーションセンター長 Head of Sustainable Innovation Center
	化学・バイオ工学コース長 Head of Chemistry and Bioengineering Course	柴田公彦 SHIBATA Kimihiko	事務部長 Director of Administration Bureau
	社会環境システム工学コース長 Head of Social Environmental System Engineering Course	菊地卓郎 KIKUCHI Takuro	総務課長 Head of General Affairs
	ビジネスコミュニケーション学専攻長 Head of Advanced Course in Business Communicology Course	湯川崇 YUKAWA Takashi	課長補佐(総務担当) Assistant Head(Administration Charge)
	ビジネスコミュニケーション学コース長 Head of Business Communicology Course	湯川崇 YUKAWA Takashi	課長補佐(財務担当) (兼)調達係長 Assistant Head(Financial/Charge) and Chief of Procurement
	機械システム工学科長 Mechanical System Engineering	高橋章 TAKAHASHI Akira	専門職員(情報化推進担当) Specialist Staff(CT promotion)
	電気電子システム工学科長 Electrical and Electronic System Engineering	伊藤淳 ITO Atsushi	総務企画係長 Chief of General Affairs and planning Section
学科長 Head of Department	化学・バイオ工学科長 Applied Chemistry and Biochemistry	内田修司 UCHIDA Shuji	地域連携係長 Chief of Community Liaison
	都市システム工学科長 Civil and Environmental Engineering	齊藤充弘 SAITO Mitsuhiro	人事係長 Chief of Personnel Section
	ビジネスコミュニケーション学科長 Business Communication	湯川崇 YUKAWA Takashi	財務係長 Chief of Finance
	一般教科長 General Education	吉村忠晴 YOSHIMURA Tadaharu	施設管理係長 Chief of Facility Management
	図書館長 Head of Library	吉村忠晴 YOSHIMURA Tadaharu	学生課長 Head of Student Affairs Division
	情報処理教育センター長 Head of Information Processing Education Center	植英規 UE Hidenori	専門職員(入試担当) Specialist Staff(Entrance Examination)
	地域環境テクノセンター長 Head of Center for Environmental Technology and Community Liaison	菊地卓郎 KIKUCHI Takuro	教務係長(兼)図書係長 Chief of Academic Affairs Section and Chief of Library Section

●組織図 Organizational Diagram



●委員会等 Committees

企画会議	General Planning Committee	評価改善委員会	Inspection and Evaluation Committee
運営会議	Steering Committee	技術科学大学連携室	Network office of Universities of Technology
教員会議	Faculty Council	サステナブルイノベーションセンター運営委員会	Sustainable Innovation Center Steering Committee
専攻科会議	Advanced Courses Program Council	グリーンプログラム運営委員会	The Green Program Committee
リスク管理室	Risk Management Committee	アクティブラーニング推進委員会	Active Learning Promotion Committee
男女共同参画・キャリア教育支援室	Gender Equality and Career Education Support Room	ハラスメント対策委員会	Harassment Prevention Committee
教務委員会	Academic Affairs Committee	総合評価審査委員会	General Evaluation Committee
学生委員会	Student Affairs Committee	TOEIC実施委員会	TOEIC Committee
寮務委員会	Dormitory Affairs Committee	障害学生支援委員会	Disabled Student Support Committee
入学試験委員会	Entrance Examination Committee	動物実験委員会	Animal Research Committee
専攻科委員会	Advanced Courses Committee	研究推進ワーキンググループ	Promote Reserch Working Group
広報委員会	Public Relations Committee	図書運営委員会	Library Administration Board
安全衛生委員会	Safety and Health Committee	情報処理教育センター運営委員会	Information Processing Education Center Administration Board
組換えDNA実験安全委員会	DNA Experiment Safety Committee	地域環境テクノセンター運営委員会	CETCL Steering Committee
F D委員会	Faculty Development Committee	国際化・SDGs推進センター運営委員会	Center for International Relations and SDGs promotion Committee
情報セキュリティ管理委員会	Information Security Management Committee	モノづくり教育研究支援センター運営委員会	Manufacturing Support Center for Education and Research Steering Committee
情報セキュリティ推進委員会	Information Security Promotion Committee	学生保健センター運営委員会	Student Health Care Center Committee
知的財産委員会	Intellectual Property Committee	学生学習支援センター運営委員会	Student Learning Support Center Committee

一般教科

Department of General Education



数学 Mathematics



法学基礎 Law

一般教科の教育は、社会人・職業人として必要な教養と、専門の理論・技術の習得に必要な基礎能力とを養うことを目的としています。

そのため、教育課程は専門科目と有機的な関連を持たせ、また科目全般を通じて、学問のあり方・方法を体得させることを重視しています。

さらに教育内容の密度と効率とを高めるために、人文・社会系科目では視聴覚教材を、自然系科目では実験設備を、それぞれ活用しています。

The General Education Course helps students acquire the general knowledge to be required as well-qualified engineers along with the fundamental skills needed for their particular technological majors. The curriculum is designed to enable students to master methodology in a manner organically related to their technical education.

Various measures are utilized to enhance classes and increase their efficiency, such as the use of audio-visual aids in the humanities and social sciences, experiments ; and laboratory practicals in the sciences.

主な実験・実習の設備

Major Experimental and Practical Facilities

金属の線膨張率測定器

Measurement Apparatus for Linear Expansion Coefficient of Metal

フランク・ヘルツ実験器

Franck-Hertz Experimental Apparatus

ヤング率の測定器

Measurement Apparatus for Young's Modulus

分光器

Spectroscope

干渉による光の波長測定器

Measurement Apparatus for Light Wavelength

金属抵抗の温度係数測定器

Measurement Apparatus for Temperature Coefficient of Metal Resistance

超伝導現象の抵抗測定器

Measurement Apparatus for Resistance in Superconductive Phenomenon

電子の比電荷測定器

Measurement Apparatus for Specific Charge of Electron

放射線測定器 (GM管)

Measurement Apparatus for Radiation(GM Tube)

●教員 Academic Faculty

職名 Title	氏名(学位) Name (Degree)	主な担当科目 Main Subjects Taught	備考
教授 Professor	吉村 忠晴 (理学修士) YOSHIMURA Tadaharu (M.Sc.)	経済学 Economics	学科長 図書館長
	高野克宏 (文学修士) TAKANO Katsuhiro (M.A.)	国語 Japanese	副校長(グローバル化・リスク対策担当) 国際化・SDGs推進センター長
	笠井 哲 (文学修士) KASAI Akira (M.A.)	技術者倫理 Engineering Ethics	学生主事 副校长 (学生担当)
	根本昌樹 NEMOTO Masaki	保健・体育 Health and Physical Education	
	西浦孝治 (博士(理学)) NISHIURA Koji (D.Sc.)	数学 Mathematics	学生学習支援センター長
	川崎俊郎 (修士(文学)) KAWASAKI Toshio (M.A.)	産業経済史 History of Industry and Economy	
	高橋宏宣 (博士(文学)) TAKAHASHI Hironobu (Ph.D.)	国語 Japanese	学生保健センター長
准教授 Associate Professor	布施雅彦 (博士(学術)) FUSE Masahiko (Ph.D.)	情報基礎 Information Literacy	
	小倉恵実 (修士(歴史学)) OGURA Megumi (M.A.)	英語 English	
	木次谷聰 (修士(教育学)) KIJIYA Satoshi (M.Ed.)	保健・体育 Health and Physical Education	
	宮本拓歩 (博士(情報科学)) MIYAMOTO Takuho (Ph.D.)	数学 Mathematics	
	本田崇洋 (修士(文学)) HONDA Takahiro (M.A.)	英語 English	
	廣瀬大輔 (博士(理学)) HIROSE Daisuke (D.Sc.)	数学 Mathematics	
	飯田毅士 (博士(理学)) IIDA Takeshi (D.Sc.)	数学 Mathematics	
	澤田宰一 (博士(理学)) SAWADA Tadakazu (D.Sc.)	数学 Mathematics	
	大岩慎太郎 (博士(法学)) OHIWA Shintaro (Ph.D.)	法学 Law	
	小田洋平 (博士(工学)) KOTA Yohei (D.Eng.)	物理 Physics	
講師 Assistant Professor	大須賀心綾 (修士(教育学)) OSUGA Shinryo (M.Ed.)	英語 English	
	郭飛鴻 (修士(歴史学)) KUO Feihung (M.A.)	英語 English	
助教 Research Associate	田嶋和明 (博士(理学)) TAJIMA Kazuaki (D.Sc.)	数学 Mathematics	
	田中佑希 (博士(理学)) TANAKA Yuki (D.Sc.)	物理 Physics	
	渡部裕太 (博士(文学)) WATANABE Yuta (Ph.D.)	国語 Japanese	
	端野克哉 (博士(理学)) HASHINO Katsuya (D.Sc.)	物理 Physics	
	泉類尚貴 (修士(文学)) SENRUI Naoki (M.A.)	英語 English	
嘱託教授 Appointment Professor	宮澤泰彦 (修士(応用言語学)) MIYAZAWA Yasuhiko (M.A.)	英語 English	福島高専名誉教授
	鈴木三男 (博士(学術)) SUZUKI Mitsuo (Ph.D.)	物理 Physics	福島高専名誉教授
非常勤講師 Lecture Teaching Staff	大関貴久 OHZEKI Takahisa	保健・体育 Health and Physical Education	
	鯨岡アリソン (修士(言語学)) KUJIRAOKA Allison (M.A.)	英会話 English Communication	
	小峰啓史 (修士(工学)) KOMINE Takashi (D.Eng.)	物理 Physics	
	ジョン・ロインズ John Loynes	英会話 English Communication	
	鳶千明 SHIMA Chiaki	日本語 Japanese	
	高林拓哉 TAKABAYASHI Takuya	体育 Physical Education	
	勅使河原智子 TESHIGAWARA Tomoko	英語 English	
	トマス・デービス Thomas Davis	英会話 English Communication	
	根本正辰 NEMOTO Masatatsu	美術 Fine Arts	
	畠 薫里 HATA Kaori	日本事情 Japanese Culture and Society	
	原眞理子 HARA Mariko	英語 English	
	渡辺俊彦 WATANABE Toshihiko	数学 Mathematics	

機械システム工学科

Department of Mechanical System Engineering



機械システム工学科が期待する入学者像

The Department of Mechanical System Engineering welcomes students who:

①ロボット技術や機械の仕組みに興味があり、アイデアを形にしたい人

①have interests in mechanical engineering such as the robotics and the mechanisms, and intend to shape their own ideas.

②環境にやさしいエネルギー技術に関心のある人

②are interested in technologies for environment-friendly energies.

③モノづくりの知識と技術を身に付けて、将来、地域の発展に貢献したい人

③have a desire to acquire the expertise and technologies related to the manufacturing in order to contribute to the regional developments in future.

機械システム工学科は、機械工業はもちろん、一般産業を含めた広い分野において、科学技術の進展に対応できる機械技術者の育成をめざしています。

そのため、基礎学力の充実と各教科間の有機的な組合せによる効果的な学習をはかり、機械工業に関する諸問題を解決できる適応能力の養成につとめています。

また、設計、製作及び計測に関する機械工学の基礎的知識と技術を系統的発展的に習得させると共に、実習、実験、セミナー、卒業研究等のグループ学習を通じて創造的知見と行動力、責任感、協調性及び指導力の涵養につとめています。

The Department of Mechanical System Engineering aims to train students to become engineers who will be able to cope with the developments of science and technology in the various fields of industry.

The education programs in some fields are carried on by organizing faculty members in more than one division and provide technical backgrounds for work in practical problems.

Fundamental knowledge and skills in machine design, and manufacturing are acquired systematically.

Creativity, vitality, responsibility, cooperative spirit, and leadership are cultivated through small group studies such as Engineering Experiments, seminars in Mechanical Engineering, and Graduation Research.



モノづくり実習 Manufacturing Practice



電気自動車の分解・組み立て
Disassembly and assembly of electric vehicles

●教員 Academic Faculty

職名 Title	氏名(学位) Name (Degree)	主な担当科目 Main Subjects Taught	備考 Remarks
教授 Professor	高橋 章 (博士(工学)) TAKAHASHI Akira (D.Eng.)	伝熱工学 水力学	Heat Transfer Engineering Hydraulics 学科長
	鄭耀陽 (博士(工学)) ZHENG Yaoyang (D.Eng.)	機構学 制御工学	Mechanism Control Engineering 産業技術システム 工学専攻 エネルギー・システム 工学コース長
	赤尾尚洋 (博士(工学)) AKAO Takahiro (D.Eng.)	材料強度学	Strength and Fracture of Materials 寮務主事 副校長(寮務担当) モノづくり教育研究支援センター長
	小出瑞康 (博士(工学)) KOIDE Mizuyasu (D.Eng.)	工業力学 機械力学 I、II	Engineering Dynamics Engineering Mechanics I, II
	鈴木茂和 (博士(工学)) SUZUKI Shigekazu (D.Eng.)	材料学	Materials Engineering 副校长 (復興支援担当)
准教授 Associate Professor	松尾忠利 (博士(工学)) MATSUO Tadatoshi (D.Eng.)	材料力学 I、II 創作演習	Mechanics of Materials I, II Creative Manufacturing Practice
	篠木政利 (博士(工学)) SHINOKI Masatoshi (D.Eng.)	熱力学 エネルギー工学	Thermodynamics Energy Engineering
	野田幸矢 (博士(工学)) NODA Satsuya (D.Eng.)	設計製図 I 応用設計製図	Mechanical Design and Drawing I Applicational Mechanical Design and Drawing
助教 Research Associate	山口直也 (博士(工学)) YAMAGUCHI Naoya (D.Eng.)	機械工作法 II 設計製図 II	Mechanical Technology II Mechanical Design and Drawing II
嘱託准教授 Appointment Associate Professor	一色誠太 (博士(工学)) ISHIKI Seita (D.Eng.)	メカトロニクス 流体力学	Mechatronics Fluid Mechanics
非常勤講師 Lecture Teaching Staff	伊藤和雄 ITO Kazuo	環境科学基礎	Introduction to Environmental Science
	稻穂健市 (修士(工学)) INAHO Kenichi (M.Eng.)	知的財産権	Intellectual Property
	歌川史哲 (博士(理学)) UTAGAWA Fumiaki (D.Sc)	環境科学基礎	Introduction to Environmental Science
	小松道男 (技術士) KOMATSU Michio (PE)	生産工学	Production Engineering
	酒井清 (博士(工学)) SAKAI Kiyoshi (D.Eng.)	環境・エネルギー工学概論	Outline of Environmental and Energy Engineering
	松本匡以 (工学修士) MATSUMOTO Tadai (M.Eng.)	機械工作法 I CAD、CAM	Mechanical Technology I

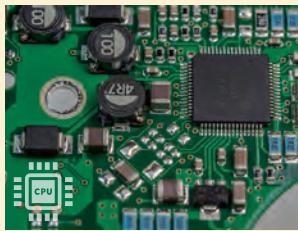
主な実験・実習の設備

Major Experimental and Practical Facilities

小型風力発電機 (LVM社製Aerozen-2) Small Wind Generator	エネルギー分散型X線分光分析装置 (JEOL JED-2140) Energy Dispersive X-ray Spectroscopy
射出成形機 (日精樹脂工業 EP5-1EF) Injection Molding Machine	油圧万能試験機 (Instron SATEC600DX) Oil Pressure Universal Testing Machine
ゴルフロボット (株)ミヤマエSHOT ROBO V) Golf Robot	200kV透過型電子顕微鏡(JEOL JEM-2000FXII) 200kV transmission electron microscope
100KN インストロン試験機 (INSTRON社 4482) Instron Universal Testing Machine	3次元デジタイザ (COMET L3D 2M) 3D digitizer
CNC三次元座標測定器 (ミツトヨCRYSTA-Apexs 574) CNC 3D-Profilometer	ハイスピードカメラ (フォトロン FASTCAM Mini) High speed Camera
FFTアナライザ (A&D社AD3525) FFT Analyzer	疲労試験機 (Instron ELECTRO PLUS E10000) Fatigue Testing Machine
シャルピー衝撃試験機 (INSTRON社 9050) Charpy Impact Test Machine	分析走査電子顕微鏡 (日本電子 JSM-6010 PLUS/LA) Analytical Scanning Electron Microscope
3Dプリンタ (KEYENCE Agillista-3110) 3D-Printer	マイクロスコープ (KEYENCE VHX-1000) Microscope
3次元CAD (Solid Works) 3D-CAD	マイクロビッカース硬さ試験機 (ミツトヨ HM-200) Hardness Testing Machine
各種ピストンエンジン (ホンダ、三菱、ヤンマー) Reciprocating Internal Combustion Engines	放射線計測システム (キャンベラ 802-3×3、OSPREY-DTB) Radiation Measurement Systems
レーザー加工機 (ユニバーサルレーザ Versa LASER VL3.50) LASER Processing Machine	

電気電子システム工学科

Department of Electrical and Electronic System Engineering



電気電子システム工学科が期待する入学者像

The Department of Electrical and Electronic System Engineering welcomes students who:

- ①ロボット制御技術、エネルギー技術、情報通信技術に興味があり、将来、その技術者として社会に貢献したい人
①are interested in robot control technology, energy technology, information and communication technology, and want to contribute to society as an engineer
- ②電気回路やコンピュータ、センサなどを駆使して、様々なシステムをつくりあげたい人
②have a desire to create various systems by using electric circuits, computers, sensors, and so on
- ③電気・電子・情報について学んだ知識を応用して、自分のアイデアを形にしたい人
③have a desire to shape their own ideas by applying knowledge learned about electricity, electronics, and information
- ④電気電子技術をベースとして、農林水産業、サービスなど様々な業種に関心を持ち、これらの産業を活性化したいと考えている人
④are interested in various industries such as agriculture, forestry, fisheries, and service, and want to activate these industries based on electrical and electronic technology



シーケンス制御実習
Sequence Control Practice

科学技術の目ざましい発展の中で、電気・電子・情報技術者は非常に重要な役割を果たしており、産業界のさまざまな分野での活躍が期待されています。

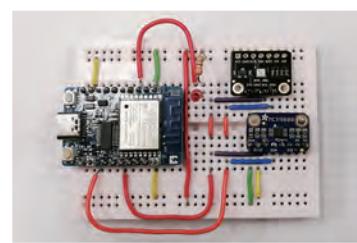
電気電子システム工学科では、電気・電子・情報技術者として必要な基礎教科について履修します。カリキュラムは電力、電子、情報の3つを柱として編成されており、個々の学生が将来の進路に合わせて必要な科目を習得できるよう選択科目も設けています。また、電気電子工学実験にも多くの時間を配しており、創作実習、卒業研究を通してさらに高度な知識と技術を身につけることができます。

なお、本学科では、第3種及び第2種電気主任技術者の資格を取得する場合、申請に必要な履修科目を開講しています。

Electrical, electronics and information engineers have contributed greatly to the progress of science and technology in recent years. As a result, they are in great demand in a wide variety of industries. In this department, students study basic subjects essential to electrical, electronics and information engineers. The curriculum is arranged around three major fields of study : electric power systems, electronics, and information processing. Elective courses are offered to enable students to choose courses in line with their hopes for the future.

Many hours are allotted to experiments on electrical and electronic engineering, and students can obtain even higher levels of knowledge and skills through Creative Manufacturing Practice and Graduation Research.

The curriculum contains many of the subjects required for students to become qualified as 2nd Class Chief Electrical Engineers.



IoT デバイス
IoT Device



IoT 実習
IoT Practice

●教員 Academic Faculty

職名 Title	氏名(学位) Name (Degree)	主な担当科目 Main Subjects Taught	備考 Remarks
教 授 Professor	伊藤 淳 (博士(工学)) <i>ITO Atsushi (D.Eng.)</i>	電気磁気学 I 電気電子材料工学	Electromagnetics I Electric and Electronic Materials Engineering
	植英規 (博士(工学)) <i>UE Hidenori (D.Eng.)</i>	電気回路基礎・実習 電気電子計測 I	Introduction to Electrical Circuits · Practice Electric and Electronic Measurements I
准 教 授 Associate Professor	濱崎 真一 (博士(理工学)) <i>HAMAZAKI Shinichi (Ph.D.)</i>	電子回路 I 電子回路設計	Electronic Circuits I Electronic Circuit Design
	山田 貴浩 (博士(工学)) <i>YAMADA Takahiro (D.Eng.)</i>	電気回路 I ディジタル回路 I	Electric Circuits I Digital Circuits I
	小泉 康一 (博士(情報科学)) <i>KOIZUMI Koichi (Ph.D.)</i>	通信工学 I 情報工学 I	Electrical Communications I Information Engineering I
	豊島 晋 (博士(工学)) <i>TOYOSHIMA Susumu (D.Eng.)</i>	電気磁気学基礎 電子回路 II	Introduction to Electromagnetics Electric Circuits II
	橋本慎也 (博士(工学)) <i>HASHIMOTO Shinya (D.Eng.)</i>	電気製図 創作実習	Electric Drawing Creative Manufacturing Practice
	佐々木 修平 (博士(工学)) <i>SASAKI Shuhei (D.Eng.)</i>	電気機器 II	Electrical Machine and Apparatus II
	大槻 正伸 (博士(工学)) <i>OHTSUKI Masanobu (D.Eng.)</i>	情報工学 II 制御工学	Information Engineering II Control Engineering
嘱託教授 Appointment Professor	鈴木 晴彦 (博士(電気工学)) <i>SUZUKI Haruhiko (D.Eng.)</i>	電気電子材料工学 パワーエレクトロニクス	Electric and Electronic Materials Engineering Power Electronics
	伊藤 和雄 <i>ITO Kazuo</i>	環境科学基礎	Introduction to Environmental Science
非常勤講師 Lecture Teaching Staff	稻穂 健市 (修士(工学)) <i>INAHO Kenichi (M.Eng.)</i>	知的財産権	Intellectual Property
	歌川 史哲 (博士(理学)) <i>UTAGAWA Fumiaki (D.Sc)</i>	環境科学基礎	Introduction to Environmental Science
	酒井 清 (博士(工学)) <i>SAKAI Kiyoshi (D.Eng.)</i>	環境・エネルギー工学概論	Outline of Environmental and Energy Engineering
	藤田 謙 <i>FUJITA Yuzuru</i>	電力工学 電気法規	Electric Power Engineering Electrical Laws and Regulations
	水井 弘幸 (修士(工学)) <i>MIZUI Hiroyuki (M.Eng.)</i>	電力工学	Electric Power Engineering
	柳平丈志 (工学博士) <i>YANAGIDAIRA Takeshi (D.Eng.)</i>	高電圧工学	High Voltage Engineering
	山本敏和 (博士(工学)) <i>YAMAMOTO Toshikazu (D.Eng.)</i>	電気機器 I	Electrical Machine and Apparatus I

主な実験・実習の設備

Major Experimental and Practical Facilities

- 基板加工機 (LPKF ProtoMat S63)
Printed Circuit Board prototyping System
- 超高真空マルチスパッタリング装置 (ケニックスksp-240ss)
Ultra High Vacuum Multi Sputtering System
- 真空蒸着装置 (昭和真空C-181A)
Vacuum Evaporation System
- シンセサイズド標準信号発生器 (YHP8656B)
Synthesized Standard Signal Generator
- 多機能同波数発振器 (NF WF1973)
Multifunction Generator
- 高速ディジタルストレージオシロスコープ (HP54810A)
High-speed Digital StorageScope
- PCM光伝送実験システム (安藤電気)
PCM Light Transmission Experimental System
- A/D電子回路解析システム
A/D Electronic Circuit Analysis and Simulation System
- ネットワーク／スペクトラムアナライザ (YHP4195A)
Network / Spectrum Analyzer
- プレシジョン・インピーダンス・アナライザ (Agilent 4294A)
Precision Impedance Analyzer
- 高压試験装置 (日新パルス電子)
High Voltage Testing System
- 高精細3Dプリンタ (KEYEN AGILISTA-3110)
High Definition 3D Printer
- 標準電圧発生装置 (横河2850)
Standard Voltage Generator
- 高温酸化物超伝導体物性評価実験システム
Experimental System for Physical Estimation of High Temperature Oxide Superconductor
- 三相同期電動機 (富士エンタープライズMG-2004-IP)
Three phase synchronous Motor
- 三相誘導電動機 (富士エンタープライズEM-103-SPⅢ)
Three phase induction Motor
- 三相変圧器 (京南電機KUT-1200A)
Three phase Transformer
- 二相ロックインアンプ (NF5610B)
Two phase Lockin Amplifier
- ロボット・FA多目的教育システム (バイナスBNK-1100S)
Robot and FA Multipurpose Educational System
- 6軸パラレルリンクロボット (ファナック M-1iA/0.5A)
6-axis Parallel link type Genkotsu-Robot

化学・バイオ工学科

Department of Applied Chemistry and Biochemistry



化学・バイオ工学科が期待する入学者像

The Department of Applied Chemistry and Biochemistry welcomes students who:

- ① 化学やバイオテクノロジーの知識と技術を身につけて、将来、その技術者として地域・社会に貢献したい人
① will acquire knowledge of chemistry and biotechnology, and skills in them, to contribute society as an engineer.
- ② 地球に優しい化学技術や新素材をつくり、環境問題の解決、持続可能な社会の構築を目指したい人
② will find the best solution to environment threats and have a hand in building a sustainable society through developing new chemical technology friendly to Earth.
- ③ 学んだ化学バイオ技術を、農林水産資源の生産・管理や有効活用に役立てたいと考える人
③ will effectively utilize the knowledge and skills for production management of agricultural, forestry, and fishery resource.

化学・バイオ工学科では、自然科学分野の基礎的な学習と、高度な応用を効率よく学ぶためのカリキュラムを提供しています。新たな科学分野の成果を取り入れた最新の教育内容を提供するため、教育内容の見直しにも取り組んでいます。また、卒業研究を通じて、問題解決のための能力を涵養することを目的としています。さまざまな教育研究の試みを通じて、理論理解と技術実践の両面においてバランスのとれた能力を身につけた技術者の育成に努めています。

We have prepared a curriculum in the Department of Applied chemistry and Biochemistry that focuses on fundamental learning in various fields of natural sciences, centered around chemistry, as well as an efficient way to learn their advanced applications. We also constantly work to update our educational content to incorporate the latest advancements in scientific fields. The graduation research project, which fifth-year students undertake for a year, is a unique educational opportunity that cultivates their ability to find problem-solving solutions with a broad perspective. Through various educational research endeavors, we are committed to fostering well-rounded professionals who can demonstrate balanced skills in both theoretical understanding and practical implementation.



化学・バイオ工学基礎実験 I

Experiment of Basic Applied Chemistry and Bioengineering I



卒業研究

Graduation Research

●教員 Academic Faculty

職名 Title	氏名(学位) Name (Degree)	主な担当科目 Main Subjects Taught	備考 Remarks
教授 Professor	内田修司(工学修士) UCHIDA Shuji (M.Eng.)	機器分析 Instrumental Analysis	学科長 Chair of Department
	天野仁司(博士(理学)) AMANO Hitoshi (D.Sc.)	生命化学 Life Science	
	車田研一(博士(工学)) KURUMADA Ken-ichi (D.Eng.)	化学工学 Chemical Engineering	
	梅澤洋史(博士(理学)) UMEZAWA Hirohito (D.Sc.)	有機化学 Organic Chemistry	SDGs推進 Coordinator of SDGs
准教授 Associate Professor	酒巻健司(博士(工学)) SAKAMAKI Kenji (D.Eng.)	物理化学 Physical Chemistry	
	押手茂克(博士(工学)) OSHITE Shigekazu (D.Eng.)	分析化学 Analytical Chemistry	
	柴田公彦(博士(工学)) SHIBATA Kimihiko (D.Eng.)	生物化学 Biochemistry	産業技術システム工学専攻化学・バイオ工学コース長 Chair of Industrial Technology System Engineering (Chemistry and Biochemistry)
	加藤健(博士(工学)) KATO Takeshi (D.Eng.)	分離分析化学 Separation Analytical Chemistry	
	森崇理(博士(工学)) MORI Takamichi (D.Eng.)	有機合成化学 Organic Synthetic Chemistry	
講師 Assistant Professor	青木寿博(工学修士) AOKI Toshihiro (M.Eng.)	化学工学 Chemical Engineering	
助教 Research Associate	十亀陽一郎(博士(理学)) SOGAME Yoichiro (D.Sc.)	微生物工学 Microbial Engineering	
	三上進一(博士(理学)) MIKAMI Shinichi (D.Sc.)	無機化学 Inorganic Chemistry	
非常勤講師 Lecture Teaching Staff	市川幸男(修士(工学)) ICHIKAWA Yukio (M.Eng.)	高分子化学 Polymer Chemistry	
	伊藤篤史 ITO Atsushi	化学プロセス概論 Chemical Process Engineering	
	伊藤和雄 ITO Kazuo	環境科学基礎 Introduction to Environmental Science	
	歌川史哲(博士(理学)) UTAGAWA Fumiaki (D.Sc.)	環境科学基礎 Introduction to Environmental Science	
	梅村一之(理学博士) UMEMURA Kazuyuki (D.Sc.)	天然物有機化学 Chemistry of Natural Organic Compounds	
	草野学 KUSANO Manabu	知的財産権 Intellectual Property	
	小松理虔 KOMATSU Riken	生物資源化学 Bioresource Chemistry	
	酒井清(博士(工学)) SAKAI Kiyoshi (D.Eng.)	環境・エネルギー工学概論 Outline of Environmental and Energy Engineering	
	多田正人(博士(理学)) TADA Masahito (D.Sc.)	化学工業概論 Introduction to Industrial Chemistry	

主な実験・実習の設備

Major Experimental and Practical Facilities

- 四重極-飛行時間型質量分析装置(ウォーターズ Xevo G2-S QToF)
Quadrupole-Time of Flight Mass Spectrometer
- 超高速高分離液体クロマトグラフ(ウォーターズ ACQUITY H-Class)
Ultra-performance liquid chromatograph
- リアルタイムPCRシステム(サーモフィッシャー StepOnePlus)
Real-Time PCR System
- DNAシーケンサー(ABI PRISM310)
DNA Sequencer
- フーリエ変換核磁気共鳴装置(JEOL RESONANCE JNM-ECX500II)
Fourier Transform Nuclear Magnetic Resonance Spectrometer
- フーリエ変換赤外分光光度計(日本分光 FT-IR4100)
Fourier Transform Infrared Spectrophotometer
- 紫外可視近赤外吸光分光光度計(日本分光 V-560, V-670)
UV-Vis-NIR Spectrophotometer
- X線光電子分光分析装置(日本電子 JPS-9010NX)
X-ray Photoelectron Spectroscopy
- 走査型電子顕微鏡(日立ハイテクノロジーズ S-3400N)
Scanning Electron Microscope
- エネルギー分散型X線分析装置(アメックス Genesis APEX2)
Energy Dispersive X-ray Spectrometer
- ICP発光分光分析装置(パーキンエルマー Optima7300DV, アジレント・テクノロジー 4210 MP-AES)
ICP-Optical Emission Spectrometer
- 波長分散型蛍光X線分析装置(リガク Supermini200)
Wavelength Dispersive X-ray Fluorescence Spectrometer
- X線回折装置(島津製作所 XRD-6000)
X-ray Diffractometer
- 熱分析システム(島津製作所 DTG-60H, SII TG-DTA7300・DSC-7000)
Thermal Analyzer System
- イオンクロマトグラフ(東ソー IC-2010)
Ion Chromatograph
- ゼータ電位・粒子径・分子量測定装置(マルバーン ゼータサイザーナ)
Molecular / Particle Size Analyzer

都市システム工学科

Department of Civil and Environmental Engineering



森のわくわく橋（県立いわき公園）

都市システム工学科が期待する入学者像

Department of Civil and Environmental Engineering welcomes students who:

- ①自然環境と調和した建設技術に興味を持っている人
①are interested in construction technology harmonized with a natural environment.
- ②道路・橋・港など建設構造物の維持管理に興味を持っている人
②are interested in infrastructure maintenance for roads, bridges and ports.
- ③災害に負けない安全なまちづくりに貢献したい人
③wish to contribute to the safe urban planning which defeat a disaster.



測量実習 Survey Training

都市システム工学科では、自然環境に配慮した道路や橋・港湾等の整備ができるとともに、古くなった道路や橋の維持管理や災害に強いまちづくりができる技術者の育成をめざしています。そのために、各種構造物の計画・設計・施工・維持管理に必要な力学系科目や自然災害を最小限に抑えるために必要な防災・減災系の科目を学びます。また、それらをしっかりと身につけるために、実験・実習を重視したカリキュラムになっています。なお、令和5年度入学生からは建築系科目も取り入れ、卒業時に2級建築士の受験資格が得られるカリキュラムになっています。

Department of Civil and Environmental Engineering aims to bring up the engineers who can construct the roads, bridges and ports considered in a natural environment and can do the maintenance of the old roads and bridges and can do the planning of disaster-resistant urban community. For it, the two subjects are provided : the subject of disaster prevention and mitigation, aimed at minimizing damage, are provided, and the other one of the planning, the design, the building and the maintenance for various structure. Students who enter this department since April 2023 have become to adopt the new curriculum with architecture-related subjects, and they will have a qualification for taking second class architect examination upon graduation.



製図法 I Drawing I for Civil and Environmental Engineering

●教員 Academic Faculty

職名 Title	氏名(学位) Name (Degree)	主な担当科目 Main Subjects Taught	備考 Remarks
教授 Professor	齊藤 充弘 (博士(工学)) SAITO Mitsuhiro (D.Eng.)	地域計画 システム工学 Regional Planning System Engineering	副校長(専攻科担当) 専攻科長 産業技術システム工学専攻 科学長
	緑川 猛彦 (博士(工学)、技術士) MIDORIKAWA Takehiko (D.Eng., PE)	材料学 コンクリート構造工学 Construction Materials Concrete Structure Engineering	教務主任 副校長(教務・研究担当) サステナブルイノベーションセンター長
	菊地 卓郎 (博士(工学)) KIKUCHI Takuro (D.Eng.)	水理学 水防災工学 Hydraulics Hydraulic Engineering for Disaster Prevention	産業技術システム工学専攻 社会環境システム工学コース長 地域環境テクノセンター長
准教授 Associate Professor	高荒智子 (博士(工学)) TAKAARA Tomoko (D.Eng.)	水処理工学 I Water Treatment Engineering I	
講師 Assistant Professor	金高義 (博士(工学)) KIM Kou (Ph.D.)	水処理工学 II Water Treatment Engineering II	
助教 Research Associate	浅野 寛元 (博士(工学)) ASANO Hiroyoshi (D.Eng.)	維持・管理工学基礎 コンクリート構造設計演習 Outline of Infrastructure Maintenance Engineering Exercises on Reinforced Concrete Structure	
	丹野淳 (博士(工学)) TANNO Jun (D.Eng.)	環境保全概論 防災学 Introduction to Environmental Conservation Disaster Prevention Engineering	
	三浦拓也 (博士(工学)) MIURA Takuya (D.Eng.)	地盤工学 応用地盤工学 Geotechnical Engineering Applied Geotechnical Engineering	
	相馬悠人 (博士(工学)) SOMA Yuto (D.Eng.)	構造のシビックデザイン II 工学実験・演習 Structural Mechanics on Civic Design II Experiments and Exercises in Civil and Environmental Engineering	
特任教授 Specially Appointed Professor	原田正光 (工学博士) HARADA Masamitsu (D.Eng.)	環境科学 環境計測論 Environmental Science Environmental Monitoring	福島高専名誉教授
非常勤講師 Lecture Teaching Staff	伊藤和雄 ITO Kazuo	環境科学基礎 Introduction to Environmental Science	
	歌川史哲 (博士(理学)) UTAGAWA Fumiaki (D.Sc.)	環境科学基礎 Introduction to Environmental Science	
	大柳英之 (技術士) OHYANAGI Hideyuki (PE)	橋と鋼構造 Bridge Design and Metal Structure	
	小野寺吉政 (技術士) ONODERA Yoshimasa (PE)	橋と鋼構造 Bridge Design and Metal Structure	
	山内幸政 (技術士) YAMAUCHI Yukimasa (PE)	橋と鋼構造 Bridge Design and Metal Structure	
	上遠野直人 KATOONO Naoto	橋と鋼構造 Bridge Design and Metal Structure	
	草野学 KUSANO Manabu	知的財産権 Intellectual Property	
	酒井清 (博士(工学)) SAKAI Kiyoshi (D.Eng.)	環境・エネルギー工学概論 Outline of Environmental and Energy Engineering	
	新田邦彦 NITTA Kunihiko	輸送施設工学 Transportation Facilities Engineering	
	原田洋平 (修士(開発政策)) HARADA Youhei (M.Infrastructure Policy)	道路施策概論 Outline of Road Policy	
	山内正司 (博士(工学)) YAMANOUCHI Masaji (D.Eng.)	構造のシビックデザイン III Structural Mechanics on Civic Design III	福島高専名誉教授

主な実験・実習の設備

Major Experimental and Practical Facilities

全有機炭素計 (島津製作所TOC-L) Total Organic Carbon Analyzer	一軸圧縮試験機 (丸東製作所SG-2033) Unconfined Compression Apparatus
吸光度計 (HACH DR3900) Absorption Photometer	三軸圧縮試験機 (丸東製作所SG-49) Triaxial Compression Apparatus
生物顕微鏡 (オリンパスBH2) Optical Microscope	圧密試験機 (丸東製作所S43-4UL-1) Consolidation Apparatus
分光度計 (HITACHI U-5100) Spectrophotometer	改良型一面せん断試験機 (丸東製作所SG-83) Improved Direct Shear Apparatus
ゼータ電位測定装置 (日本ルフト ML-660NT) Zeta Potential Measurement System	透水試験機 (丸東製作所S12-J) Water Permeability testing machine
コンクリート圧縮試験機 (島津製作所CCH-2000kNX) Concrete Compressive Testing Machine	レーザー回析・散乱式粒度分布測定装置 (CILAS1064) CILAS Particle Size Analyzer
データロガー (東京測器研究所TDS-530) Data Logger	自動電位差滴定装置 (平沼産業COM-1600) Automatic Potentiometric Titrator
アコースティックエミッション計測装置 (NF回路設計ブロックAE9600シリーズ) Acoustic Emission Acquisition System	ベルヌーイ実験装置 (機械研究株式会社WHB型) Test Apparatus for Bernoulli Theorem
マルチピクノメーター (Quantachrome Instruments MVP -6DC) Multi Pycnometer	ヘルショウ実験装置 (丸東製作所HT-18) Hele-shaw Apparatus
デジタル動ひずみ測定器 (東京測器研究所DRA-101C) Digital Dynamic Strainmeter	鉄筋探査機 (サンコウ電子研究所331-2-TH) Steel Rod Detectors
振動試験装置 (IMVJ230) Vibration Test System	二周波GNSS受信機 (TOPCON Hiper V) Dual-frequency GNSS receiver

ビジネスコミュニケーション学科

Department of Business Communication



ビジネス英語演習 Business English Practice

ビジネスコミュニケーション学科が期待する入学者像

The Department of Business Communication welcomes students who:

①社会・経済のしくみや動きに広く関心のある人
have a broad interest in the mechanisms and movements of societies and economies.

②外国語によるコミュニケーション能力を高めて、グローバルに活躍したい人
have the motivations to improve their communication abilities in foreign languages and to be successful in a global scale,

③情報リテラシーを身につけて、高度情報化社会で活躍したい人
have the ambitions to acquire information knowledge and to succeed in highly informationalized societies,

④地球環境に配慮し、持続可能な社会の発展に貢献したい人
and have the concerns about global environment and want to contribute to the sustainable development of societies.

コミュニケーション形態は一変した。

将来のコミュニケーションの姿を追求しよう。

The form of communication has been

changed drastically.

Let's explore the style of communication

in future.

私たちの暮らす社会は、科学技術の適正な利用をめぐる問題や、社会の持続可能な発展をめぐる問題など、様々な問題を抱えています。とりわけ3.11以降、こうした問題について広く、そして深く考えることの出来る人材が求められるようになってきました。

ビジネスコミュニケーション学科は、このような要請にこたえるための幅広い知識を身につけ、ビジネスの現場で実際に活用していくことの出来る人材を育成することを目的とした学科です。

学生は、人文・数理・語学・経営・経済・情報・会計の7つの専門領域のすべてについて基礎的な教育を受けるとともに、特に自分の関心にあった領域について重点的に履修することで、幅広い教養と高い専門性を同時に身につけることが出来ます。

また、3年次から研究室に配属されるプレゼンターを必修科目として配置しており、学生は早くから専門的な論文を読みこなし、文章にまとめる訓練を受けることになります。そのため、卒業時には、社会科学系学科の卒業生として高レベルのリテラシーを身につけることが出来ます。

The society in which we live has various problems, such as the appropriate utilization of technology and the development of a sustainable society. This is especially so after the disaster of 3.11, because there has been a rise in the demand for trained people, who can examine these problems in depth. In response to this need, the Department of Business Communication aims to cultivate human resources who can develop a broad range of knowledge and make use of it in a business context.

By learning the basics in humanities, mathematics, languages, marketing, economics, information science and accounting, and specializing in the fields that they are interested in, students can acquire both a broad-based and specialized education.

Since they are allocated to seminar supervisors in the third year, students will be taught to read and write academic papers. Through this training, students will gain a high level of literacy associated with social science by the time they graduate.



ビジネス英語入門 Introduction to Business English

●教員 Academic Faculty

職名 Title	氏名(学位) Name (Degree)	主な担当科目 Main Subjects Taught	備考 Remarks
教授 Professor	湯川 崇(修士(工学)) YUKAWA Takashi (D.Eng.)	プログラミング基礎 情報システム演習 I Basic Programming Exercises in Information Systems I	学科長 ビジネスコミュニケーション学専攻 同コース長
	芥川一則(修士(情報科学)) AKUTAGAWA Kazunori (Ph.D.)	マクロ経済学 開発学 I・II Macro Economics Development Studies I・II	副校長 (地域連携・広報担当)
准教授 Associate Professor	渡邊エリカ(修士(教育学)) WATANABE Erika (M.Ed.)	English Basics I・II Business English Practice I・II	
	田淵義英(修士(学術)) TABUCHI Yoshihide (Ph.D.)	現代社会の理論 I・II 現代社会特論 II Theories of Contemporary Societies I・II Advanced Lecture on Contemporary Societies II	
	杉山武史(修士(理学)) SUGIYAMA Takeshi (D.Sc.)	微積分 I・II 線形代数 Calculus I・II Linear Algebra	
助教 Research Associate	大仁田香織(修士(経営学)) ONITA Kaori (M.B.A.)	経営入門 I・II Introduction to Management I・II	
	若林晃央(修士(経済学)) WAKABAYASHI Akihiro (M.Ec.)	組織論 経営戦略論 Organization Theory Strategic Management	
	安部智博(修士(経済学)) ABE Tomohiro (M.Ec.)	簿記入門 I・II 財務会計 Introduction to Bookkeeping I・II Financial Accounting	
	高木信太郎(修士(政策・メディア)) TAKAGI Shintaro (M.M.G.)	国際経済学 環境経済学 International Economics Environmental Economics	
嘱託准教授 Appointment Associate Professor	島村浩 SHIMAMURA Hiroshi	情報処理基礎 情報システム演習 II Information processing Basics Exercises in Information Systems II	
	松江俊一(修士(国際文化)) MATSUE Shunichi (M.Intl.Cult.)	コミュニケーション論 非言語コミュニケーション Communication Science Nonverbal Communication	
非常勤講師 Lecture Teaching Staff	伊藤和雄 ITO Kazuo	生物 Biology	
	草野学 KUSANO Manabu	知的財産権 Intellectual Property	
	栗林利紗(会計修士) KURIBAYASHI Risa (M.B.A.)	経営入門 I・II Introduction to Management I・II	
	酒井清(修士(工学)) SAKAI Kiyoshi (D.Eng.)	環境・エネルギー工学概論 Outline of Environmental and Energy Engineering	
	ペレライン由紀(修士(理学)) PELLERINE Yuki (M.Sc.)	経営情報入門 I・II Introduction to Management Information I・II	

育成しようとする人材 The type of human resources we aim to cultivate

社会に対して広く関心を持ち、進展するグローバル化に対応できるリテラシー（語学や情報など）を身につけるとともに、環境問題に配慮し持続可能な社会に貢献できる人材。

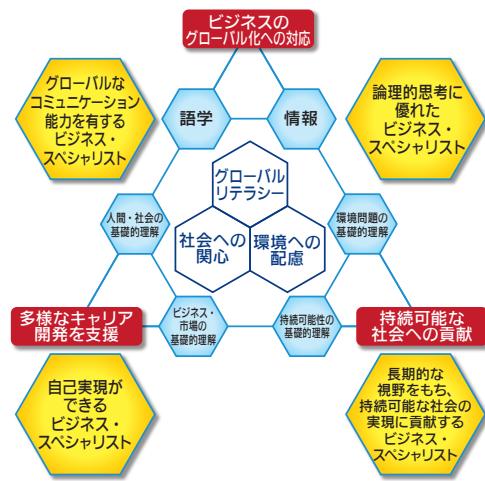
ビジネスコミュニケーション学科では、さらなるグローバル化とそれにともなう諸問題に対応するため、広範な社会科学の知識、優れた語学力とコミュニケーション能力、環境問題や社会の持続可能性についての科目を強化します。そして、日々進化するビジネスコミュニケーション学科では、下図の「ビジネス・スペシャリスト」を育成します。

The Department of Business Communication aims to nurture human resources who have a wide range of interests in society and who can develop a proficiency in languages and information science. This goal is to have students be able to cope with the progress of globalization and to contribute to a sustainable society by taking environmental problems into consideration.

In order to examine the progress of globalization and its related problems, the Department of Business Communication, will emphasize subjects related to the development of a wide range of knowledge in social science, with focus being put on environmental problems and making a sustainable society. Ensuring that students obtain a high level of proficiency in languages and communication is also included in this. By accomplishing these aims, The Department of Business Communication, which is making daily progress, will cultivate business specialists.



情報システム演習 Seminar in Information Systems



教育課程

Curricula

福島高専カリキュラムポリシー（教育課程編成方針）

本校では、「学習教育目標」「ディプロマ・ポリシー」に定めた能力を身につけるため、次のような教育課程の編成方針、および成績評価基準に基づいて教育を実施します。

●編成方針

(1) 準学士課程(本科)においては、くさび型※の構成であり、「学習教育目標」「ディプロマ・ポリシー」を身に付けるための必修科目、選択科目を適切に設定した、5年一貫の体系的な教育課程を編成する。

専攻科においては、準学士課程の内容からの接続、発展を考慮した、より高度な教育課程を編成する。

※くさび型の教育課程：低学年次においては一般科目を多く配置し、学年の進行に伴い専門科目を多く配置する教育課程

(2) 「ディプロマ・ポリシー」に定めた能力を深化させるため、高学年、および専攻科においては、モノづくり、校外での体験、問題解決能力の養成等に関する科目を開設する。

(3) 教育課程を編成するに当たっては、全学年で基本的な知識・技能の修得、それらを応用し思考、判断する能力の修得、それらを自発的に学習できる態度・志向性を修得できるように配慮して、科目配置や科目毎の授業内容や授業計画を設計しシラバスに記載し、シラバスにしたがい教育を実施する。

●成績評価基準

(1) 科目の成績評価は、定期試験の成績および平素の成績をもとに行う。評価方法はシラバスに記載し、記載された評価方法に基づいて公平に成績評価を実施する。

(2) 講義科目では主に定期試験等の筆記試験により、演習科目では筆記試験やレポート等を総合的に勘案し、さらに、実験・実習科目ではレポートや授業態度等により評価する。

(3) 科目の成績評価結果は100点法で行い、60点以上を合格とする。

(4) 各科目について、成績評価が60点以上の場合は単位の修得を認定する。

●準学士課程(本科)学科ごとの教育課程編成方針

ディプロマポリシーで掲げた能力を育成するために、各学科では、以下の科目群を系統的に編成する。

機械システム工学科

(1) 豊かな教養と国際的感覚を有し、継続的な自己学習が出来る人間性を修得できるように、低学年次に理系教養科目、文系教養科目および情報リテラシー科目を設け、講義を主とした学修を実施する。

(2) 専門分野の基礎知識とそれらの総合的応用能力を修得できるように、中学年次から高学年次に力学系、材料・加工系、機構・制御系を基盤とした専門基礎科目を設け、講義を主とした学修を実施する。

(3) モノづくりやデザイン能力を有し、広い視野から問題を分析し解決できる実践力を修得できるように、中学年次から高学年次に工学実験、工学セミナー、卒業研究等の技術修得・問題解決能力・応用力・チームワークといった総合的能力を養うための科目を設け、実験・実習を主とした学修を実施する。

(4) 日本語や他の言語による基礎的なコミュニケーション能力を修得できるように、中学年次から高学年次に校外実習、卒業研究等の議論および発表を伴う科目を設け、実験・実習を主とした学修を実施する。

(5) 福島イノベーション・コースト構想に協力し、地域課題の解決に貢献する積極性を修得できるように、低学年次から高学年次に復興関連科目を設け、集中講義による学修を実施する。

電気電子システム工学科

(1) 豊かな教養と国際的感覚を有し、継続的な自己学習が出来る人間性を修得できるように、低学年次に理系教養科目、文系教養科目および情報リテラシー科目を設け、講義を主とした学修を実施する。

(2) 専門分野の基礎知識とそれらの総合的応用能力を修得できるように、中学年次から高学年次に電力系、電気・電子系、情報系を基盤とした専門基礎科目を設け、講義を主とした学修を実施する。

(3) モノづくりやデザイン能力を有し、広い視野から問題を分析し解決できる実践力を修得できるように、中学年次から高学年次に工学実験、工学セミナー、卒業研究等の技術修得・問題解決能力・応用力・チームワー-

クといった総合的能力を養うための科目を設け、実験・実習を主とした学修を実施する。

(4) 日本語や他の言語による基礎的なコミュニケーション能力を修得できるように、中学年次から高学年次に校外実習、卒業研究等の議論および発表を伴う科目を設け、実験・実習を主とした学修を実施する。

(5) 福島イノベーション・コースト構想に協力し、地域課題の解決に貢献する積極性を修得できるように、低学年次から高学年次に復興関連科目を設け、集中講義による学修を実施する。

化学・バイオ工学科

(1) 豊かな教養と国際的感覚を有し、継続的な自己学習が出来る人間性を修得できるように、低学年次に理系教養科目、文系教養科目および情報リテラシー科目を設け、講義を主とした学修を実施する。

(2) 専門分野の基礎知識とそれらの総合的応用能力を修得できるように、中学年次から高学年次に応用化学系、生物工学系を基盤とした専門基礎科目を設け、講義を主とした学修を実施する。

(3) モノづくりやデザイン能力を有し、広い視野から問題を分析し解決できる実践力を修得できるように、中学年次から高学年次に工学実験、工学セミナー、卒業研究等の技術修得・問題解決能力・応用力・チームワークといった総合的能力を養うための科目を設け、実験・実習を主とした学修を実施する。

(4) 日本語や他の言語による基礎的なコミュニケーション能力を修得できるように、中学年次から高学年次に校外実習、卒業研究等の議論および発表を伴う科目を設け、実験・実習を主とした学修を実施する。

(5) 福島イノベーション・コースト構想に協力し、地域課題の解決に貢献する積極性を修得できるように、低学年次から高学年次に復興関連科目を設け、集中講義による学修を実施する。

都市システム工学科

(1) 豊かな教養と国際的感覚を有し、継続的な自己学習が出来る人間性を修得できるように、低学年次に理系教養科目、文系教養科目および情報リテラシー科目を設け、講義を主とした学修を実施する。

(2) 専門分野の基礎知識とそれらの総合的応用能力を修得できるように、中学年次から高学年次に力学系、環境系、計画系を基盤とした専門基礎科目を設け、講義を主とした学修を実施する。

(3) モノづくりやデザイン能力を有し、広い視野から問題を分析し解決できる実践力を修得できるように、中学年次から高学年次に工学実験、工学セミナー、卒業研究等の技術修得・問題解決能力・応用力・チームワークといった総合的能力を養うための科目を設け、実験・実習を主とした学修を実施する。

(4) 日本語や他の言語による基礎的なコミュニケーション能力を修得できるように、中学年次から高学年次に校外実習、卒業研究等の議論および発表を伴う科目を設け、実験・実習を主とした学修を実施する。

(5) 福島イノベーション・コースト構想に協力し、地域課題の解決に貢献する積極性を修得できるように、低学年次から高学年次に復興関連科目を設け、集中講義による学修を実施する。

ビジネスコミュニケーション学科

(1) 豊かな教養と国際的感覚を有し、継続的な自己学習が出来る人間性を修得できるように、低学年次に理系教養科目、文系教養科目および情報リテラシー科目を設け、講義を主とした学修を実施する。

(2) 専門分野の基礎知識とそれらの総合的応用能力を修得できるように、中学年次から高学年次に経済・経営・会計系、数理・情報系、語学・人文系を基盤とした専門基礎科目を設け、講義を主とした学修を実施する。

(3) モノづくりやデザイン能力を有し、広い視野から問題を分析し解決できる実践力を修得できるように、中学年次から高学年次にセミナー、卒業研究等の技術修得・問題解決能力・応用力・チームワークといった総合的能力を養うための科目を設け、実験・実習を主とした学修を実施する。

(4) 日本語や他の言語による基礎的なコミュニケーション能力を修得できるように、中学年次から高学年次に校外実習、卒業研究等の議論および発表を伴う科目を設け、実験・実習を主とした学修を実施する。

(5) 福島イノベーション・コースト構想に協力し、地域課題の解決に貢献する積極性を修得できるように、低学年次から高学年次に復興関連科目を設け、集中講義による学修を実施する。

一般科目

General Education Courses

機械システム工学科・電気電子システム工学科 化学・バイオ工学科・都市システム工学科共通

Department of Mechanical System Engineering, Electrical and Electronic System Engineering,
Applied Chemistry and Biochemistry, Civil and Environmental Engineering

授業科目 Subjects		単位数 Credits	学年別 Year					備考 Notes
			1	2	3	4	5	
必修科目 Required	数学 Mathematics	数学 I A Mathematics I A	4	4				
		数学 I B Mathematics I B	2	2				
		数学 II A Mathematics II A	4	4				
		数学 II B Mathematics II B	2	2				
		数学 III A Mathematics III A	2		2			
		数学 III B Mathematics III B	2		2			
		数学 IV Mathematics IV	4			4*		
	理科 Science	物理 Physics	6	2	2	2		
		化学 Chemistry	4	2	2			
	外国語 Foreign Languages	英語 I A English I A	4	4				
		英語 I B English I B	2	2				
		英語 II A English II A	2	2				
		英語 II B English II B	2	2				
		英語 III English III	4		4			
		英語 IV English IV	4			4*		
	国語 Japanese	国語 Japanese	6	2	2	2		
人文社会 Humanities and Social Science	人文科学 I Introduction to Humanities I	2	2					
	社会科学 I Invitation to Social Science I	2		2				
	人文社会科学演習 I Exercises to Humanities and Social Science I	1	1					
	人文社会科学演習 II Exercises to Humanities and Social Science II	2		2				
	○技術者倫理 Engineering Ethics	1				1		
	保健体育 Health and Physical Education	6	2	2	2			
	芸術 Art	美術 Fine Arts	1	1				
情報 Information	情報基礎 Information Literacy	2	2					
	ミニ研究 Research Practice	1		1				
	開設単位小計 Subtotal	72	25	22	16	8	1	
選択科目 Elective	英語 V English V	2				2		
	日本語表現法 Japanese expression	2			2*			
	人文社会 Humanities and Social Science	経済学基礎 Economics	1			1		
		法学基礎 Law	1			1		
		産業経済史 History of Industry and Economics	1				1	
	グローバル研修 Global Study	1	(1)					
	開設単位小計 Subtotal	8	0 (1)	0 (1)	0 (1)	4 (1)	3 (1)	
	開設単位合計 Total Credits Offered	80	25 (1)	22 (1)	16 (1)	12 (1)	4 (1)	75単位以上修得(卒業要件)
	修得可能単位数(卒業要件) Earnable Credits	80	25 (1)	22 (1)	16 (1)	12 (1)	4 (1)	75単位以上修得(卒業要件)
	ビジネスコミュニケーション Department of Business Communication	授業科目 Subjects	単位数 Credits	学年別 Year				
必修科目 Required	数学 Mathematics	数学 Mathematics	6	4	2			
		化学 Chemistry	2	2				
		物理 Physics	2		2			
	英語 English	英語 I A English I A	4	4				
		英語 I B English I B	2	2				
		英会話 I English Conversation I	2	2				
		英語 II A English II A	2		2			
		英語 II B English II B	2		2			
		英会話 II Conversation II	2		2			
		英語 III English III	4			4		
	国語 Japanese	英会話 III English Conversation III	2			2		
		英語 IV English IV	4				4*	
		国語 Japanese	10	4	4	2		
人文社会 Humanities and Social Science	人文社会 Humanities and Social Science	人文科学 I Introduction to Humanities I	2	2				
		人文科学 II Introduction to Humanities II	2	2				
		社会科学 I Invitation to Social Science I	2		2			
		社会科学 II Invitation to Social Science II	1		1			
		人文社会科学演習 I Exercises to Humanities and Social Science I	1		1			
	保健体育 Health and Physical Education	人文社会科学演習 II Exercises to Humanities and Social Science II	2			2		
		法学 Law	2				2	
		ミクロ経済学 Microeconomics	2				2	
		技術者倫理 Engineering Ethics	1					1
		保健・体育 Health and Physical Education	6	2	2	2		
選択科目 Elective	芸術 Art	美術 Fine Arts	1		1			
		情報基礎 Information Literacy	2	2				
		ミニ研究 Research Practice	1		1			
		開設単位小計 Subtotal	69	26	22	12	8	1
		英語特論 I English Seminar I	2			2		
	選択科目 Elective	英語特論 II English Seminar II	2				2	
		英語 V English V	2					2
		文学 Japanese Literature	1			1		
		人文社会 Humanities and Social Science	1					1
		産業経済史 History of Industry and Economics	1					
選択科目 Elective	グローバル研修 Global Study	1	(1)					
	開設単位小計 Subtotal	9	0 (1)	0 (1)	2 (1)	3 (1)	3 (1)	
	開設単位合計 Total Credits Offered	78	26 (1)	22 (1)	14 (1)	11 (1)	4 (1)	75単位以上修得(卒業要件)
	修得可能単位数 Earnable Credits	78	26 (1)	22 (1)	14 (1)	11 (1)	4 (1)	75単位以上修得(卒業要件)

(注) *印は学修単位(高等専門学校設置基準第17条4に基づく単位)

()の数字は開講期を指定しない単位で外数

○印は国土交通大臣の指定する建築に関する科目(指定科目)

(注) *印は学修単位(高等専門学校設置基準第17条4に基づく単位)

()の数字は開講期を指定しない単位で外数

専門科目

Technical Courses

機械システム工学科 Department of Mechanical System Engineering

授業科目 Subjects	単位数 Credits	学年別 Year					備考 Notes
		1	2	3	4	5	
必修科目 Required	機械製図 I Engineering Drawings I	2	2				
	機械製図 II Engineering Drawings II	2		2			
	設計製図 I Mechanical Design and Drawing I	2		2			
	設計製図 II Mechanical Design and Drawing II	2			2*		
	応用設計製図 Applicational Mechanical Design and Drawing	4				4*	
	機械システム工学基礎 Fundamentals of Mechanical System Engineering	2	2				
	モノづくり基礎 Fundamental of Manufacturing	2		2			
	モノづくり実習 Manufacturing Practice	2		2			
	創作実習 Creative Practice	2			2*		
	工学実験 Engineering Experiment	8			4*	4*	
	工学セミナー Engineering Seminar	2			2		
	卒業研究 Graduation Research	9				9	
	機械システム工学概論 Introduction to Mechanical System Engineering	1	1				
	機械工作法 I Mechanical Technology I	2		2			
	材料力学 Materials Engineering	2		2			
	環境科学基礎 Introduction to Environmental Science	1		1			
	工業力学 Engineering Mechanics	2		2			
	材料力学 I Mechanics of Materials I	2		2			
	機械工作法 II Mechanical Technology II	1		1			
	機構学 Machanism	2		2			
	情報処理 Information Processing	2		2			
	電気工学基礎 Introduction to Electrical Engineering	1		1			
	応用物理 Applied Physics	4			4*		
	材料力学 II Mechanics of Materials II	1			1		
	熱力学 Thermodynamics	2			2		
	水力学 Hydraulics	2			2		
	機械力学 I Engineering Mechanics I	1			1		
	環境工学 Environmental Engineering	1			1*		
	ロボット基礎 Basic Robotics Engineering	2			2		
	校外実習 Extramural Practice	1			(1)		
	数学 V Mathematics V	2				2*	
	伝熱工学 Heat Transfer	2				2	
	制御工学 Control Engineering	2				2	
	知的財産権 Intellectual Property	1				1	
	開設単位小計 Subtotal	76	5	9	14	23 (1)	24 (1)

授業科目 Subjects	単位数 Credits	学年別 Year					備考 Notes
		1	2	3	4	5	
選択科目 Elective	物理学特論 Advanced Physics	1				1	
	情報処理演習 Information Processing Practice	2				2*	
	工業英語 English Technical Communication	1				1*	
	メカトロニクス Mechatronics	1				1*	
	CAD、CAM Computer-Aided Design & Computer-Aided Manufacturing	1				1*	
	材料強度学 Strength and Fracture of Materials	1				1*	
	経営学概論 Introduction to Business Administration	1				1	
	生産工学 Production Engineering	1				1*	
	ロボット工学 Robotics Engineering	1				1*	
	計測工学 Measurement and Instrumentation	1				1*	
	塑性加工学 Technology of Plasticity	1				1*	
	機械力学 II Engineering Mechanics II	1				1*	
	流体力学 Fluid Dynamics	1				1*	
	エネルギー工学 Energy Engineering	1				1*	
	エネルギー機械 Energy Conversion Machinery	1				1*	
	シーケンス制御 Sequence Control	1				1*	
	ロボット制御工学 Control for Robotics Engineering	1				1*	
	原子力発電基礎 Elements of Nuclear Power Generation	1	1				集中講義
	放射線基礎 Introduction to Radioactivity and Radiation	1		1			集中講義
	廃炉ロボット概論 Fundamentals of nuclear decommissioning robotics	1			1		集中講義
	廃炉工学 Decommissioning of Nuclear Plant	1				1	集中講義
	防災学 Disaster Prevention	2					2*
	開設単位小計 Subtotal	24	1	1	1	9	12
専門科目 Technical Subjects	開設単位合計 Total Credits Offered	100	6	10	15	32 (1)	36 (1)
	修得可能単位数 Earnable Credits	100	6	10	15	32 (1)	36 (1)
一般科目 General Subjects	開設単位合計 Total Credits Offered	80	25 (1)	22 (1)	16 (1)	12 (1)	4 (1)
	修得可能単位数 Earnable Credits	80	25 (1)	22 (1)	16 (1)	12 (1)	4 (1)
合 計 Total	開設単位合計 Total Credits Offered	180	31 (1)	32 (1)	31 (1)	44 (2)	40 (2)
	修得可能単位数 Earnable Credits	180	31 (1)	32 (1)	31 (1)	44 (2)	40 (2)

(注) *印は学修単位（高等専門学校設置基準第17条4に基づく単位）

()の数字は開講期を指定しない単位で外数

電気電子システム工学科 Department of Electrical and Electronic System Engineering

必修科目 Required	授業科目 Subjects	単位数 Credits	学年別 Year					備考 Notes
			1	2	3	4	5	
必修科目 Required	○電気電子システム工学実験 Experiments on Electric and Electronic System Engineering	10	2	3	3*	2*		
	○電気回路基礎・実習 Introduction to Electrical Circuit · Practice	2	2					
	○電気磁気学基礎 Introduction to Electromagnetics	1	1					
	○電気製図 Electrical Drawing	2	2					
	○電気電子計測 I Electric and Electronic Measurements I	1		1				
	○情報工学 I Information Engineering I	2		2				
	○電気回路 I Electric Circuit I	4		2				
	○電気磁気学 I Electromagnetics I	2		2				
	○電気電子計測 II Electric and Electronic Measurements II	2		2				
	○電気機器 I Electrical Machine and Apparatus I	2		2				
	○情報工学 II Information Engineering II	2		2				
	○電子回路 I Electronic Circuit I	2		2				
	○電気機器 II Electrical Machine and Apparatus II	2			2			
	○電気磁気学 II Electromagnetics II	2			2			
	○電気回路 II Electronic Circuit II	2			2			
	○パワーエレクトロニクス Power Electronics	1			1			
	○電子回路 II Electronic Circuit II	2			2*			
	○電子工学 I Electronics I	2			2*			
	○制御工学 Control Engineering	1				1*		
	○電力工学 Electric Power Systems	2				2		
	○電力システム工学 Electric Power System Engineering	2				2*		
	○電気電子材料工学 Electric and Electronic Materials Engineering	2				2		
	○電子工学 II Electronics II	1				1*		
	環境科学基礎 Introduction to Environmental Science	1		1				
	創作実習 Creative Practice	2			2*			
	電子回路設計 Design of Electronic Circuits	1			1			
	工学セミナー Engineering Seminar	1			1			
	応用物理 Applied Physics	4			4*			
	工業英語 I Technical English I	1			1			
	校外実習 Extramural Practice	1			(1)			
	卒業研究 Graduation Research	8				8		
	知的財産権 Intellectual Property	1				1		
	工業英語 II Technical English II	1				1		
	数学 V Mathematics V	2				2*		
	開設単位小計 Subtotal	74	5	8	15	23 (1)	22 (1)	
選択科目 Elective	○電気法規 Electrical Laws and Regulations	1					1	
	○高電圧工学 High Voltage Engineering	1					1	
	○計算機工学 Computer Architecture	2					2	
	デジタル回路 I Digital Circuits I	1		1				
	情報工学 III Information Engineering III	2				2*		
	デジタル回路 II Digital Circuits II	1				1		
	通信工学 I Electrical Communications I	1				1		
	物理学特論 Advanced Physics	1				1		
	機械工学概論 Outlines of Mechanical Engineering	2				2		
	経営学概論 Introduction to Business Administration	1				1		
	電力情報 Power Information	2				2*		
	シーケンス制御 Sequential Control	1				1*		
	ロボット制御工学 Control for Robotics Engineering	1				1*		
	コンピュータネットワーク Computer Network	1				1*		
	通信工学 II Electrical Communications II	1				1*		
	環境工学 Environmental Engineering	1				1		
	原子力発電基礎 Elements of Nuclear Power Generation	1	1					集中講義
	放射線基礎 Introduction to Radioactivity and Radiation	1		1				集中講義
	廃炉ロボット概論 Fundamentals of nuclear decommissioning robotics	1			1			集中講義
	廃炉工学 Decommissioning of Nuclear Plant	1				1		集中講義
	防災学 Disaster Prevention	2				2*		
	開設単位小計 Subtotal	26	1	2	1	9	13	
専門科目 Technical Subjects	開設単位合計 Total Credits Offered	100	6	10	16	32 (1)	35 (1)	82単位以上 修得 (卒業要件)
	修得可能単位数 Earnable Credits	100	6	10	16	32 (1)	35 (1)	
一般科目 General Subjects	開設単位合計 Total Credits Offered	80	25 (1)	22 (1)	16 (1)	12 (1)	4 (1)	75単位以上 修得 (卒業要件)
	修得可能単位数 Earnable Credits	80	25 (1)	22 (1)	16 (1)	12 (1)	4 (1)	
合 計 Total	開設単位合計 Total Credits Offered	180	31 (1)	32 (1)	32 (1)	32 (1)	39 (2)	167単位以上 修得 (卒業要件)
	修得可能単位数 Earnable Credits	180	31 (1)	32 (1)	32 (1)	32 (1)	39 (2)	

(注) ○印は第2種電気主任技術者資格取得のための必修得科目、○印は関係科目
*印は学修単位(高等専門学校設置基準第17条4に基づく単位)

()の数字は開講期を指定しない単位で外数

専門科目

Technical Courses

化学・バイオ工学科 Department of Applied Chemistry and Biochemistry

授業科目 Subjects	単位数 Credits	学年別 Year					備考 Notes
		1	2	3	4	5	
必修科目 Required	基礎化学実験 I <i>Experiment of Fundamental Chemistry I</i>	2	2				
	基礎化学実験 II <i>Experiment of Fundamental Chemistry II</i>	4		4			
	情報処理 I <i>Information Processing I</i>	1		1			
	創造実験実習 I <i>Creative Experiment I</i>	1			1		
	創造実験実習 II <i>Creative Experiment II</i>	1			1		
	化学・バイオ工学基礎実験 I <i>Experiment of Basic Applied Chemistry and Bioengineering I</i>	4			4		
	化学・バイオ工学基礎実験 II <i>Experiment of Basic Applied Chemistry and Bioengineering II</i>	2				2	
	化学・バイオ工学実験 <i>Experiment of Applied Chemistry and Bioengineering</i>	2				2	
	化学・バイオ工学セミナー <i>Seminar of Applied Chemistry and Bioengineering</i>	1				1	
	情報処理 II <i>Information Processing II</i>	1				1	
	卒業研究 <i>Graduation Research</i>	10				10	
	基礎生物学 <i>Fundamentals of Biology</i>	2	2				
	分析化学 <i>Analytical Chemistry</i>	2		2			
	材料化学基礎 <i>Introduction to Materials Chemistry</i>	2		2			
	環境科学基礎 <i>Introduction to Environmental Science</i>	1		1			
	物理化学基礎 <i>Fundamental Physical Chemistry</i>	2			2		
	無機化学基礎 <i>Fundamental Inorganic Chemistry</i>	2			2		
	有機化学基礎 <i>Fundamental Organic Chemistry</i>	2			2		
	生物化学基礎 <i>Fundamental Biological Chemistry</i>	1			1		
	工業英語 <i>Technical Communication</i>	2			2		
	物理化学 I <i>Physical Chemistry I</i>	2				2	
	無機化学 I <i>Inorganic Chemistry I</i>	2				2	
	有機化学 I <i>Organic Chemistry I</i>	2				2	
	生物化学 I <i>Biological Chemistry I</i>	2				2	
	化学工学 <i>Chemical Engineering</i>	2				2	
	微生物工学 <i>Microbial Engineering</i>	2				2	
	機器分析 I <i>Instrumental Analysis I</i>	1				1	
	機器分析 II <i>Instrumental Analysis II</i>	1				1	
	環境科学 I <i>Environmental Science I</i>	2				2	
	応用物理 <i>Applied Physics</i>	4			4*		
	数学 V <i>Mathematics V</i>	2				2*	
	高分子化学 <i>Polymer Chemistry</i>	2				2*	
	開設単位小計 <i>Subtotal</i>	69	4	10	15	26	14

授業科目 Subjects	単位数 Credits	学年別 Year					備考 Notes
		1	2	3	4	5	
選択科目 Elective	工業化学概論 <i>Introduction to Industrial Chemistry</i>	1				1	
	校外実習 <i>Extramural Practice</i>	1				(1)	
	物理学特論 <i>Physics Seminar</i>	1				1	
	経営学概論 <i>Introduction to Business Administration</i>	1				1	
	物理化学 II <i>Physical Chemistry II</i>	2				2*	
	物理化学 III <i>Physical Chemistry III</i>	2				2*	
	無機化学 II <i>Inorganic Chemistry II</i>	2				2*	
	有機化学 II <i>Organic Chemistry II</i>	2				2*	
	生物化学 II <i>Biologicop II</i>	2				2*	
	生物化学 III <i>Biologicop III</i>	2				2*	
	化学プロセス概論 <i>Introduction to Chemical Process Engineering</i>	2				2*	
	環境科学 II <i>Environmental Chemistry II</i>	2				2*	
	生物資源化学 <i>Bioresource Chemistry</i>	2				2*	
	機械工学概論 <i>Outlines of Mechanical Engineering</i>	1				1	
	電子工学概論 <i>Introduction to Electronics</i>	1				1	
	知的財産権 <i>Intellectual Property</i>	1				1	
	原子力発電基礎 <i>Elements of Nuclear Power Generation</i>	1	1				集中講義
	放射線基礎 <i>Introduction to Radioactivity and Radiation</i>	1		1			集中講義
	廃炉ロボット概論 <i>Fundamentals of nuclear decommissioning robotics</i>	1			1		集中講義
	廃炉工学 <i>Decommissioning of Nuclear Plant</i>	1				1	集中講義
	防災学 <i>Disaster Prevention</i>	2				2*	
	開設単位小計 <i>Subtotal</i>	31	1	1	2	3 (1)	23 (1)
専門科目 Technical Subjects	開設単位合計 <i>Total Credits Offered</i>	100	5	11	17	29 (1)	37 (1)
	修得可能単位数 <i>Earnable Credits</i>	100	5	11	17	29 (1)	37 (1)
一般科目 General Subjects	開設単位合計 <i>Total Credits Offered</i>	80	25 (1)	22 (1)	16 (1)	12 (1)	4 (1)
	修得可能単位数 <i>Earnable Credits</i>	80	25 (1)	22 (1)	16 (1)	12 (1)	4 (1)
合 計 Total	開設単位合計 <i>Total Credits Offered</i>	180	30 (1)	33 (1)	33 (1)	41 (2)	41 (2)
	修得可能単位数 <i>Earnable Credits</i>	180	30 (1)	33 (1)	33 (1)	41 (2)	41 (2)

(注) *印は学修単位（高等専門学校設置基準第17条4に基づく単位）
()の数字は開講期を指定しない単位で外数

都市システム工学科 Department of Civil and Environmental Engineering

授業科目 Subjects		単位数 Credits	学年別 Year					備考 Notes
			1	2	3	4	5	
必修科目 Required	○工学実験・演習 Experiments and Exercises in Civil and Environmental Engineering	9	1	2	3*	3*		
	都市システム概論 Introduction to Civil and Environmental Engineering	1	1					
	○製図法 I Drawing I for Civil and Environmental Engineering	2	2					
	C A D I CAD I	1	1					
	○材料学 Construction Materials	2	2					
	○構造力学 I Structural Mechanics I	2	2					
	環境科学基礎 Introduction to Environmental Science	1	1					
	応用物理 Applied Physics	4			4*			
	○測量学 I Surveying I	2	2					
	○測量実習 I Survey Training I	2	2					
	○構造力学 II Structural Mechanics II	2		2				
	土木演習 I Civil Engineering Exercise I	1		1				
	○地盤工学 I Geotechnical Engineering I	1		1				
	水理学 I Hydraulics I	1		1				
	環境科学 Environmental Science	1		1				
	○測量学 II Surveying II	2		2				
	○測量実習 II Survey Training II	2		2				
	土木情報処理 I Information Processing I for Civil Engineering	2			2*			
	○構造力学 III Structural Mechanics III	2			2			
	橋梁工学 Bridge Engineering	1			1			
	○コンクリート構造工学 Concrete Structure Engineering	2			2			
	○地盤工学 II Geotechnical Engineering II	2			2*			
	水理学 II Hydraulics II	2			2			
	水処理工学 I Water Treatment Engineering I	1			1			
	○地域計画 Regional Planning	2			2			
	システム工学 System Engineering	1			1			
	施工法 I Construction Method for Civil and Environmental Engineering I	1				1		
	技術英語 I Technical English I	1		1				
	校外実習 Extramural Practice	1			(1)			
	土木演習 II Civil Engineering Exercise II	2				2*		
	卒業研究 Graduation Research	10				10		
	数学 V Mathematics V	2				2*		
	○応用地盤工学 Applied Geotechnical Engineering	1				1		
	環境工学 I Environment Engineering II	2				2*		
	水処理工学 II Water Treatment Engineering I	1			1			
	交通工学 Traffic Engineering	1				1		
	工学セミナー Civie and Environmental Engineering Seminar	2			2			

授業科目 Subjects		単位数 Credits	学年別 Year					備考 Notes
			1	2	3	4	5	
都市基盤 Required	維持・管理工学基礎 Introduction to Infrastructure Maintenance Engineering	1						1 防災・減災系別は選択科目
	○コンクリート構造設計演習 Exercises on Reinforced Concrete Structure	2						2* 防災・減災系別は選択科目
防災・減災 Required	水防災工学 Water Induced Disaster Prevention Engineering	1						1 都市基盤系列は選択科目
	防災学 Disaster Prevention	2						2* 都市基盤系列は選択科目
	開設単位小計 Subtotal	81	6	8	13	25 (1)	28 (1)	
選択科目 Elective	○ C A D II CAD II	1		1				
	製図法 II Drawing for Civil Engineering II	1			1			
	○建築法規 Building Codes	2						2*
	土木情報処理 II Information Processing II for Civil Engineering	2						2*
	環境工学 II Environment Engineering II	1						1
	○施工法 II Construction Method for Civil and Environmental Engineering II	1						1
	技術英語 II Technical English II	2					2*	
	輸送施設工学 Transport Facilities Engineering	1						1
	道路施策概論 Outline of Road Policy	1					1	
	知的財産権 Intellectual Property	1						1
	物理学特論 Advanced Physics	1						1
	経営学概論 Introduction to Business Administration	1					1	
	原子力発電基礎 Elements of Nuclear Power Generation	1	1					集中講義
	放射線基礎 Introduction to Radioactivity and Radiation	1		1				集中講義
	廃炉ロボット概論 Fundamentals of nuclear decommissioning robotics	1			1			集中講義
	廃炉工学 Decommissioning of Nuclear Plant	1				1		集中講義
	開設単位小計 Subtotal	19	1	2	2	6	8	
専門科目 Technical Subjects	開設単位合計 Total Credits Offered	100	7	10	15 (1)	31 (1)	36 (1)	82単位以上修得(卒業要件)
	修得可能単位数 Earnable Credits	100	7	10	15 (1)	31 (1)	36 (1)	
一般科目 General Subjects	開設単位合計 Total Credits Offered	80	25 (1)	22 (1)	16 (1)	12 (1)	4 (1)	75単位以上修得(卒業要件)
	修得可能単位数 Earnable Credits	80	25 (1)	22 (1)	16 (1)	12 (1)	4 (1)	
合 計 Total	開設単位合計 Total Credits Offered	180	32 (1)	32 (1)	31 (1)	43 (2)	40 (2)	167単位以上修得(卒業要件)
	修得可能単位数 Earnable Credits	180	32 (1)	32 (1)	31 (1)	43 (2)	40 (2)	

(注) ○印は国土交通大臣の指定する建築に関する科目（指定科目）

*印は学修単位（高等専門学校設置基準第17条4に基づく単位）

()の数字は開講期を指定しない単位で外数

専門科目

Technical Courses

ビジネスコミュニケーション学科 Department of Business Communication

	授業科目 Subjects	単位数 Credits	学年別 Year					備考 Notes
			1	2	3	4	5	
必修科目 Required	日本史 I <i>History of Japan I</i>	1	1					
	日本史 II <i>History of Japan II</i>	1	1					
	コミュニケーション論 I <i>Communication Science I</i>	1	1					
	コミュニケーション論 II <i>Communication Science II</i>	1	1					
	世界史 I <i>History of the World I</i>	1		1				
	世界史 II <i>History of the World II</i>	1		1				
	情報基礎演習 I <i>Computer Science Practice I</i>	1		1				
	情報基礎演習 II <i>Computer Science Practice II</i>	1		1				
	経営入門 I <i>Introduction to Business Administration I</i>	1		1				
	経営入門 II <i>Introduction to Business Administration II</i>	1		1				
	簿記概論 <i>Introduction to Bookkeeping</i>	1		1				
	Business English Basics I	1			1			
	Business English Basics II	1			1			
	プログラミング演習 I <i>Advanced Programming I</i>	1			1			
	プログラミング演習 II <i>Advanced Programming II</i>	1			1			
	経済入門 <i>Introduction to Economics</i>	1			1			
	開発入門 <i>Introduction to Development Studies</i>	1			1			
	プレセミナー I <i>Pre-Seminar I</i>	1			1			
	プレセミナー II <i>Pre-Seminar II</i>	1			1			
	セミナー I <i>Seminar I</i>	2			2			
	セミナー II <i>Seminar II</i>	2			2			
	校外実習 <i>Extramural Practice</i>	1			(1)			
選択科目 Elective	卒業研究 I <i>Graduation Research I</i>	4				4		
	卒業研究 II <i>Graduation Research II</i>	8				8		
	開設単位小計 <i>Subtotal</i>	36	4	7	8	4 (1) 12 (1)		
	微積分 I <i>Calculus I</i>	1		1				
	数理統計 I <i>Mathematical Statistics I</i>	1		1				
	現代社会特論 A <i>Advanced Study on Contemporary Society A</i>	1			1			
	現代社会特論 B <i>Advanced Study on Contemporary Society B</i>	1			1			
	微積分 II <i>Calculus II</i>	1			1			
	微積分 III <i>Calculus III</i>	1			1			
	数理統計 II <i>Mathematical Statistics II</i>	1			1			
	経営学 <i>Business Administration</i>	1			1			
	財務会計 I <i>Financial Accounting I</i>	1			1			
	財務会計 II <i>Financial Accounting II</i>	1			1			
	Research in English	1			1			

	授業科目 Subjects	単位数 Credits	学年別 Year					備考 Notes
			1	2	3	4	5	
	経営情報演習 I <i>Management Information Practice I</i>	2				2*		
	経営情報演習 II <i>Management Information Practice II</i>	2				2*		
	線形代数 <i>Linear Algebra</i>	1				1		
	数理統計 III <i>Mathematical Statistics III</i>	2				2*		
	マクロ経済学 I <i>Macroeconomics I</i>	2				2*		
	マクロ経済学 II <i>Macroeconomics II</i>	2				2*		
	開発学 <i>Development Studies</i>	2				2*		
	財政学 <i>Finance</i>	2				2*		
	原価計算 <i>Cost Accounting</i>	2				2*		
	会計理論 <i>Accounting Theory</i>	1				1		
	環境科学 <i>Environmental Science</i>	1				1		
	応用数学論 <i>Applied Mathematics</i>	2				(2)*		
	組織論 <i>Organization Theory</i>	2				(2)*		
	経営戦略論 <i>Management Strategy</i>	2				(2)*		
	国際経営論 <i>International Management</i>	2				(2)*		
	女性労働史 <i>Gender and Labor History</i>	2				(2)*		
	現代社会特論 C <i>Advanced Study on Contemporary Society C</i>	1				1		
	Business English Practice I	2				2*		
	Business English Practice II	2				2*		
	情報システム演習 A <i>Seminar in Information Systems A</i>	2				2*		
	情報システム演習 B <i>Seminar in Information Systems B</i>	2				2*		
	国際経済学 <i>International Economics</i>	2				2*		
	共生システム <i>Studies on Convivial Society</i>	2				2*		
	知的財産権 <i>Intellectual Property</i>	1				1		
	原子力発電基礎 <i>Elements of Nuclear Power Generation</i>	1	1					集中講義
	放射線基礎 <i>Introduction to Radioactivity and Radiation</i>	1		1				集中講義
	廃炉ロボット概論 <i>Fundamentals of nuclear decommissioning robotics</i>	1			1			集中講義
	廃炉工学 <i>Decommissioning of Nuclear Plant</i>	1				1		集中講義
	防災学 <i>Disaster Prevention</i>	2					2*	
	開設単位小計 <i>Subtotal</i>	65	1	3	9	26 (10) 16 (10)		
	専門科目 <i>Technical Subjects</i>	101	5	10	17	30 (11) 28 (11)		82単位以上修得(卒業要件)
	一般科目 <i>General Subjects</i>	101	5	10	17	30 (11) 28 (11)		75単位以上修得(卒業要件)
	合計 <i>Total</i>	179	31 (1) 32 (1) 31 (1) 41 (12) 32 (12)					167単位以上修得(卒業要件)

(注) *印は学修単位(高等専門学校設置基準第17条4に基づく単位)
()の数字は開講期を指定しない単位で外数

専攻科

Programs for Advanced Courses



福島高専アドミッション・ポリシー
Admission Policy

求める学生像
Prospective students

全専攻

- 専門の知識と基礎技術を有し、より高度な実践的かつ創造的技術を修得する意欲のある人（知識・技能）
- 工学と経営の融合した分野に強い興味を持っている人（思考力・判断力・表現力）
- 職業人としての倫理観を身につけ、専門分野で地域及び社会の発展に貢献したい人（主体性・協働）

All Advanced courses

- Students who have basic knowledge and skills in the fields of their own choices and who have the motivation to learn practical and creative technologies
- Students who have specific interests in the combined fields of engineering and management
- Students who have a sense of professional ethics and who will contribute to both regional and global societies with their knowledge and skills in their chosen field

産業技術システム工学専攻

生産・情報システム工学コース

- 機械・電気の専門的な基礎力を有し、機械・情報を活用した創造的なモノづくりに興味を持っている人
- 生産・情報分野の技術者としての素養を身につけ、豊かな社会の発展に貢献することに意欲を持っている人

エネルギーシステム工学コース

- 機械・電気の専門的な基礎力を有し、エネルギー分野に興味を持っている人
- エネルギー分野の技術者としての素養を身につけ、豊かな社会の発展に貢献することに意欲を持っている人

化学・バイオ工学コース

- 応用化学分野・生命工学分野及びそれらの関連分野の学修と研究に打ち込み、先端技術に柔軟に対応できる知識とスキルを修得したい人
- 工学を修める者としての確かな倫理観を持ち、工学の発展及び地域・社会の環境改善に貢献したい人

社会環境システム工学コース

- 建設・環境工学の研究に打ち込み、先端技術に柔軟に対応する知識とスキルを修得したい人
- 確かな倫理観を持ち、工学の発展及び地域・社会の環境改善に貢献したい人

Industrial Technology System Engineering Course

Production and Information System Engineering Course

- Students who have basic knowledge of mechanical and electrical engineering and who are interested in creative design and manufacturing abilities of making use of their own knowledge on machine and Information
- Students who have the potential to be engineers in the production and information fields and who have the desire to contribute to the development of our society

Energy System Engineering Course

- Students who have specialized basic knowledge of both mechanical and electrical fields and who are interested in the energy field
- Students who have the potential to be excellent engineers of the energy field and desire to contribute to the development of our society

Chemistry and Bioengineering Course

- Students who will be dedicated to their own studies and researches of applied chemistry and bioengineering and related fields and who have the desire to obtain knowledge and skills to deal with advanced technology flexibly
- Students who have a sense of ethics as an engineer-to-be and who have the desire to contribute to the advancement of the field of engineering and the improvement of both regional or global societies

Social Environmental System Engineering Course

- Students who will be dedicated to their own researches of Civil and Environmental Engineering and who have the desire to obtain knowledge and skills to flexibly respond to advanced technology
- Students who have a sense of ethics and who have the desire to contribute to the advancement for engineering and the improvement of regional or global society

ビジネスコミュニケーション学専攻

ビジネスコミュニケーション学コース

- 現代社会への幅広い関心を持ち、社会科学の研究と、語学や情報、環境問題などの関連分野の学習に打ち込む意欲を持っている人
- たしかなコミュニケーション能力と情報リテラシーを身につけ、地域社会と国際社会の垣根をこえてグローバルに活躍する意欲のある人

Business Communication Course

- Students who have broad interests in contemporary society and who have willingness to engage in social science researches and related fields such as language, information, environmental problems
- Students who have rich communication skills and information literacy and who are motivated to work globally beyond the boundaries of the local community and the international community

入学者選抜
の基本方針

高等専門学校卒業程度の、各専門で必要な基礎的素養（工学系では、数学、各専門分野の基礎的知識・能力、ビジネス系では、小論文、経営学分野の基礎的知識・能力）を有していることを評価します。評価方法は、推薦による選抜では推薦書・調査書・志望調査書、学力試験による選抜では調査書・志望調査書・学力試験、社会人特別選抜では調査書・志望調査書および面接とします。

また、外国語による国際的コミュニケーション基礎能力を有していることを、英語の資格に関する証明書で評価します。

Selection of Students

Applicants must have a basic scholastic knowledge equivalent to graduates of the national institute of technology. In addition, basic understanding of mathematics and basic knowledge and skills in mechanical, electrical, civil or chemical engineering are required for the engineering courses. For the business course, basic knowledge of social science and business management are required. Foreign language communication skills are also considered as the important factor.

●本校専攻科について

本校では、平成16年度に専攻科が設置され、設置当初から3専攻（「機械・電気システム工学専攻」、「物質・環境システム工学専攻」、及び「ビジネスコミュニケーション学専攻」）で専攻科教育を行ってきました。

当初から各専攻で専門科目での融合、工学系専攻とビジネス系専攻の融合による、シナジー教育を目指し、専門関連科目だけではなく一般科目も充実させた教育を実践してきました。

さらに年度が進むにつれ、社会からの要請も徐々に変化してきており、それに合せたカリキュラム改訂も数回にわたり行ってきました。

平成23年3月の東日本大震災及びそれに伴う東京電力福島第一原子力発電所の事故により、社会情勢の変化や地域のニーズが大きく変化したことから再生可能エネルギー分野、原子力安全分野、減災工学分野で地域の復興に活躍できる人材を育成するプログラムを導入し、平成27年4月に2専攻多コース制への改組を行いました。

Advanced Course

The Advanced Course was established in 2004, and comprised three courses: Mechanical and Electrical System Engineering, Chemical and Environmental System Engineering, and Business Communication.

From the beginning, the aim of each course was to combine its focus with another subject, for example engineering with business and speciality subjects with more general subjects. The curriculum was revised several times to correspond with changing demands and focus of our present societies or countries.

On March 2011, Great East Japan Earthquake and the accident of the Fukushima First Power Plant occurred, and the social situation and the needs of the region changed greatly. We launched the Reconstruction Human Resource Development Special Program in the renewable energy, the nuclear safety engineering and disaster mitigation engineering. Furthermore in April 2015 we reorganized the two major multi-course systems.

●特色

1. 工学系・ビジネス系シナジー効果によるMOT(技術経営)教育

各専攻での専門分野に関する専門科目を学ぶほか、2専攻共通の専門関連科目等を履修するとともに実践的職業人として必要な、他専攻専門分野の知識の習得及び思考力の育成を図ることにより、従来の専門分野の枠組みを超えた技術者やビジネスマンの育成をめざすシナジー教育を実施しています。これらの工学系・ビジネス系を融合させたカリキュラムのもと、「経営のわかる実践的技術プロフェッショナル」、「技術のわかる実践的ビジネスプロフェッショナル」の育成をめざすMOT(技術経営)教育を実施しています。

2. 実践的かつ創造的な少人数専門教育

各専攻ではより高度な専門科目の講義と少人数グループでの実験・セミナーが行われ、専門事項の深い理解と実験技術等を修得します。また、特別研究では、研究課題について文献調査・参考資料の作成、プレゼンテーションを実施し、専門知識の理解と表現及び発表能力を習得します。

3. 地域と連携した高度な研究活動

さらに、特別研究では主に地域に密着したテーマを取り上げ、地元企業との共同研究をめざすとともに、学会等での研究成果発表を義務づけ、創造性に富む研究開発能力を育成します。また、1年生には夏季休業中に長期インターンシップを実施します。

4. 復興人材育成特別プログラム

再生可能エネルギー、原子力安全、減災工学の3分野における復興支援に活躍できる人材を育成するため、復興支援特別科目を7科目開講しています。プログラム履修生は、この科目群の中から4科目以上を修得し、特別研究において復興支援に関する課題に取り組みます。

●一般科目・専門関連共通科目

各専攻共通 Educational Curriculum (General Education Subjects and Related Specialized Subjects for all two advanced courses)

区分	必修選択の別	授業科目 Subjects	単位数 Credits	学年別配当 Yearly distributions				備考 Notes	
				1年 1st year		2年 2nd year			
				前期 1st Semester	後期 2nd Semester	前期 1st Semester	後期 2nd Semester		
一般科目 General Education Subjects	必修科目 Required	SDGs 探究 SDGs Explorations	2	2				ビジネスコミュニケーション学コースは選択科目	
		現代英語 I Contemporary English I	2	2				ビジネスコミュニケーション学コースは選択必修科目	
	開設単位計 Subtotal		4	4		0			
	選択科目 Elective	現代英語 II Contemporary English II	2		2			ビジネスコミュニケーション学コースは選択必修科目	
		現代英語 III Contemporary English III	2				2	現代英語 I, II, IIIから2科目以上修得すること	
		日本文化論 Japanese Cultural Review	2	2					
	グローバル研修 Global Studies		1	(1)					
専門関連科目 Specialized Subjects in Related Fields common to all Advanced Courses	開設単位計 Subtotal		7	4 (1)		2 (1)			
	一般科目開設単位計 General Education Subjects Subtotal		11	8 (1)		2 (1)			
	必修科目 Required	システムデザイン System Design	2	2					
		産業財産権 Industrial Property	2	2					
		生産管理論 Manufacturing System Engineering	2	2				機械工学区分 ビジネスコミュニケーション学コースは専門科目	
		産業技術論 Industrial Technology	2		2				
		製品開発論 Research and Development of Product	2				2		
		産業安全工学総論 Industrial Safety Engineering	2				2	復興人材育成特別科目 ビジネスコミュニケーション学コースは選択科目	
	開設単位計 Subtotal		12	8		4			
選択科目 Elective	現代化学 Modern Chemistry		2	2					
			2						
	科学技術史 History of Science and Technology		2			2			
			2						
	開設単位計 Subtotal		4	2		2			
専門関連科目開設単位計 Subtotal			16	10		6			

()の数字は開講期を指定しない単位で外数

Distinctive Features

1. Education in MOT (Management of Technology) resulting from the synergy of engineering and business studies

In addition to specialized subjects in their field of study, students will be expected to take specialized subjects in related fields offered by all Advanced Courses. Moreover the National Institute of Technology, Fukushima College provides synergistic education to nurture engineers and business specialists whose knowledge and skills go beyond existing frameworks for their fields of specialization. We aim to foster practical professionals with specialized knowledge in and out of their ordinal study fields.

2. Practical and highly specialized education in small groups

Each Advanced Course provides lectures in highly specialized subjects, experiment sessions, and seminars in small groups. This enables students to acquire a deeper understanding of the specialized subjects and experimental techniques. Students are required in their graduation thesis research to study literature related to their research topics, compile references, make presentations, and develop, students' presentational skills.

3. Advanced research activities in collaboration with the local community

Students are encouraged to choose research topics closely related to the local community for their Special Research with the aim of engaging in joint research with local industries with which long-term internships are planned. Furthermore, because students are obliged to present the results of their researches at academic conferences, Advanced Courses strive to nurture their ability to engage in creative researches and developments.

4. The Reconstruction Human Resources Development Special Program

12 special subjects of restoration and reconstruction in this program were started to educate the specialists who can play an active part in the three fields: restoration and reconstruction in Renewable Energy, Nuclear Safety and Disaster Mitigation. The student who takes this program acquires one beyond 5 subjects from this subject group and work on a problem related to restoration and reconstruction in an Engineering Experiment and a Graduation Thesis Research.

産業技術システム工学専攻

Industrial Technology System Engineering Course

本科の機械システム工学科、電気電子システム工学科、化学・バイオ工学科、都市システム工学科のそれぞれの専門分野の基礎学力を充実させ、その応用性や専門性を深めます。また復興人材育成特別プログラムにより地域復興に活躍できる人材を育成します。

本専攻は次の4つのコースからなり立っています。

Based on the four undergraduate departments of Mechanical System Engineering, Electrical and Electronic System Engineering, Applied Chemistry and Biochemistry, Civil and Environmental Engineering, this program seeks to enhance the basic skills of each of these areas of expertise and deepen their applicability. Furthermore, the Reconstruction Human Resources Development Special Program is designed to nurture and develop human resources that play an active part in the reconstruction of localities.

This specialty courses consists of the following four courses.

機械系・電気系の材料工学分野及び機械加工系、電子・情報系を融合した教育・研究

生産・情報システム工学コース

Production and Information System Engineering Course

機械系・電気系の材料工学分野及び機械加工系、電子・情報系を融合した教育・研究を行います。

機械設計関連、システム制御関連、電子物性関連及び情報関連分野に関するより高度で応用性の高い専門科目を学び、生産・情報分野で活躍できる人材を育成します。このコースの教育・研究は復興人材育成特別プログラムのロボット技術、メカトロニクス、防災通信等と密接に関係しており、これらの分野で地域の復興に活躍できる人材も育成します。

Through advanced application and specialized subjects of mechanical design, systematic control, electronic properties and information, this course fosters talented individuals who can play an active part in the field of production and information.

The academic and research aspects of this course are closely related to robot technology, mechatronics and disaster communication in the Reconstruction Human Resources Development Special Program.



●専攻科専門科目 Educational Curriculum (Specialized Subjects)

生産・情報システム工学コース 専門科目 Production and Information System Engineering Course

区分	必修選択の別	授業科目 Subjects	単位数 Credits	学年別配当 Yearly Distribution				備考 Notes	
				1年 1st year		2年 2nd year			
				前期 1st Semester	後期 2nd Semester	前期 1st Semester	後期 2nd Semester		
専門 関連 科目 Specialized Subjects in Related Fields common to all Advanced Courses	必修 科目 Required	応用解析学 Applied Analytics	2	2					
		材料科学 Material Science	2			2		電気電子工学区分は選択科目(専門関連科目)	
		開設単位計 Subtotal	4	2		2			
	選択 科目 Elective	力学総論 General and Quantum Mechanics	2	2					
		環境保全工学 Environmental Preservation Engineering	2	2				復興人材育成特別科目	
		応用電子制御工学 Applied Electronically Control Engineering	2	2				電気電子工学区分は必修科目(専門科目)	
		数理計画論 Mathematical Planning	2		2			電気電子工学区分は必修科目(専門科目)	
		減災工学 Disaster Prevention Engineering	2			2		復興人材育成特別科目	
		都市経済学 Urban Economics	2				2	復興人材育成特別科目	
		システム論 System Theories	2				2		
専門 科目 Technical Subjects	必修 科目 Required	電力流通工学 Power Delivery System Engineering	2				2	復興人材育成特別科目、電気電子工学区分は必修科目(専門科目)	
		電子物性工学 Electronic Material Science and Engineering	2				2	電気電子工学区分は選択科目(専門科目)	
		応用電磁気学 Applied Electromagnetism	2				2	電気電子工学区分は選択科目(専門科目)	
		応用半導体工学 Applied Semiconductor Engineering	2				2	電気電子工学区分は選択科目(専門科目)	
		開設単位計 Subtotal	22	8		14			
		開設単位合計 Total	26	10		16			
	選択 科目 Elective	特別研究Ⅰ Graduation Thesis Research I	6	6					
		特別研究Ⅱ Graduation Thesis Research II	10			10			
		品質工学 Quality Engineering	2	2				電気電子工学区分は選択科目(専門科目)	
		情報科学論 Informational Science	2		2				
		応用メカトロニクス Applied Mechatronics	2			2		復興人材育成特別科目、電気電子工学区分は選択科目(専門関連科目)	
		制御システム工学 Control System Engineering	2			2		電気電子工学区分は選択科目(専門科目)	
		産業応用情報工学 Applied Industrial Information Engineering	2			2		電気電子工学区分は選択科目(専門科目)	
	必修 科目 Required	応用塑性加工学 Applied Plasticity	2			2		電気電子工学区分は選択科目(専門関連科目)	
		熱流体工学 Thermo-Fluid Engineering	2				2	電気電子工学区分は選択科目(専門関連科目)	
		インターンシップA Internship A	2		(2)				
		開設単位計 Subtotal	32	10 (2)		20 (2)			
専門 科目 Technical Subjects	選択 科目 Elective	インターンシップB Internship B	2		(2)				
		インターンシップC Internship C	2		(2)				
		開設単位計 Subtotal	4		(4)				
	開設単位合計 Total		36	10 (6)		20 (6)			

() の数字は開講期を指定しない単位で外数

エネルギーシステム工学コース

Energy System Engineering Course

機械系・電気系のエネルギー関連分野の教育・研究を行います。

エネルギー分野に関するより高度で応用性の高い専門科目を学び、機械・電気関連のエネルギー分野で活躍できる人材を育成します。

このコースの教育・研究は復興人材育成特別プログラムの再生可能エネルギー分野、原子力安全工学分野にも密接に関係しており、エネルギー関連産業で活躍できる人材も育成します。

This course aims to develop human resources that can play an active part in the mechanical and electrical energy fields through more advanced and applicable education of highly specialized subjects related to the energy sector.

The education and research of this course is closely related to renewable energy fields and nuclear safety engineering fields in the Reconstruction Human Resources Development Special Program.



●専攻科専門科目 Educational Curriculum (Specialized Subjects)

エネルギーシステム工学コース 専門科目 Energy System Engineering Course

区分	必修選択の別	授業科目 Subjects	単位数 Credits	学年別配当 Yearly Distribution				備考 Notes	
				1年 1st year		2年 2nd year			
				前期 1st Semester	後期 2nd Semester	前期 1st Semester	後期 2nd Semester		
専門 関連 科目 Specialized Subjects in Related Fields common to all Advanced Courses	必修 科目 Required	エネルギー変換工学 Energy Conversion Engineering	2	2					
		応用解析学 Applied Analytics	2	2					
		開設単位計 Subtotal	4	4		0			
	選択 科目 Elective	力学総論 General and Quantum Mechanics	2	2					
		環境保全工学 Environmental Preservation Engineering	2	2				復興人材育成特別科目	
		材料科学 Material Science	2			2		機械工学区分は必修科目(専門関連科目)	
		減災工学 Disaster Prevention Engineering	2			2		復興人材育成特別科目	
		応用塑性加工学 Applied Plasticity	2			2		機械工学区分は必修科目(専門科目)	
		応用メカトロニクス Applied Mechatronics	2			2		復興人材育成特別科目、機械工学区分は必修科目(専門科目)	
		都市経済学 Urban Economics	2				2	復興人材育成特別科目	
		システム論 System Theories	2				2		
		熱流体工学 Thermo-Fluid Engineering	2				2	機械工学区分は必修科目(専門科目)	
	開設単位計 Subtotal	18	4		14				
開設単位合計 Total		22	8		14				
専門 科目 Technical Subjects	必修 科目 Required	特別研究Ⅰ Graduation Thesis Research I	6	6					
		特別研究Ⅱ Graduation Thesis Research II	10			10			
		応用電子制御工学 Applied Electronically Control Engineering	2	2				機械工学区分は選択科目(専門関連科目)	
		数理計画論 Mathematical Planning	2		2			機械工学区分は選択科目(専門関連科目)	
		情報科学論 Informational Science	2		2				
		インターンシップA Internship A	2		(2)				
		開設単位計 Subtotal	24	12 (2)	10 (2)				
	選択 科目 Elective	品質工学 Quality Engineering	2	2				機械工学区分は必修科目(専門科目)	
		産業応用情報工学 Applied Industrial Information Engineering	2			2		機械工学区分は必修科目(専門科目)	
		制御システム工学 Control System Engineering	2			2		機械工学区分は必修科目(専門科目)	
		電子物性工学 Electronic Material Science and Engineering	2				2	機械工学区分は選択科目(専門関連科目)	
		応用電磁気学 Applied Electromagnetism	2				2	機械工学区分は選択科目(専門関連科目)	
		応用半導体工学 Applied Semiconductor Engineering	2				2	機械工学区分は選択科目(専門関連科目)	
		電力流通工学 Power Delivery System Engineering	2				2	復興人材育成特別科目、機械工学区分は選択科目(専門関連科目)	
		インターンシップB Internship B	2		(2)				
		インターンシップC Internship C	2		(2)				
		開設単位計 Subtotal	18	2 (4)	12 (4)				
開設単位合計 Total		42	14 (6)	22 (6)					

() の数字は開講期を指定しない単位で外数

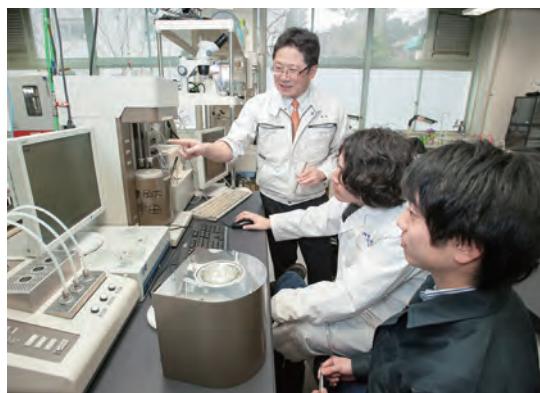
化学・バイオ工学コース

Chemistry and Bioengineering Course

応用化学分野・生命工学分野及びそれらの関連分野の教育・研究を行います。化学・バイオ工学科（準学士課程）専門分野の基礎学力をさらに充実させたうえで、その専門性を高めます。さらに、現代の応用化学分野・生命工学分野及びそれらの関連分野における先端技術やその動向に柔軟に対応できる人材の育成をめざします。

このコースの教育・研究は復興人材育成特別プログラム放射線計測関連分野に關係しており、廃炉技術の重要な分野である放射線及び放射線物質の取扱いの分野で活躍できる人材も育成します。

We aim to foster human resources who are capable of adapting and responding to cutting-edge technology and its movement in the areas of modern applied chemistry and biochemistry. Further studies in these fields will enhance the potential opportunities for the students to be involved in various careers in their future.



●専攻科専門科目 Educational Curriculum (Specialized Subjects)

化学・バイオ工学コース 専門科目 Chemistry and Bioengineering Course

区分	必修選択の別	授業科目 Subjects	単位数 Credits	学年別配当 Yearly Distribution				備考 Notes	
				1年 1st year		2年 2nd year			
				前期 1st Semester	後期 2nd Semester	前期 1st Semester	後期 2nd Semester		
選択科目 Elective	必修科目 Required	応用解析学 Applied Analytics	2	2					
		開設単位計 Subtotal	2		2		0		
	選択科目 Elective	力学総論 General and Quantum Mechanics	2	2					
		環境保全工学 Environmental Preservation Engineering	2	2				復興人材育成特別科目	
		情報科学論 Informational Science	2		2				
		数理計画論 Mathematical Planning	2		2				
		応用メカトロニクス Applied Mechatronics	2			2		復興人材育成特別科目	
		減災工学 Disaster Prevention Engineering	2			2		復興人材育成特別科目	
		都市経済学 Urban Economics	2				2	復興人材育成特別科目	
		システム論 System Theories	2				2		
		電力流通工学 Power Delivery System Engineering	2				2	復興人材育成特別科目	
		開設単位計 Subtotal	18		8		10		
開設単位合計 Total			20		10		10		
専門科目 Technical Subjects	必修科目 Required	特別研究Ⅰ Graduation Thesis Research I	6		6				
		特別研究Ⅱ Graduation Thesis Research II	10				10		
		物質プロセス工学 Material Process Engineering	2	2					
		応用材料化学 Applied Material Chemistry	2			2			
		生体分子機能工学 Biomolecular Functional Engineering	2				2		
		材料科学 Material Science	2			2			
		インターンシップA Internship A	2		(2)				
		開設単位計 Subtotal	26		8 (2)		16 (2)		
	選択必修科目 Elective Required	応用合成化学 Applied Synthetic Chemistry	2			2		3科目以上修得すること	
		構造物理化学 Structural Physical Chemistry	2			2			
		応用有機化学 Applied Organic Chemistry	2			2			
		現代分析化学 Modern Analytical Chemistry	2			2			
		開設単位計 Subtotal	8		0		8		
	選択科目 Elective	インターンシップB Internship B	2		(2)				
		インターンシップC Internship C	2		(2)				
		開設単位計 Subtotal	4		(4)				
開設単位合計 Total			38		8 (6)		24 (6)		

() の数字は開講期を指定しない単位で外数

社会環境システム工学コース

Social Environmental System Engineering Course

建設・環境系の教育・研究を行います。

土木工学と環境工学に関する専門知識を修得し、さらに関連科目の履修を通して複眼的視野を深めます。これらを通して日々進化する先端技術に柔軟に対応しつつ、環境に配慮することのできる建設技術を身につけた人材を育成します。

このコースの教育・研究は、復興人材育成特別プログラムの減災工学分野に関係しており、まちを災害から守る技術分野や災害復興に取り組む分野で活躍できる人材も育成します。



The course is designed for students to acquire expertise in both civil engineering and environmental engineering, and deepen their multilateral viewpoints. While responding flexibly to evolving advanced technology, we aim to train engineers equipped with the skills of construction technology and environmental consciousness.

This course is closely associated with disaster mitigation engineering in the Reconstruction Human Resources Development Special Program.

●専攻科専門科目 Educational Curriculum (Specialized Subjects)

社会環境システム工学コース 専門科目 Social Environmental System Engineering Course

区分	必修選択の別	授業科目 Subjects	単位数 Credits	学年別配当 Yearly Distribution				備考 Notes	
				1年 1st year		2年 2nd year			
				前期 1st Semester	後期 2nd Semester	前期 1st Semester	後期 2nd Semester		
選択科目 Elective	必修科目 Required	応用解析学 Applied Analytics	2	2					
		開設単位計 Subtotal	2	2		0			
	選択科目 Elective	力学総論 General and Quantum Mechanics	2	2					
		情報科学論 Informational Science	2		2				
		材料科学 Material Science	2			2			
		応用メカトロニクス Applied Mechatronics	2			2		復興人材育成特別科目	
		都市経済学 Urban Economics	2				2	復興人材育成特別科目	
		システム論 System Theories	2				2		
		電力流通工学 Power Delivery System Engineering	2				2	復興人材育成特別科目	
		開設単位計 Subtotal	14	4		10			
開設単位合計 Total			16	6		10			
専門科目 Technical Subjects	必修科目 Required	特別研究Ⅰ Graduation Thesis Research I	6	6					
		特別研究Ⅱ Graduation Thesis Research II	10			10			
		環境保全工学 Environmental Preservation Engineering	2	2				復興人材育成特別科目	
		構造解析論 Analytics of Structures	2	2					
		数理計画論 Mathematical Planning	2		2				
		水工学 Hydraulic Engineering	2			2			
		減災工学 Disaster Prevention Engineering	2			2		復興人材育成特別科目	
		地盤工学特論 Advanced Geotechnical Engineering	2			2			
		維持・管理工学 Infrastructure Maintenance Engineering	2				2		
		水環境工学 Water Environmental Engineering	2				2		
		インターンシップ A Internship A	2		(2)				
		開設単位計 Subtotal	34	12 (2)		20 (2)			
	選択科目 Elective	インターンシップ B Internship B	2		(2)				
		インターンシップ C Internship C	2		(2)				
		開設単位計 Subtotal	4		(4)				
開設単位合計 Total			38	12 (6)		20 (6)			

() の数字は開講期を指定しない単位で外数

ビジネスコミュニケーション学専攻

Business Communicology Course

本科のビジネスコミュニケーション学科の専門的な基礎学力を充実させ、その応用性や専門性を深めることで、地域社会の発展に貢献するとともに、グローバルに活躍できる人材を育成します。本専攻は次の1つのコースから成り立っています。

Students will be expected to enhance the professional basic academic skills of social sciences learned in the associate degree programs, and deepen their applicability and expertise. In addition, we will cultivate talented individuals who can play an active part in community reconstruction by Reconstruction Human Resources Development Special Program.

This specialty course consists of the following one course.

社会科学系、特にビジネスに関連する研究・教育

ビジネスコミュニケーション学コース

Business Communicology Course

準学士課程のビジネスコミュニケーション学科で習得した社会科学系知識の応用力を育み、さらに専門性を深める科目を履修します。くわえて、工学系とビジネス系のシナジー効果を期待できる科目を履修することにより、工学の基礎知識と国際社会で通用するビジネスコミュニケーション能力を併せ持つ人材を育成します。

このコースの教育・研究は復興人材育成特別プログラムの各分野に関係しており、社会の持続可能性に配慮しながら地域社会の発展に貢献するとともに、たしかなコミュニケーション能力と国際感覚をもち、地域社会と国際社会の垣根をこえてグローバルに活躍できる人材も育成します。



With expectations of synergy effects between business-based courses and engineering courses, we will seek to cultivate human resources with the basic engineering knowledge, engineering thinking skills, and the business communication skills corresponding to the international community with a global viewpoint as well as contributing to local societies. This course concerns sustainable development in the Reconstruction Human Resources Development Special Program.

●専攻科専門科目 Educational Curriculum (Specialized Subjects)

ビジネスコミュニケーション学コース 専門科目 Business Communicology Course

区分	必修 選択 の別	授業科目 Subjects	単位数 Credits	学年別配当 Yearly Distribution				備考 Notes
				1年 前 期 1st Semester	1年 後 期 2nd Semester	2年 前 期 1st Semester	2年 後 期 2nd Semester	
専門 関連 科目 Specialized Subjects in Related Fields common to all Advanced Courses	必修 科目 Required	経済産業論 Industrial Economics	2			2		復興人材育成特別科目
		都市経済学 Urban Economics	2				2	復興人材育成特別科目
		開設単位計 Subtotal	4	0		4		
	選択 科目 Elective	環境保全工学 Environmental Preservation Engineering	2	2				復興人材育成特別科目
		ビジネス英語 Business English	2				2	
		減災工学 Disaster Prevention Engineering	2			2		復興人材育成特別科目
	開設単位計 Subtotal		6	2		4		
開設単位合計 Total			10	2		8		
専門 科目 Technical Subjects	必修 科目 Required	特別研究Ⅰ Graduation Thesis Research I	6	6				
		特別研究Ⅱ Graduation Thesis Research II	8			8		
		経営学演習 Business Practice Seminars	2	2				
		新事業開発 New Business Development Theories	2	2				
		データ分析論 Data Analysis Theories	2	2				
		財務諸表論 Financial Reporting Theories	2	2				
		広告メディア論 Advertisement and Media Vehicle Theories	2	2				
		経営管理論 Business Management Studies	2		2			
		グローバル経営論 Global Management Studies	2			2		
		経営分析論 Financial Statements Analytics	2				2	
	選択 科目 Elective	インターンシップ A Internship A	2	(2)				
		開設単位計 Subtotal	32	18 (2)	12 (2)			
		情報科学論 Informational Science	2				2	
		システム論 System Theories	2				2	
	選択 科目 Elective	インターンシップ B Internship B	2	(2)				
		インターンシップ C Internship C	2	(2)				
		開設単位計 Subtotal	8	(4)	4 (4)			
開設単位合計 Total			40	18 (6)	16 (6)			

() の数字は開講期を指定しない単位で外数

専攻科カリキュラムポリシー

本校では、「学習教育目標」「ディプロマ・ポリシー」に定めた能力を身につけるため、次のような教育課程の編成方針、および成績評価基準に基づいて教育を実施します。

●編成方針

- (1) 準学士課程(本科)においては、くさび型[※]の構成であり、「学習教育目標」「ディプロマ・ポリシー」を身に付けるための必修科目、選択科目を適切に設定した、5年一貫の体系的な教育課程を編成する。
専攻科においては、準学士課程の内容からの接続、発展を考慮した、より高度な教育課程を編成する。
※くさび型の教育課程：低学年次においては一般科目を多く配置し、学年の進行に伴い専門科目を多く配置する教育課程
- (2) 「ディプロマ・ポリシー」に定めた能力を深化させるため、高学年、及び専攻科においては、モノづくり、校外での体験、問題解決能力の養成等に関する科目を開設する。
- (3) 教育課程を編成するに当たっては、全学年で基本的な知識・技能の

修得、それらを応用し思考、判断する能力の修得、それらを自発的に学習できる態度・志向性を修得できるように配慮して、科目配置や科目毎の授業内容や授業計画を設計しシラバスに記載し、シラバスにしたがい教育を実施する。

●成績評価基準

- (1) 科目の成績評価は、定期試験の成績および平素の成績をもとに行う。評価方法はシラバスに記載し、記載された評価方法に基づいて公平に成績評価を実施する。
- (2) 講義科目では主に定期試験の筆記試験により、演習科目では筆記試験やレポート等を総合的に勘案し、さらに、実験・実習科目ではレポートや授業態度により評価する。
- (3) 科目の成績評価結果は100点法で行い、60点以上を合格とする。
- (4) 各科目について、成績評価が60点以上の場合は単位の修得を認定する。

●専攻科課程 各専攻、コースごとの教育課程編成方針

ディプロマポリシーで掲げた能力を育成するために、各専攻各コースでは、以下の科目群を系統的に編成する。

産業技術システム工学専攻

<生産・情報システム工学コース>

- (1) 地球的視野から人や社会や環境に配慮でき、生涯にわたって主体的に学び続ける能力を修得できるように、理系教養科目および文系教養科目を設け、講義を主とした学修を実施する。
- (2) 工学およびビジネスの幅広い基礎知識の上に、融合・複合的な専門知識を修得し、知識創造の時代に柔軟に対応できるように、機械工学や電気電子工学を基盤として、生産・制御・情報・通信に関連した専門科目を設け、講義を主とした学修を実施する。
- (3) モノづくりやシステムデザイン能力を有し、工学-ビジネスのシナジー効果により複眼的な視野から問題を見つけて解決する能力を修得できるように、産業技術システム工学やビジネスコミュニケーション学に関連する他分野の科目を設け、実験・実習および講義を主とした学修を実施する。
- (4) 国際社会で必要な情報処理能力およびコミュニケーション能力を修得できるように、インターンシップや特別研究等の議論および発表を伴う科目を設け、実験・実習を主とした学修を実施する。
- (5) 福島イノベーション・コースト構想の基本理念を理解し、地域産業基盤の構築に貢献できる能力を修得できるように、復興人材育成科目を設け、講義を主とした学修を実施する。

<エネルギーシステム工学コース>

- (1) 地球的視野から人や社会や環境に配慮でき、生涯にわたって主体的に学び続ける能力を修得できるように、理系教養科目および文系教養科目を設け、講義を主とした学修を実施する。
- (2) 工学およびビジネスの幅広い基礎知識の上に、融合・複合的な専門知識を修得し、知識創造の時代に柔軟に対応できるように、機械工学や電気電子工学を基盤として、体・熱・電力・エネルギー等に関連した専門科目を設け、講義を主とした学修を実施する。
- (3) モノづくりやシステムデザイン能力を有し、工学-ビジネスのシナジー効果により複眼的な視野から問題を見つけて解決する能力を修得できるように、産業技術システム工学やビジネスコミュニケーション学に関連する他分野の科目を設け、実験・実習および講義を主とした学修を実施する。
- (4) 国際社会で必要な情報処理能力およびコミュニケーション能力を修得できるように、インターンシップや特別研究等の議論および発表を伴う科目を設け、実験・実習を主とした学修を実施する。
- (5) 福島イノベーション・コースト構想の基本理念を理解し、地域産業基盤の構築に貢献できる能力を修得できるように、復興人材育成科目を設け、講義を主とした学修を実施する。

ビジネスコミュニケーション学専攻

<ビジネスコミュニケーション学コース>

- (1) 地球的視野から人や社会や環境に配慮でき、生涯にわたって主体的に学び続ける能力を修得できるように、理系教養科目および文系教養科目を設け、講義を主とした学修を実施する。
- (2) 工学およびビジネスの幅広い基礎知識の上に、融合・複合的な専門知識を修得し、知識創造の時代に柔軟に対応できる能力を修得できるように、経営学を基盤とした専門科目を設け、講義を主とした学修を実施する。
- (3) 工学-ビジネスのシナジー効果により複眼的な視野から問題を見つ

<化学・バイオ工学コース>

- (1) 地球的視野から人や社会や環境に配慮でき、生涯にわたって主体的に学び続ける能力を修得できるように、理系教養科目および文系教養科目を設け、講義を主とした学修を実施する。
- (2) 工学およびビジネスの幅広い基礎知識の上に、融合・複合的な専門知識を修得し、知識創造の時代に柔軟に対応できる能力を修得できるように、応用化学や生物工学を基盤とした専門科目を設け、講義を主とした学修を実施する。
- (3) モノづくりやシステムデザイン能力を有し、工学-ビジネスのシナジー効果により複眼的な視野から問題を見つけて解決する能力を修得できるように、産業技術システム工学やビジネスコミュニケーション学に関連する他分野の科目を設け、実験・実習および講義を主とした学修を実施する。
- (4) 国際社会で必要な情報処理能力およびコミュニケーション能力を修得できるように、インターンシップや特別研究等の議論および発表を伴う科目を設け、実験・実習を主とした学修を実施する。
- (5) 福島イノベーション・コースト構想の基本理念を理解し、地域産業基盤の構築に貢献できる能力を修得できるように、復興人材育成科目を設け、講義を主とした学修を実施する。

<社会環境システム工学コース>

- (1) 地球的視野から人や社会や環境に配慮でき、生涯にわたって主体的に学び続ける能力を修得できるように、理系教養科目および文系教養科目を設け、講義を主とした学修を実施する。
- (2) 工学およびビジネスの幅広い基礎知識の上に、融合・複合的な専門知識を修得し、知識創造の時代に柔軟に対応できる能力を修得できるように、土木工学や環境工学を基盤とした専門科目を設け、講義を主とした学修を実施する。
- (3) モノづくりやシステムデザイン能力を有し、工学-ビジネスのシナジー効果により複眼的な視野から問題を見つけて解決する能力を修得できるように、産業技術システム工学やビジネスコミュニケーション学に関連する他分野の科目を設け、実験・実習および講義を主とした学修を実施する。
- (4) 国際社会で必要な情報処理能力およびコミュニケーション能力を修得できるように、インターンシップや特別研究等の議論および発表を伴う科目を設け、実験・実習を主とした学修を実施する。
- (5) 福島イノベーション・コースト構想の基本理念を理解し、地域産業基盤の構築に貢献できる能力を修得できるように、復興人材育成科目を設け、講義を主とした学修を実施する。

け解決する能力を修得できるように、ビジネスコミュニケーション学や産業技術システム工学に関連する他分野の科目を設け、実習・演習および講義を主とした学修を実施する。

- (4) 国際社会で必要な情報処理能力およびコミュニケーション能力を修得できるように、インターンシップや特別研究等の議論および発表を伴う科目を設け、実験・実習を主とした学修を実施する。
- (5) 福島イノベーション・コースト構想の基本理念を理解し、地域産業基盤の構築に貢献できる能力を修得できるように、復興人材育成科目を設け、講義を主とした学修を実施する。

●専攻科教員 Academic Faculty

職名 Title	学位 Degree	氏名 Name	主な担当科目 Main Subjects for teaching and researching
教 授 Professor	博士(工学) D.Eng.	齊藤 充弘 SAITO Mitsuhiro	数理計画論 減災工学 Mathematical Planning Disaster Prevention Engineering
	博士(工学) D.Eng.	湯川 崇 YUKAWA Takashi	データ分析論 経営学演習 Data Analysis Theories Business Practice Seminars
	博士(工学) D.Eng.	植英規 UE Hidenori	システムデザイン 品質工学 System Design Quality Engineering
	博士(工学) D.Eng.	鄭耀陽 ZHENG Yaoyang	応用メカトロニクス 制御システム工学 Application Mechatronics Control System Engineering
	博士(工学) D.Eng.	菊地 卓郎 KIKUCHI Takuro	減災工学 水工学 Disaster Prevention Engineering Hydraulic Engineering
	博士(工学) D.Eng.	高橋 章 TAKAHASHI Akira	
	博士(工学) D.Eng.	赤尾 尚洋 AKAO Takahiro	
	博士(工学) D.Eng.	小出 瑞康 KOIDE Mizuyasu	システムデザイン System Design
	博士(工学) D.Eng.	鈴木 茂和 SUZUKI Shigekazu	応用塑性加工学 原子力安全工学 Application Technology Plasticity Science and Engineering Nuclear Reactor Safety
	博士(工学) D.Eng.	伊藤 淳 ITO Atsushi	
	工学修士 M.Eng.	内田 修司 UCHIDA Shuji	構造物理化学 Structural Physical Chemistry
	博士(理学) D.Sc.	天野 仁司 AMANO Hitoshi	
	博士(工学) D.Eng.	車田 研一 KURUMADA Kenichi	物質プロセス工学 Material Process Engineering
	博士(理学) D.Sc.	梅澤 洋史 UMEZAWA Hirohito	応用有機化学 応用合成化学 Practical Organic Chemistry Advanced Organic Syntheses
	博士(工学) D.Eng. 技術士 P.E.	緑川 猛彦 MIDORIKAWA Takehiko	減災工学 Disaster Prevention Engineering
	博士(情報科学) Ph.D.	芥川 一則 AKUTAGAWA Kazunori	都市経済学 経済産業論 Urban Economics Industrial Economics
	文学修士 M.A.	高野 克宏 TAKANO Katsuhiro	
	文学修士 M.A.	笠井 哲 KASAI Akira	SDGs探究 科学技術史 SDGs Exploration History of Science and Technology
	博士(理学) D.Sc.	西浦 孝治 NISHIURA Koji	応用解析学 Applied Analytics
	博士(文学) Ph.D.	高橋 宏宣 TAKAHASHI Hironobu	日本文化論 Japanese Cultural Review
准 教 授 Associate Professor	博士(工学) D.Eng.	柴田 公彦 SHIBATA Kimihiko	生体分子機能工学 Biomolecular Functional Engineering
	博士(工学) D.Eng.	松尾 忠利 MATSUO Tadatoshi	材料科学 Materials Science
	博士(工学) D.Eng.	篠木 政利 SHINOKI Masatoshi	熱流体工学 Flow and Heat Transfer Engineering
	博士(工学) D.Eng.	野田 幸矢 NODA Satsuya	応用メカトロニクス Application Mechatronics
	博士(理工学) Ph.D.	濱崎 真一 HAMAZAKI Shinichi	応用電子制御工学 Applied electronically control Engineering
	博士(工学) D.Eng.	山田 貴浩 YAMADA Takahiro	産業応用情報工学 Applied Industrial Informational Engineering
	博士(情報科学) Ph.D.	小泉 康一 KOIZUMI Koichi	情報科学論 Informational Engineering Seminar
	博士(工学) D.Eng.	豊島 晋 TOYOSHIMA Susumu	応用半導体工学 Applied Semiconductor Electronics
	博士(工学) D.Eng.	橋本 慎也 HASHIMOTO Shinya	電力流通工学 Electric Power Distribution Engineering
	博士(工学) D.Eng.	佐々木 修平 SASAKI Shuhei	応用電磁気学 Applied Electromagnetics
	博士(工学) D.Eng.	酒巻 健司 SAKAMAKI Kenji	現代化学 Modern Chemistry
	博士(工学) D.Eng.	押手 茂克 OSHITE Shigekazu	環境保全工学 現代分析化学 Environmental Preservation Engineering Modern Analytical Chemistry

職名 Title	学 位 Degree	氏 名 Name	主な担当科目	Main Subjects for teaching and researching
准 教 授 Associate Professor	博士(工学) D.Eng.	加 藤 健 KATO Takeshi	構造物理化学	Structural Physical Chemistry
	博士(工学) D.Eng.	森 崇 理 MORI Takamichi	システムデザイン 応用材料化学	System Design Applied Material Chemistry
	博士(工学) D.Eng.	高 荒 智 子 TAKAARA Tomoko	減災工学 水環境工学	Disaster Prevention Engineering Water Environmental Engineering
	修士(教育学) M.Ed.	渡 邊 エリカ WATANABE Erica	経営学演習 ビジネス英語	Business Practice Seminars Business English
	博士(学術) Ph.D.	田 浩 義 英 TABUCHI Yoshihide	経営学演習	Business Practice Seminar
	博士(理学) D.Sc.	杉 山 武 史 SUGIYAMA Takeshi	生産管理論 数理意思決定論	Manufacturing System Engineering Mathematical Decision-making Theory
	博士(情報科学) Ph.D.	宮 本 拓 歩 MIYAMOTO Takuho		
	博士(工学) D.Eng.	小 田 洋 平 KOTA Yohei	力学総論	General and Quantum Mechanics
講 師 Assistant Professor	工学修士 M.Eng.	青 木 寿 博 AOKI Toshihiro	物質プロセス工学	Material Process Engineering
	博士(工学) Ph.D.	金 高 義 KIM Koui	減災工学	Disaster Prevention Engineering
	修士 (歴史学) M.A.	郭 飛 鴻 KUO Feihung		
助 教 Research Associate	博士(理学) D.Sc.	十 亀 陽一郎 SOGAME Yoichiro	生体分子機能工学	Biomolecular Functional Engineering
	博士(理学) D.Sc.	三 上 進 一 MIKAMI Shinichi		
	博士(工学) D.Eng.	浅 野 寛 元 ASANO Hiroyoshi	維持・管理工学	Infrastructure Maintenance Engineering
	博士(工学) D.Eng.	丹 野 淳 TANNO Jun		
	博士(工学) D.Eng.	三 浦 拓 也 MIURA Takuya	減災工学 地盤工学特論	Disaster Prevention Engineering Advanced Geotechnical Engineering
	博士 (工学) D.Eng.	相 馬 悠 人 SOMA Yuto		
	修士(経済学) M.Ec.	若 林 晃 央 WAKABAYASHI Akihiro	システムデザイン 経営学演習	System Design Business Practice Seminars
	修士(経営学) M.B.A.	大仁田 香 織 ONITA Kaori	経営学演習	Business Practice Seminars
	修士(経済学) M.Ec.	安 部 智 博 ABE Tomohiro	財務諸表論 経営分析論	Financial Reporting Theories Financial statements analytics
	修士(政策・メディア) M.M.G.	高 木 信太郎 TAKAGI Shintaro	経営学演習	Business Practice Seminars
特任教授 Specially Appointed Professor	工学博士 D.Eng.	端 野 克 哉 HASHINO Katsuya		
	工学博士 D.Eng.	原 田 正 光 HARADA Masamitsu	産業技術論 環境保全工学	Industrial Technology Environmental Preservation Engineering
嘱託教授 Specially Reemployment Professor	博士(工学) D.Eng.	大 梶 正 伸 OHTSUKI Masanobu	システム論 産業安全工学総論	System Theories Industrial Safety Engineering
	博士(電気工学) D.Eng.	鈴 木 晴 彦 SUZUKI Haruhiko	電子物性工学 システムデザイン	Electronic Material Science & Engineering System Design
嘱託准教授 Specially Reemployment Associate Professor	博士(工学) D.Eng.	一 色 誠 太 ISHIKI Seita	エネルギー変換工学	Energy Conversion Engineering
非常勤講師 Lecture Teaching Staff	技術士 P.E.	小 松 道 男 KOMATSU Michio	産業財産権	Industrial Property Studies
	博士(工学) D.Eng.	山ノ内 正 司 YAMANOUCHI Masaji	構造解析論	Analytics of Structures
	会計修士 M.B.A.	栗 林 利 紗 KURIBAYASHI Risa	グローバル経営論 経営管理論	Global Management Studies Business Management Studies
		松 田 拓 MATSDA Taku	広告メディア論	Advertisement and Media Vehicle Studies
	修士(学術) M.A.	大川口 信 一 OKAWAGUCHI Shinichi	新事業開発	New Business Development Studies
	経営管理修士 M.B.A.	芳 賀 宏一郎 HAGA Koichiro	製品開発論	Research and Development of Product

持続可能な社会の発展に向けた取組

Projects for Sustainable Developments : SDGs Promotion Projects

By utilizing the UNESCO 17 SDGs, our institution aims to educate and provide the students with the skills and abilities to contribute to a sustainable society. Our students are encouraged to examine the issues from a global perspective while taking into consideration the people, social systems and environment which are affected.

本校では、地球的視野から人や社会や環境に配慮し、持続可能な社会の発展に貢献できる能力の育成を学習・教育目標の一つに掲げており、その達成に資する取組としてSDGsの実現に向けて取り組んでいます。

1. 地域ESD活動推進拠点（地域ESD拠点）

本校はサステイナブルスクールとして活動を開始したことを契機に、その成果を地域へ還元するため、特定非営利活動法人持続可能な開発のための教育推進会議（ESD-J）が公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター（ACCU）と共同で運営する「ESD活動支援センター」が設置する地域ESD活動推進拠点として登録しています。ESDの普及に向け、自治体と連携しながらSDGs教材を使用した出前授業などに取り組んでいます。



2. SDGsのホールスクールアプローチ

持続可能な社会づくりの担い手を育成するため、ビジネスコミュニケーション学科3年生の専門科目で「開発学入門」を開講し、SDGsと開発問題について学習します。さらに同学科4年生の専門科目で「開発学Ⅰ・Ⅱ」を開講しており、経済成長、世界経済、消費者行動等の視点から開発に理解を深める授業を行っています。



3. SDGs Webinarの開催

SDGs Webinarでは、持続可能な地域社会づくりに貢献できるような未来のエンジニアを育てることを目的としています。学生自身が困難な状況に置かれた場合に「自分で創っていこう！」そう思える人材を育成することを目指す取組です。Webinarで地域単位の問題発見・提起を行い、高専生の特徴の一つである実践力を生かし、アントレプレナーシップを育て、国連の掲げるSDGs17と起業プランの紐づけを学びます。



SDGs Webinar 2022

SDGs Webinar 2022は、2022年9月リーダーによる視察研修、10月～12月の指定土曜日、オンラインでワークショップ及び発表会の計7日開催されました。本Webinarでは、米国シリコンバレーで起業した日本人講師3名よりマーケティングやアントレプレナーシップの講義、実際にAppleでエンジニアとして活躍している講師の体験談、長岡/豊橋技科大の教授よりSDGs17についての講義を受けました。

その後、SDGs17をフレームワークとして、地域に共通した問題を見つけ、学んだ講義を基にビジネス案として作成・発表しました。

SDGs17に繋がるイメージの発想力やグローバルリーダーに必要な集団でのコミュニケーション能力の向上を目指し、SDGs Webinarは今後も福島高専のオリジナルWebinarとして継続していきます。



廃炉に向けた人材育成の取組

Human Resources Development on Decommissioning Projects

This project is designed to correspond with the "human resource development and cooperation between higher education and research institutes in the medium-and-long term viewpoint" which is related to a governmental medium-and-long term roadmap for TEPCO's Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant. The aim of this program is to cultivate the human resources necessary for safe and steady decommissioning work. By collecting knowledge and expertise from various fields, the difficulties that are faced in completing this monumental task would be made easier. This would be burdensome for private enterprises alone.

In addition, the Nuclear Decommissioning Network of the National Institute of Technology was established and it seeks to educate students at the Fukushima College while being supported by other colleges in the Institute. While the educational program on basic research aims to deepen students' interest in decommissioning the nuclear reactor, the highly practical education program aims to continuously cultivate human resources.

This project is based on education and research in nuclear decommissioning using of Japan Atomic Energy Agency (JAEA) facilities.

1. 概要

この取組は、平成31年度まで実施していた文部科学省の委託事業「廃炉に関する基盤研究を通じた創造的人材育成プログラム」を本校において継続しているものです。東京電力福島第一原子力発電所について、政府が決定した中長期ロードマップに位置づけられた「中長期の視点での人材育成及び大学・研究機関との連携」を進める観点から実施するもので、民間だけでは着手しづらい中長期的基礎基盤研究について、多様な分野の叡智を集結して課題を克服し、安全かつ着実に廃炉作業を進めていく上で必要となる人材の育成を目的としています。また、廃炉に関する基盤研究を通じた教育プログラム（廃炉創造学修プログラム）を実施して、原子力発電所廃止措置の分野に学生の興味を膨らませるとともに、高度な実践的教育に基づき継続的に人材を育成することを目的として、廃止措置人材育成高専等連携協議会（通称：廃プロ高専協）を設立し、加盟高専等と連携のもと、本校が全国の高専生を対象に人材育成を進めています。

2. 廃炉創造学修プログラム

廃炉や放射線、原子力に関する知識を深めるために、1年生から5年生の各学年において下記の講義を行っています。学科を問わず受講可能です。

- ・原子力発電基礎：集中講義1単位、1年生対象
- ・放射線基礎：集中講義1単位、2年生対象（e-learning）
- ・廃炉ロボット概論：集中講義1単位、3年生対象（e-learning）
- ・廃炉工学：集中講義1単位、4年生（e-learning）
- ・原子力事故総論：集中講義1単位、5年生対象

3. 廃炉創造ロボコン

ロボット製作を通じて学生に廃炉に関する興味を持たせると同時に、学生の創造性の涵養に貢献し、課題解決のみならず課題解決能力を養うことを中心に、廃炉創造ロボコンを開催しています。昨年度は第7回大会を令和4年12月10日に日本原子力研究開発機構榎葉遠隔技術開発センターで開催しました。全国から12高専、14チームの参加があり、各チームが今回の競技課題である高線量エリアの遠隔高所除染に挑みました。

4. 研究開発を通じた人材育成

本科の卒業研究や専攻科の特別研究を通じて廃止措置に関する基盤研究を実施し、研究を通じた人材育成を進めています。主な研究テーマは以下の通りです。

- (1) 水中クローラロボット開発
- (2) 原子炉建屋内小型探査ロボット開発
- (3) 水中探査ロボット「ラドホタル」開発
- (4) 過酷事故対応電子機器の実用化に向けた耐放射線・高温動作半導体デバイスの高性能化



第7回廃炉創造ロボコン 競技の様子

原子力規制人材育成事業

Human Resources Development on Nuclear Regulation

This project aims to develop their skills and knowledge about nuclear regulation, cooperating closely in the project with the other colleges near to some nuclear power plants ; the students can work as immediate fighting strength in the field of nuclear regulation.

1. 概要

今後30年以上の長きにわたる福島第一原子力発電所の廃炉や福島第二原子力発電所のような通常炉の廃炉の規制に関わる若い人材の育成が必要となっています。そこで、原子力発電所近くに立地する複数の高専との連携を中心に、全国の高専生を対象に廃炉や放射線防護などに関する科学的基礎を理解し、原子力規制の分野で活躍可能な即戦力人材の育成を実施します。

2. 実施項目

この事業では、体験的な学習を通して科学的・技術的な知見を有する実践的人材の育成を行うため次の取組を実施します。

(1) 原子力規制に関する講義

次の講義を福島高専生を対象として実施するほか、e-learningで実施する科目については、単位互換協定のある全国の高専生に提供します。規制庁からの外部講師の招へい、グループ討論の導入といった方法により理解の向上につなげています。

- ・原子力発電基礎 1年生対象 1単位
- ・放射線基礎 2年生対象 1単位 (e-learning)
- ・廃炉ロボット概論 3年生対象 1単位 (e-learning)
- ・廃炉工学 4年生対象 1単位 (e-learning)
- ・環境安全学演習 4年生対象 1単位
- ・原子力事故総論 5年生対象 1単位
- ・環境科学基礎 2年生対象 1単位
- ・環境工学 4年生対象 1単位

(2) 研修、施設見学

原子力規制の現場を正しく理解すること、また講義内容の現実を知り、現場の状況を正しく把握すること等を目的に研修、施設見学を実施しています。主な研修先等は次のとおりです。

- ・福島第一、福島第二原子力規制事務所
- ・原子力規制庁本庁、原子力安全研修所
- ・日本原子力研究開発機構、原子力機構幌延深地層研究センター
- ・東京電力
- ・英国セラフィールド社、シェフィールド大学

(3) 学生研究

全国の高専生等を対象に公募された研究テーマが、審査を経て、企業・研究所等と連携しながら実施されています。研究活動を通じて課題解決能力とコミュニケーション能力を育成します。

- 令和4年度に実施される研究テーマ（抜粋）
- ・埋設可能なジオポリマーコンクリートの作製
- ・福島県の循環型社会に貢献する下水処理水の有効利用
- ・浜通り環境回復学習ツアーの開発
- ・二級河川夏井川流域における河川底質中に含まれる放射性セシウムの実態調査
- ・光硬化樹脂を用いた遮蔽材開発



シェフィールド大学研修



幌延研修 - 地下坑道

福島イノベーション・コスト構想への対応

Contribution to the Fukushima Innovation Coast Framework

The Fukushima Innovation Coast Framework is a national project designed to build a new industrial infrastructure in the coastal region of Fukushima Prefecture in order to recover the industries that were lost due to the earthquake and tsunami on March 11, 2011 and the nuclear disaster.

Within the Framework, projects will be realized in the fields of robotics, energy, decommissioning, agroforestry and fisheries, and efforts are made to form industrial clusters, foster human resources, and to increase the number of visitors.

福島イノベーション・コスト構想は、浜通り地域等における産業の復興のため、この地域での新たな産業の創出を目指す構想です。廃炉、ロボット・ドローン、エネルギー、農林水産等の分野における産業集積、教育・人材育成、交流人口の拡大等に取り組んでいます。

県内外の大学等が有する本県復興に資する知を集積・活用し、この構想の実現に向けてイノベーションを生み出す高度な人材の長期的な教育・育成の基盤を構築することを目的に、「大学等の復興知を活用した人材育成基盤構築事業」が行われています。本校でもさまざまな機関と協力しながら次の事業に取り組んでいます。

大学等の復興知を活用した人材育成基盤構築事業

事業名：広野町における未利用資源の探索と資源化みかんプロジェクト

1. 事業のポイント

本事業では、イノベーション人材として、地域の活性化提案をする人、そのような取り組みを理解したり支援する人と定義し、さまざまな取り組みに参加しやすい環境や意識を醸成していく取り組みであること。

目的の達成のために、教育、農業、環境の3分野で活動を展開し、小学生から高校生、その保護者、農業関係者、町内の方々へ向けて、微生物の探索、農産廃棄物などの資源化検討、農業分野での省エネルギーなど提案し、二ツ沼総合公園や学校など広野町内で活動を展開する事業である。

2. 人材育成目標

地域の活性化や取り組みを提案できる人、その活動を理解できる人、支援できる人をイノベーション人材と定義し、さまざまな取り組みに参加しやすい環境作り、科学や技術への興味、関心を持てる雰囲気や意識の醸成に取り組む。

3. 2023年度の活動内容

・有用微生物の探索 ひろの花マップの作成 季節を彩る花に注

目して、微生物のサンプリングを行って、微生物と花の情報を地図上に記録する。

- ・放課後理科教室 広野小学校などで微生物の特別講義と実習を行い、身近な微生物の存在の確認と微生物の採取をみかんの丘で実施する。培養、単離、遺伝子解析は福島高専で行う。
- ・施設園芸農業支援 バナナ栽培における省エネルギー（地中熱の利用、温室の特性改善）、廃棄物の資源化と循環利用、バナナ苗生産に取り組む。



放課後理科教室



施設園芸農業支援

4. 取り組みによって得られる成果

- ・町民参加型の有用微生物探索活動による町由来微生物の産業利用、特産品の開発、雇用、施設園芸農業の効率化、バナナ栽培の持続性向上、二ツ沼総合公園での学習
- ・科学と技術による「広野町の再発見と新しい評価」の提案

事業名：福島復興知学の深化と展開：ミルフィーユ型人材の育成基盤構築

1. 事業のポイント

復興知とイノベーション・コスト構想の推進に必要な多層的な知識・技能を身につけた人材を「ミルフィーユ型人材」とし、自治体・大学等・企業等と連携してミルフィーユ型人材を育成する。さらに、ミルフィーユ型人材育成を通じて、産業創出や国際的情報発信も行う。

2. 人材育成目標

【地域を担う未来人材の育成基盤構築】

各ライフステージに応じた多層的教育を経て真の復興を担える多様性ある人材を育成する。

【福島を舞台として、世界的視野で福島の発展を支える人材の育成基盤構築】

浜通りでの「まなび」をもとに学術文化を推進し、世界に情報発信できる人材を育成する。

3. 2023年度の活動内容

【地域の創造的復興を担う人材の育成基盤構築】

・科学教室、市民講演会、企業向けセミナー、自治体向けに各種セミナー等を実施。

・連携する自治体・施設・企業等と協力して、ミュージアム事業

と国際会議等を実施。

【福島を舞台として、世界的視野で福島の発展を担える人材の育成基盤構築】

- ・東京大学、福島高専で復興知教育プログラムを実施。自治体・企業へ放射線教育の提供。



フィールドワーク

- ・連携する自治体・施設等に大学生等を100名程度引率し、フィールド学習と地域交流を実施。



東日本大震災・原子力災害伝承館見学

- ・放射線に関する卓越した教育研究を実施して国際的に情報発信。製品化研究も実施して産業育成。

4. 取り組みによって得られる成果

- ・多層的な知識と技能を身につけて地域の発展に貢献できるミルフィーユ型人材が育成される。
- ・「福島らしい」新しい学術文化を創造し、面的な地域活性化・魅力と価値創造に貢献する。
- ・「福島ならでは」の卓越した教育・先端研究を実施し、復興知事業を国際的に情報発信できる。

カーボンニュートラル社会連携講座

Carbon-Neutral Social Cooperation Lecture

The government and Fukushima Prefecture have declared that they will aim to achieve carbon neutrality by 2050, and the development of human resources in carbon neutrality has become a significant issue.

In 2022, our school was chosen as a representative of higher education institution by subsidy program of Ministry of Economy, Trade and Industry. Therefore, we offered "Carbon-Neutral Social Cooperation Lecture" with TOYO SYSTEM Co. Ltd, and it will be scheduled to continue to be held in 2023. Moreover, we will make our best endeavors to promote human resource development, joint research and development related to carbon neutrality hereafter, and tackle this issue in cooperation with local companies.

1. 概要

政府及び福島県は2050年に向けカーボンニュートラルの実現を目指すことを宣言しており、カーボンニュートラルを専門とする人材育成が重要な課題となっています。

本校では、2022年度に経済産業省事業の「高等教育機関における共同講座創設支援事業費補助金」に採択され、東洋システム（株）様と共同で「カーボンニュートラル社会連携講座」を開設しました。本講座は2023年度も継続して実施する予定であり、今後はカーボンニュートラルに関する人材育成、共同研究・開発を推進し、新産業創出やカーボンニュートラル社会の実現に結びつくよう地元企業と連携し取り組んでいきます。

2. 2022年度実施プログラム

本事業では、①共同講座、②Web公開セミナー、③公開シンポジウムの3つのプログラムを実施しました。

①共同講座

本校専攻科1年生と地元企業従業員を受講対象者として、全国からカーボンニュートラルに関して第一線で活躍する講師を迎える全11回の共同講座を開催しました。

【講義テーマ】

エネルギー政策／火力発電／太陽光発電／水素／蓄電池／
デジタル／事業・企業化／地域政策等



②Web公開セミナー

共同講座受講者以外にも多くの方にご参加いただけるよう、オンラインの公開セミナーを全4回開催しました。

【講義テーマ】

- 第1回：気候変動がもたらす地球環境への影響
- 第2回：脱炭素先行国ノルウェー王国に学ぶ
“次世代” エネルギー普及社会における新たな事業機会
- 第3回：地域の脱炭素化の取り組み
- 第4回：『超モノづくり部品』によるゼロカーボンへの挑戦

③公開シンポジウム

本事業の総括として、本校学生、地元企業の従業員、一般市民を対象とした公開シンポジウムを開催しました。

【プログラム】

- 基調講演「カーボンニュートラルの実現に向けて」
講師：NHKエンタープライズエグゼクティブプロデューサー
堅達京子氏
- パネルディスカッション
「エネルギーをとりまく『変化』と課題」



サステナブルイノベーションセンター (SIセンター)

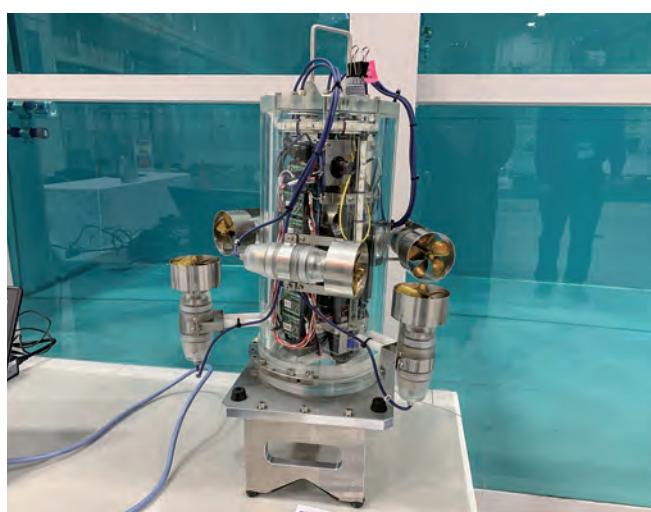
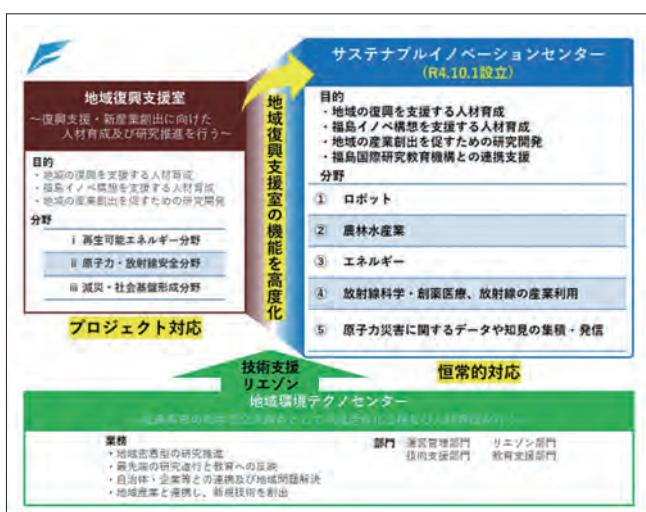
Sustainable Innovation Center

This center was established in October, 2022 as an upgraded version of the Regional Reconstruction Support Office, one of the internal organizations of the National Institute of Technology, Fukushima College, for the purpose of cooperating with and supporting F-REI, or Fukushima Institute for Research, Education and Innovation, established in April, 2023. On April 1, 2023, Fukushima College concluded an agreement for cooperation and collaboration with F-REI, and we will promote collaborative activities that effectively utilize the resources of both institutions, using his center as a base for cooperation, with the aim of fostering human resources and promoting research. We will continue to contribute to the reconstruction and development of the coastal areas of Fukushima Prefecture and the entire Tohoku region.

本センターは、地域の復興支援及び令和5年4月に設立された福島国際研究教育機構（F-REI）との連携・支援を目的に、学内組織である地域復興支援室の機能を高度化する形で令和4年10月に設置されました。本校は令和5年4月1日にF-REIとの連携協力に関する協定を締結しており、本センターを連携拠点として双方の資源を有効的に活用した協働活動を推進し、人材育成・研究推進の充実が図られるよう活動していくこととしています。継続的に福島県浜通り地域の復興及び発展、福島や東北の創造的復興に貢献できるよう努めてまいります。

【F-REIとの連携事業（予定）】

- 理事長等によるトップセミナー
- 公開講座・出前講座の実施等
- 共同研究・研究者交流



SIセンターの設置イメージ

水中探査ロボット ラドホタル



F-REIとの連携協力の締結式
(左) 田口福島高専校長、(中) 岸田内閣総理大臣、
(右) 山崎福島国際研究教育機構理事長



メタン発酵技術による地域バイオマスのエネルギー利用に関する研究



図書館 Library

図書館

Library

図書館は、学校全体の学習センターとしての役割を果たしています。ここには、教育及び研究に必要な情報の資料を中心に、授業に欠かせない参考図書、豊かな情操を養うための教養書、美術書などが開架式書架に並べられています。また、学術専門雑誌、一般及び自然科学雑誌、電子ジャーナル、電子書籍、新聞も自由に閲覧できるようになっています。本館は一般の方にも開放しています。

令和元年度に改修工事が竣工し、学習センターとしての設備の充実が図れました。

〈開館時間〉 平日（月～金）8:00～20:00

土曜日 9:00～16:00

〈休館日〉 日曜日、国民の祝日、年末年始等

※新型コロナウイルス感染防止対策として、現在、一般開放を中止しています。また、開館時間等も変更が生じています。

The College Library functions as center of study and information. It contains many important reference books for the study and research for each department. In the open browsing corner, many kinds of periodicals, weeklies, newspapers, new books, some white papers, and online journal etc. are accessible to students. The library has about 80,000 books. Our library is open to the public for academic study and research.

〈LIBRARY HOURS〉 Regular hours : Mon-Fri. 8:00-20:00

Sat. 9:00-16:00

〈Days Closed〉 Sunday, National Holidays



開架書庫 Library room

●蔵書 Books and Periodicals 令和5年4月1日現在 As of April 1, 2023

分類 Classification	図書(冊) Books		購入雑誌(タイトル数) Periodicals	
	和書 Japanese	洋書 Foreign	和雑誌 Japanese	洋雑誌 Foreign
総記 General	7,433	137	2	-
哲学 Philosophy	3,816	142	1	-
歴史 History	3,692	42	1	-
社会科学 Social Science	6,513	225	2	-
自然科学 Natural Science	12,726	2,868	7	-
工学 Technology	21,668	1,026	10	-
産業 Industry	943	6	-	-
芸術 Art	2,462	75	4	-
語学 Language	4,396	3,618	-	-
文学 Literature	8,311	653	2	-
小計 Subtotal	71,960	8,792	29	-
合計 Total	80,752		29	

情報処理教育センター

Information Processing Education Center

本センターは、情報処理の教育及び研究に資するために設置された学内共同施設です。演習室には、学生の演習用及び研究用に、Lenovo製サーバ、パソコンコンピュータを設置しています。また、学内LAN設備の中核機能をもち、各種サーバ類、ネットワーク管理機器が設置されています。

インターネットへは、高速イーサネット網でSINETへ1Gbps(帯域確保型)で接続し、全国の大学、高専及び研究機関はもとより、全世界と24時間情報のやりとりを行っています。

情報演習室は4室あり、演習用端末(Windows 11 Enterprise)を合計124台設置しています。基礎演習室、応用演習室は授業時間以外に学生へ開放しています。また、毎年一般向けに公開講座を実施し、多くの市民の方が訪れます。



講義演習室 Lecture and Seminar Room

The Information Processing Education Center was a intramural common space founded as a resource for both education and research. Education rooms have Lenovo servers and personal computers, and network management equipment which compose the core of the intramural LAN.

The Center has access to the Internet via Wide Area Ethernet to SINET and engages in a twenty-four-hour-a-day exchange of information with public and private universities, other national colleges of technology, and research institutes not only with in Japan but worldwide as well.

There are four Computer Rooms composed of 124 client computers(Windows 11 Enterprise). Computer Room For Literacy and Application is available for use by students outside of class time. Open education courses are held every year and attended by the general public.

●主な施設・設備

1. 建物 (313m²)

- 管理室
- サーバ室
- 情報基礎演習室
- 小演習室
- 情報応用演習室

Main Facilities

Buildings (313 m²)

- Management Office
- Server Room
- Computer Room for Literacy
- Small Computer Room
- Computer Room for Application

(3) 情報コミュニケーション演習室

- Edge L2 Switch×2台
- Windows Client PC×49台
- Black and White A3 Laser Printer×2台
- Projector×2台
- Pen Tablet×49台

Computer Room for Communication

- Edge L2 Switch×2
- Windows Client PC×49
- Black and White A3 Laser Printer×2
- Projector×2
- Pen Tablet×49

2. 設備

(1) 教育用計算機システム

- 演習室用コアL3スイッチ
- サーバー用L2スイッチ
- ユーザー認証、DNSサーバー×2台
(うち1台はWindows展開サービス兼用)
- プロキシサーバー×1台
- ファイルサーバー×1台

Facilities

Computer Education System

- Core L3 Switch for Computer Education Rooms
- L2 Switch for Servers
- User Authentication,
- DNS Server×2
- Proxy Server×1
- File Server×1

(4) 小演習室

- Edge L2 Switch×1台
- Windows Client PC×1台
- Macintosh Client PC×1台
- Large Color Ink-jet Printer×1台
- Color A4 Laser Printer×1台

Small Computer Room

- Edge L2 Switch×1
- Windows Client PC×1
- Macintosh Client PC×1
- Large Color Ink-jet Printer×1
- Color A4 Laser Printer×1

3. 演習室

(1) 情報基礎演習室

- フロアL2スイッチ×2台
- Windows Client PC×25台
- モノクロA3レーザープリンタ×1台
- カラー A3インクジェットプリンタ×1台
- プロジェクター(天吊) × 2台

Education Rooms

Computer Room for Literacy

- Edge L2 Switch×2
- Windows Client PC×25
- Black and White A3 Laser Printer×1
- Color A3 Ink-jet Printer×1
- Projector×2

(2) 情報応用演習室

- フロアL2スイッチ×2台
- Windows Client PC×49台
- モノクロA3レーザープリンタ×2台
- プロジェクター(天吊) × 2台

Computer Room for Application

- Edge L2 Switch×2
- Windows Client PC×49
- Black and White A3 Laser Printer×2
- Projector×2



ポスター用大型プリンター Large Printer for a Poster

地域環境テクノセンター

Center for Environmental Technology and Community Liaison (CETCL)

本センターは、それまでの環境科学教育研究センターと地域交流センターの両機能を合わせ、かつ効率よく新しい展開をはかることをめざして、平成18年に開設されました。本校が培った研究・教育の成果や試験・分析・教育技術等を地域の産業や文化の発展に積極的に貢献することを目的として設置された産学官民の連携を推進するための支援機関です。また環境科学に関する知識、技術の教育及び研究を行っており、地域社会の産業の発展と住民の生活環境の向上に貢献します。運営は、専門5学科、一般教科及び専攻科等から選出された教職員で構成される委員会によって行われ、4つの部門（管理運営、リエゾン、技術支援、教育支援）にわかれて活動しております。

研究・開発支援、試験・分析サービス、技術相談、講演会の開催や研究会の実施、技術・教育シーズ集の公開、公開講座・実習、出前授業等幅広く取組んで、地域の企業や小中学校に対する支援を行っています。

The CETCL opened in 2006 with the aim of integrating the functions of the former Environmental Science Education and Research Center and the Local Information Exchange Center, and developing new projects efficiently. The Center comprises a support organization that has been established to promote cooperation between industry, academia (civic) and government with the aim of contributing to the development of local industry and culture by actively sharing the results of KOSEN's daily research and education, and techniques for conducting experiments, analysis and education. The Center engages in research and education concerning knowledge and techniques related to environmental science and contributes toward the development of local industry and improvement of citizens' living environment.

The Center is administrated by a committee comprising members selected from each of the five departments, which engages in four categories of activities (management and administration, liaison, technical support, and educational support). The Center provides assistance for research and development, experimental and analytical services, and technical consultation; holds lectures and hosts conferences; publishes a List of Seeds for Technology and Education; hosts open college meetings and training sessions ; and engages in a wide variety of other activities that support local businesses, and primary and junior high schools.

●施設設備 Facilities Equipment

室名 Room	主要機器名	Main Apparatus
物性測定室 (A) Measurement Room (A)	走査型電子顕微鏡(SEM) 走査型プローブ顕微鏡(SPM) デジタルマイクロスコープ	Scanning Electron Microscope Scanning Probe Microscope Digital Microscope
物性測定室 (B) Measurement Room (B)	X線回折装置(XRD) 熱分析装置 X線光分子分光分析装置(XPS) NaI(Tl)シンチレーション検出器	X-ray Diffractometer DTA-TG Apparatus X-ray Photoelectron Spectrometer NaI (Tl) Scintillation Detector
物性測定室 (C) Measurement Room (C)	液体クロマトグラフ質量分析計(LC-MS) 核磁気共鳴装置(¹³ C-NMR)	Liquid Chromatograph Mass Spectrometer Nuclear Magnetic Resonance Spectrometer
物性測定室 (D) Measurement Room (D)	ゲルマニウム半導体検出器 液体シンチレーション検出器	Germanium Semiconductor Detector Liquid Scintillation Counter
物性測定室 (E) Measurement Room (E)	ICP発光分光分析装置(ICP-OES) ICP質量分析装置(ICP-MS)	Inductively Coupled Plasma-Optical Emission Spectrometer Inductively Coupled Plasma-Mass Spectrometer
環境分析実験室 Environmental Analysis	高速液体クロマトグラフ 紫外可視吸光光度計	High Pressure Liquid Chromatograph UV/Vis Spectrophotometer



ICP発光分光分析装置 ICP Optical Emission Spectrometer



X線光分子分光分析装置 X-ray Photoelectron Spectrometer



出前授業 Dispatch Classes



公開講座 Open College

● 産学官連携

本センターによる産学官連携事業は、①民間企業との共同研究、②高専等からの技術移転、③高専発ベンチャーを目的とし「技術相談」・「受託試験、受託研究」・「共同研究」・「公開講座」・「T L O事業」・「リフレッシュ教育」・「技術及び教育シーズ集の編纂」等を行っています。

また、いわきヒューマンカレッジ（市民大学）への参画や技術経営セミナーの開催、いわき産学官ネットワーク協会などへの取組み等を通じ地域支援事業を積極的に行ってています。

● 学学連携（学校支援）

小中学校の総合学習、理科教育、コンピュータ教育などの支援をするために公開実習、出前授業、学校開放等の事業を積極的に進めています。

- The Center participates in industry-academia government cooperation programs around three pillars : ① joint research with private enterprises, ② transferal of technology from technical colleges, and ③ venture business originating from technical colleges. In concrete terms, the Center engages in "technical consultation", "entrusted examinations and entrusted research", "joint research", "open lectures", "TLO projects", refreshment education" and "editing of the 'List of Seeds for Technology and Education'" The Center also actively engages in local support projects through participation in the "Iwaki Human College (citizens college), and the hosting of seminars on management of technology etc.

- The Center actively promotes open training seminars, dispatch classes, and open college days to support local primary and junior high schools' integrated learning, science education and computer literacy education.

国際化・SDGs 推進センター

Center for International Relations and SDGs Promotion

国際化・SDGs推進センターは、海外の大学等との学術交流、留学生の受入れ、本校学生の海外インターンシップ等の海外派遣等、学生及び教職員の国際交流活動を積極的に推進しています。

また、本校の教育目標である「持続可能な社会の発展」に貢献できる人材育成のため、国際的に持続可能な開発のための目標であるSDGsを学内に浸透させること、国内外のSDGs関連団体との連携を進めること等、学生及び教職員のSDGs推進にかかる様々な活動を支援します。

The center aims to foster future global leaders who will contribute to the "Sustainable Development" of global and local societies. The center supports students, lecturers and staff participating in all types of training abroad. It also supports international students' studies at NIT(KOSEN), Fukushima College. By promoting SDGs, the center aims to foster future engineers with ethics based on "Sustainability".



国際化・SDGs 推進センターの主な役割 The Center's Main Roles

- 留学生及び海外インターンシップ学生等の受入れに関すること
Support international students and international internship students
- 海外インターンシップ等学生の海外派遣に関すること
Support domestic students joining internships and study programs abroad
- 海外の大学等との交流及び協定に関すること
MOUs and/or agreements with foreign universities and organizations
- 国内外のSDGs及びサステイナビリティを推進する団体や学会との交流及び協定に関すること
MOUs and/or agreements with domestic and foreign organizations which focus on the promotion of SDGs
- 福島高専のSDGs及びサステイナビリティ推進のホールスクールアプローチの展開に関すること
All activities which accelerate "whole-school-approaches to SDGs or campus sustainability promotion" at NIT(KOSEN), Fukushima College
- SDGs及びサステイナビリティ推進に関する学生の活動を支援すること
Support students' activities which focus on SDGs promotion

1. 国際化の推進

■ 留学生の受入れ

本校では、3年次に編入学する長期留学生及び3か月以内の短期留学生を受入れています。長期留学生は、授業に出席し、準学士の資格を取得して3年後に卒業します。短期留学生は、指導教員のもとで研究活動を行います。留学生にはチューターを配し、日本の生活や文化に親しむ機会を提供しています。

●留学生の受入れ（在籍状況）

Acceptance of International Students

国費留学生（例年1、2名の受入れ）、マレーシア政府派遣留学生（例年1、2名の受入れ）、モンゴル政府派遣留学生（受入れ事業は令和3年度まで）

■ Acceptance of International Students

We have been accepting both long-term and short-term students. Long-term students transfer into the third year and earn credits to receive associates degree. After graduation, most of the students transfer to universities in Japan. Short-term students do their research under their supervisors in English. We assign tutors to international students to give them opportunities to learn about Japanese life and culture.



■ 学生の海外への送り出し

本校では、3年生対象の地元企業の海外拠点へのインターンシップと、専攻科対象の協定校へのインターンシップがあります。どちらも、単位認定をうけることができます。本校の協定校への派遣プログラムや、高専機構本部や他高専からの派遣プログラムを学内に周知し、学生の留学機会の提供を行っています。

■ Overseas Internships

NIT-FC has sent third year students to the overseas' bases of local firms and advanced courses students to our partner universities abroad. Students can earn credits through participating in either internship program. We offer our students various exchange programs offered by our partner universities, the headquarters of the National Institute of Technology (KOSEN) and another KOSENs in Japan.

● 海外インターンシップ等の学生派遣 Dispatching Students for International Internships

高専機構本部海外インターンシップ、佐藤辰彦奨学金及び奈良基金によるアジア地区海外インターンシップ、フランス・リール地区等 IUTとの学生相互派遣、フィンランド ヘルシンキ・メトロポリア応用科学大学及びトゥルク応用科学大学との学生相互派遣、オーストラリア・ジェームズクラック大学への海外インターンシップ、海外ホームステイ型英語体験研修(オーストラリア・カナダ)、ISTS / JSTS 「持続可能な社会構築への貢献のための科学技術」に関する国際シンポジウム、大連短期留学プログラム、シリコンバレー・ジャパン・カレッジ短期留学プログラム、イギリス・ハートフォードカレッジオックスフォード語学研修プログラム、Regional Conference on Campus Sustainability、廃炉創造学修プログラム、英語キャンプ in シンガポール、オタゴポリテクニック就業経験プログラム、Korea Tech Summer Program

■ 海外との学術交流

本校では、海外の大学等と学術交流協定を結び、学生派遣及び受入れを主な事業とし、招聘教員による特別講義の実施、国際学会や交流事業を開催しています。また、協定校からの募集等を学内に周知しております。

■ Academic Exchange Agreements

We have signed Memorandum of Understandings with foreign institutions and have exchanged students mutually with them. In addition, lecturers from these institutions have been invited to give presentations or classes at our institution and various international conferences and exchange programs have been undertaken.

● 海外の学術交流協定校 Overseas Partner Institutions

ブラジル:サンパウロ大学(サンカルロス校工学部)、オーストラリア:ジェームズクラック大学、メキシコ:グアナファト大学、フランス:ルアーブル大学ルアーブル技術短期大学、カナダ:バンクーバーアイランド大学付属高校、中国:大連東軟信息学院、陝西工業職業技術学院、ポルトガル:ポルト工科ポリテクニック、タイ:チェンマイ大学、アメリカ:NPO 法人シリコンバレー・ジャパン・カレッジ 他、他高専とのコンソーシアムとして、フランス : IUT、フィンランド : HMUAS、TUAS

2. SDGsの推進

国内外のSDGs及びサステイナビリティを推進する団体や学会との交流及び協定に関すること。

特に福島高専のSDGs及びサステイナビリティに関するホールスクールアプローチの展開や学生の活動を支援することに重点を置き推進していきます。

We have signed MOUs and/or agreements with domestic and foreign organizations which focus on the promotion of SDGs.

Moreover, we offer all activities which accelerate "whole-school-approaches of SDGs or campus sustainability promotion" at NIT(KOSEN) , Fukushima College. We also support our students' activities which focus on the promotion of SDGs.

取組は「持続可能な社会の発展に向けた取組」39ページをご参照ください。

- ESD拠点校としての活動
- SDGs Webinar2022の開催
- SDGs関連国際会議への参加の推奨

- SDGs推進に向けた両技科大との連携
- 学内でのSDGs理解の推進に向けた取組み

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



モノづくり教育研究支援センター

Manufacturing Support Center for Education and Research

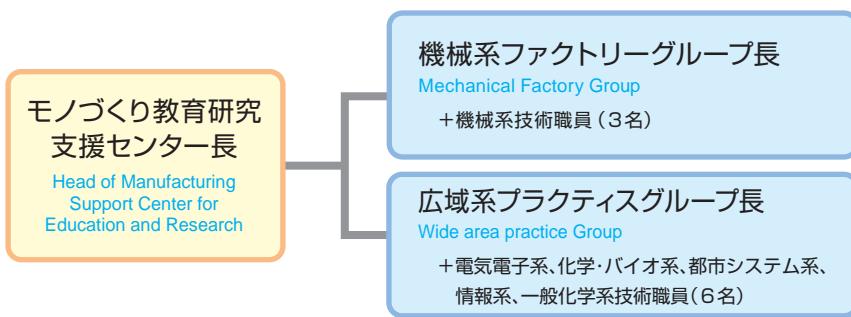
モノづくり教育研究支援センターは、2つの部門、専門的な常勤の技術職員11名から成る組織です。

センターの目的は、技術・技能支援、学生の実験・実習支援、教職員の研究支援です。

また、実習工場、モノづくり演習室の管理運営も行います。地元企業の技術相談、NPO法人など地元組織との連携も行っています。

Support center for MONOZUKURI (Creative Manufacturing) Education and Research consists of two divisions with 11 full-time technical staffs. The center aims to enhance the effects of hands-on technical training and experiments for students and the research activities of academic staffs. The center is also in charge of managing the manufacturing laboratories and facilities on campus. The center also provides technical consultancies to local industries and works with several local organizations, such as NPO.

●組織図 Organization Diagram



複合加工機
(INTEGREX i-200 ヤマザキマザック株式会社)
Compound machining machine

●実習工場施設設備 Facilities & Equipment in Manufacturing Laboratory

設備名	型番
CNCワイヤー放電加工機 CNC wire-cut electrical discharge machine	AQ327L AL600P
精密CNC平面研削盤 Precise CNC surface grinding machine	TS-A3
三次元レーザー加工機 Three-dimensional Laser processing machine	SPACE GEAR U44
CNC立型マシニングセンタ CNC vertical machining center	Dura Vertical 5060
CNC普通旋盤 CNC centre lathe	TAC-360
汎用普通精密旋盤 Usual precise lathe	TSL-550
NCフライス盤 NC milling machine	KE-55 IB-1V
半自動高速小形ホブ盤 Semi-automatic high-speed small hobbing machine	HOBLON 8-FN
サーボベンディングマシン Servo Press Brake	EG-4010
高速精密切断機 High-speed precise cutting machine	SP-7 HS-45A
バンドソーマシン Band saw machine	HFA250
シャーリングマシン Shearing machine	AST-612
複合加工機 Compound machining machine	INTEGREX i-200

学生学習支援センター

Student Learning Support Center

学生学習支援センターは、本校で必要不可欠な基礎科目（数学・物理・化学）の学習支援と実験・実習の提出物作成の支援を目的として令和元年度に設置されました。

The Student Learning Support Center was established in 2019 to provide the students with learning support for basic essential subjects such as math, physics and chemistry, and also to help them with assignments of their specialized subjects.

主な取組として、ティーチングアシスタント（TA）による基礎科目的学習支援を行い、授業で理解が不十分なところを克服する支援をしております。具体的には授業期間中の放課後、多目的学習ルーム（図書館2階）にTAを配置し、つねに学習支援が受けられる体制を整えています。さらに定期試験前には試験対策学習の支援を行っています。また、各自の学習習慣の問題点の気づきや学習目標の設定のために、低学年を対象に基礎学力診断テスト（数学、英語）を実施しています。



TAとの学習の様子



多目的学習ルーム

学生保健センター

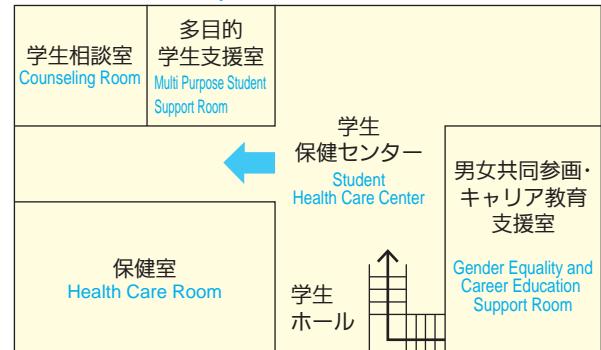
Student Health Care Center

学生保健センターは、学生の就学の健全性を保つために、心身の健康の維持・増進を図ることを目的に設置されています。「保健室」「学生相談室」「多目的学生支援室」で構成され、教員・学校医・カウンセラー・看護師によって運営されています。

In order to maintain the wellness of students, Student Health Care Center offers both physical and mental health care for students.

The center consists of "Health Care Room" "Counseling Room," and "Multi Purpose Student Support Room", supported by teachers, school physicians, counselors and nurses.

磐陽会館2階 Ban'yo Student Hall 2F



保健室 Health Care Room



学生相談室 Counseling Room



多目的学生支援室 Multi Purpose Student Support Room



磐陽会館 Ban'yo Hall

福利厚生施設「磐陽会館」

Ban'yo Student Hall and Health Center



男女共同参画・キャリア教育支援室
Gender Equality and Career Education Support Room



売店 Store



食堂 Cafeteria

学生・教職員のための福利厚生施設、磐陽会館には、食堂・売店・学生保健センター・男女共同参画支援室等があります。

昼休みや放課後は、ここでくつろぐ多くの学生たちでにぎわっています。

Two-storied facility contains a cafeteria, a store, the Student Health Care Center, and a gender equality and career education support room.

Students use this hall to refresh themselves during their lunch break and after school.

学寮「磐陽寮」

Ban'yo Student Dormitory

本校の学寮は磐陽寮と称され、独立した6棟（若葉棟・青葉棟・暁棟・白雲棟・曙棟（国際寮）・こずえ棟）からなっています。

寮では起床から就寝まで、日課に従つての生活及び寮生会活動等を通して

- 規律ある生活
- 学力の育成
- 相互理解と親和
- 個性の尊重

を体得するよう指導しています。

The Ban'yo Dormitory consists of six buildings : the Wakaba, Aoba, Akatsuki, Hakuen, Akebono and Kozue Dormitories.

Through daily guidance and activities of the Residents Council,resident students are encouraged to learn the following four principles in their daily lives.

- An orderly life
- Improvement of study skills
- Mutual understanding and friendship
- Respect for individual differences



学寮 Dormitory

1. 定員

男子191名、女子109名

2. 施設・設備

●学生居室

原則として男子低学年は、2名1室、男子高学年は1～2名1室で入居しています。（女子は1名1室）

机・椅子・本箱・ベッド・衣類ロッカー・

シューズラックは貸与

各居室に冷暖房完備・LAN設置

●共同施設

食堂1ヵ所（給食は業者委託）

浴室（男子用）・浴室（女子用）

各棟に、談話室・自習室・洗濯室等設置

●その他の施設

事務室



若葉寮（女子寮）
Wakaba Dormitory



曙寮居室 A Boarder's Room

3. 入寮者数 Number of Residents

令和5年4月1日現在 As of April 1, 2023

学科 Department	学年 Year	1年 1st	2年 2nd	3年 3rd	4年 4th	5年 5th	合計 Total
		(1)	(1)	(1)①	(1)	(2)△	(5)①△
機械システム工学科 Mechanical System Engineering	11 (1)	11	12 (1)①	9 (1)	10 (2)△	53 (5)①△	
電気電子システム工学科 Electrical and Electronic System Engineering	9 (2)	10 (3)	5	11 (1)①	7 (1)△	42 (6)①△	
化学・バイオ工学科 Applied Chemistry and Biochemistry	5 (2)	7 (3)	9 (5)	6 (3)	7 (3)	34 (16)	
都市システム工学科 Civil and Environmental Engineering	5 (3)	7 (2)	4 (1)	6 (1)①	9 (2)①	31 (8)③	
ビジネスコミュニケーション学科 Communication and Business	7 (4)	10 (7)	3 (2)	5 (2)	7 (6)	32 (21)	
合計 Total	37 (12)	45 (15)	33 (8)②	37 (7)②	40 (14)①△	192 (56)⑤△	

()内は女子内数 ○内は留学生男子内数 △内は留学生女子内数
() Female students; ○ male foreign students △ Female foreign students

1.Resident Capacity

Male:191, Female:109

2.Facilities and Conveniences

● Resident Rooms

Rooms are shared by two students in the first and second years and occupied by one or two students in the third year.

Rooms are air-conditioned and equipped with desk, chair, bed, loker and shoe rack.

● Public Facilities

A large dining hall

Two bathrooms (a large one for use by male students and a smaller one for female students)

Each building is equipped with a lounge, study room and laundry.

● Other Facilities

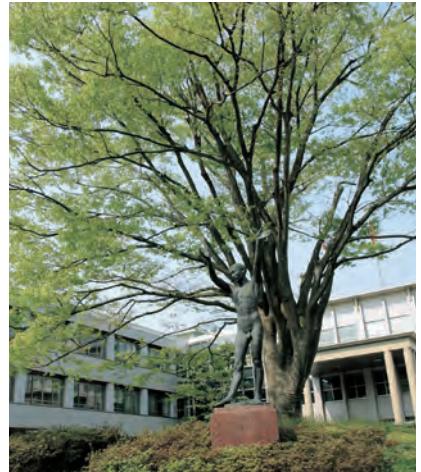
An office for daily affair in the dormitory.

学生

Student Body

●学生定員及び現員 The Number of Students

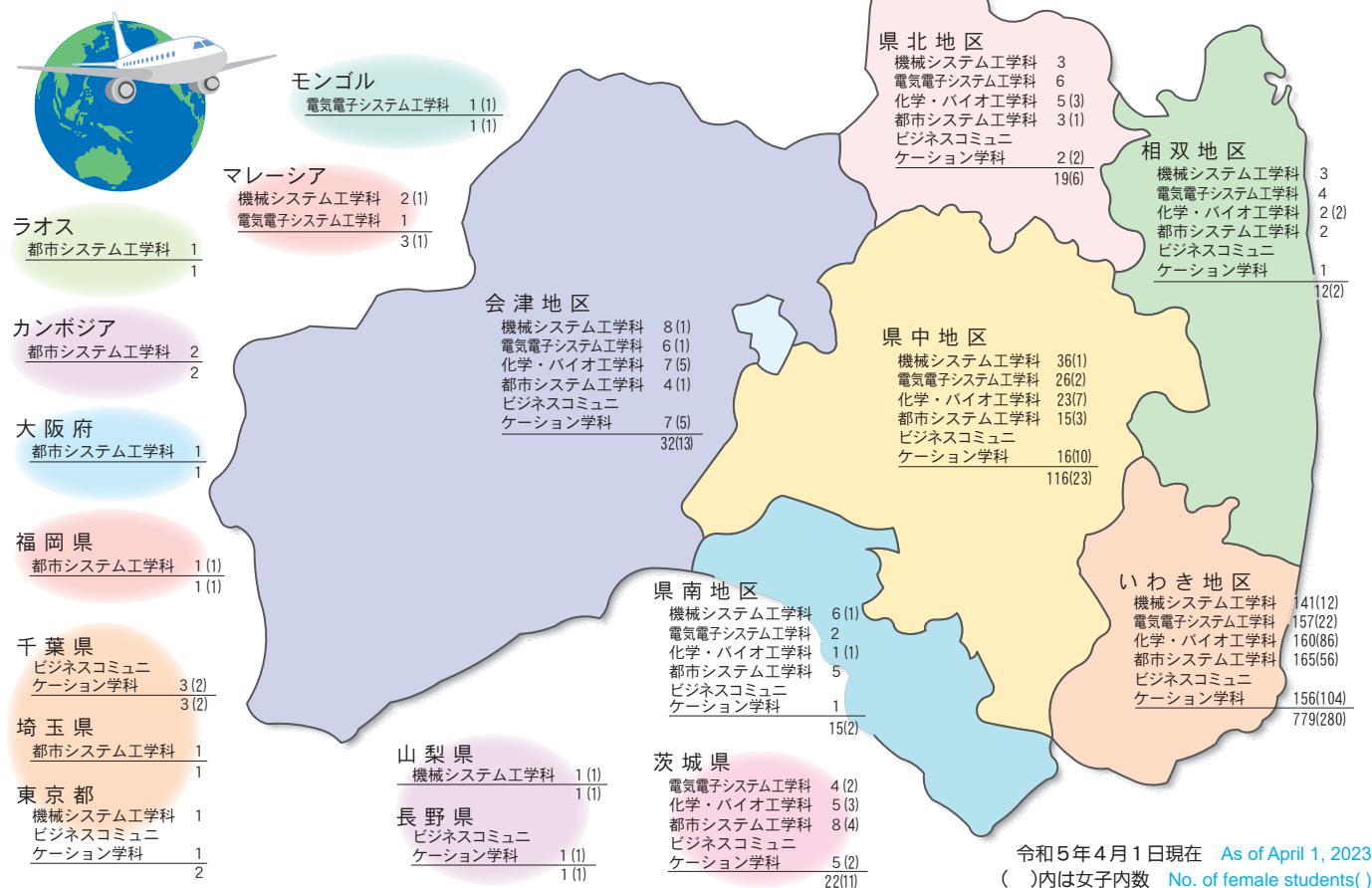
学 科 Department	入学定員 Allotted Number	現 員 Current Student Population					合計 Total
		1年 1st Year	2年 2nd Year	3年 3rd Year	4年 4th Year	5年 5th Year	
機械システム工学科 Mechanical System Engineering	40	42 (38,4)	39 (37,2)	40 (38,2)	37 (35,2)	43 (36,7)	201 (184,17)
電気電子システム工学科 Electrical and Electronic System Engineering	40	43 (37,6)	41 (36,5)	41 (36,5)	45 (37,8)	39 (35,4)	209 (181,28)
化学・バイオ工学科 Applied Chemistry and Biochemistry	40	42 (17,25)	41 (18,23)	42 (19,23)	39 (23,16)	39 (19,20)	203 (96,107)
都市システム工学科 Civil and Environmental Engineering	40	43 (26,17)	38 (31,7)	41 (30,11)	46 (27,19)	40 (28,12)	208 (142,66)
ビジネスコミュニケーション学科 Communication and Business	40	41 (21,20)	41 (9,32)	40 (10,30)	36 (14,22)	40 (15,25)	198 (69,129)
合計 Total	200	211 (139,72)	200 (131,69)	204 (133,71)	203 (136,67)	201 (133,68)	1,019 (672,347)



専 攻 科 Advanced Courses	入学定員 Allotted Number	現 員 Current Student Population		合計 Total
		1年 1st Year	2年 2nd Year	
産業技術システム工学専攻 Industrial Technology System Engineering Course	16	16 (11,5)	21 (15,6)	37 (26,11)
ビジネスコミュニケーション学専攻 Business Communicology Course	4	4 (1,3)	7 (2,5)	11 (3,8)
合計 Total	20	20 (12,8)	28 (17,11)	48 (29,19)
研究生 research student		3 (2,1)		
合計在学者数 Total		1,070 (703,367)		

令和5年4月1日現在 As of April 1, 2023 ()内は(男子,女子)数 (male female)

●出身地別学生数 The Number of Students by Home District



●入学志願者状況 The Number of Applicants for Admission

学 科 Department		工 機 械 械 学 シス テム ス テ ム 科 学 科 ム	電 気 気 学 ス テム ス テ ム 科 学 科 ム	工 化 学 化 学 ・ 学 バイ 科 才	工 都 市 都 市 シス テム シス テム 科 学 科 ム	学 コ ミ ユ ジ ケ ー シ ョ ンス BC	合 計 Total
入学定員 The Admission Number		40	40	40	40	40	200
平成 29 年度	志願者数 The Number of applicants	42	65	43	55	43	248
	志願倍率 The Competitive Ratio	1.1	1.6	1.1	1.4	1.1	1.2
平成 30 年度	志願者数 The Number of applicants	49	66	51	46	52	264
	志願倍率 The Competitive Ratio	1.23	1.65	1.28	1.15	1.3	1.32
平成 31 年度	志願者数 The Number of applicants	40	66	40	33	44	223
	志願倍率 The Competitive Ratio	1.0	1.7	1.0	0.8	1.1	1.1
令和 2 年度	志願者数 The Number of applicants	59	70	39	65	63	296
	志願倍率 The Competitive Ratio	1.5	1.8	1.0	1.6	1.6	1.5
令和 3 年度	志願者数 The Number of applicants	43	47	50	41	35	216
	志願倍率 The Competitive Ratio	1.1	1.2	1.3	1.0	0.9	1.1
令和 4 年度	志願者数 The Number of applicants	39	47	46	34	47	213
	志願倍率 The Competitive Ratio	1.0	1.2	1.2	0.9	1.2	1.1
令和 5 年度	志願者数 The Number of applicants	46	38	61	53	47	245
	志願倍率 The Competitive Ratio	1.2	1.0	1.5	1.3	1.2	1.2



高校対抗 eSPORTS全国大会で準優勝



全国高専将棋大会団体戦で準優勝



高専ロボコン2022全国大会でベスト8



Sakura Sagawa

全国高専英語プレコン全国大会で優勝



ディジタル技術検定試験で優秀賞及び団体優秀賞を受賞

●奨学生数 The Number of Scholarship Students

令和5年4月1日現在 As of April 1, 2023

区分	日本学生支援機構 Japan Student Services Organization	その他の奨学生 ^{注)} Other Scholarship Students	現員に対する比率 The ratio
2年	0	7	3.5%
3年	2	4	2.9%
4年	4	7	5.4%
5年	26	11	18.4%
合計	32	29	7.5%

注1) 日本学生支援機構は、令和2年4月よりスタートした高等教育の修学支援制度における給付奨学生と、貸与奨学生の合算人数となります。

(給付・貸与併用者は1名として数える)

注2) 各自治体、法人及び企業からの奨学生になります。

●卒業生の進路（令和5年3月卒業生）Career Path of the Graduates, Class of 2022 ()内は女子内数 ()means the Number of the Female Students

区分 Classification	機械システム工学科 Mech.Eng.	電気電子システム工学科 Elec.Eng.	化学・バイオ工学科 Chem.Biochem.	都市システム工学科 Civil.Eng.	ビジネスコミュニケーション学科 BC	合計 Total
卒業者数 The Number of Graduates	43 (1)	40 (2)	39 (23)	36 (13)	39 (30)	197 (69)
進学者数 The Number of Students Going to University	24	18 (2)	26 (14)	17 (4)	23 (16)	108 (36)
就職者数 The Number of Employed	17 (1)	21	13 (9)	18 (8)	10 (9)	79 (27)
各種学校その他 Special Training School etc.	2	1	0	1 (1)	6 (5)	10 (6)

●就職者の産業別分野 Employment by Industry

産業別分野 Field of Industry	機械システム工学科 Mech.Eng.	電気電子システム工学科 Elec.Eng.	化学・バイオ工学科 Chem.Biochem.	都市システム工学科 Civil.Eng.	ビジネスコミュニケーション学科 BC	合計 Total
建設業 Construction				14 (7)		14 (7)
製造業 Manufacturing	食料品・飲料 たばこ・飼料 Food / Beverage Products Cigaret / Animal Food		1			1
	化学工業 石油・石炭製品 Chemical Petroleum / Coal Products	4	1	7 (4)		12 (4)
	紙・繊維加工 Paper / Fiber Processing	1				1
	鉄鋼業・非鉄金属 金属製品 Steel Industry Non-iron Metal Products Metal Products	1				1
	はん用・生産・ 業務用機械器具 General-Purpose Machinery Production Machinery Business Oriented Machinery	1	1		2 (2)	4 (2)
	電子部品・デバ イス・電子回路 Electronic Parts Devices / Electronic Circuits	1	7			8
	電気機械器具 Electrical Machinery	1			1 (1)	2 (1)
	輸送機械器具 Transpotation Machinery	2	1			3
	製剤・医薬品 Medical Product Preparations			5 (5)		5 (5)
電気・ガス 熱供給・水道業	Electricity / Gas Heat Supply / Water	1	2			3
情報通信業	Informations		5		2 (2)	7 (2)
運輸業・郵便業	Transpotation Communications		1			1
卸売業・小売業	Wholesale and Retail Trade	1 (1)			2 (1)	3 (2)
金融業・保険業	Finance and Insurance				1 (1)	1 (1)
学術研究 専門技術サービス業	Academic Study etc	3	2	1	2 (1)	1 (1)
地方公務	Local Government Services	1			1 (1)	4 (1)
計 Total	17 (1)	21	13 (9)	18 (8)	10 (9)	79 (27)

●大学等編入学状況（国公私立） Students Continuing Education at National, Public, and Private Universities ()内は女子内数 ()means the Number of the Female Students

大学名 University	卒業年度 Graduation Year	平成30年度 2018	令和元年度 2019	令和2年度 2020	令和3年度 2021	令和4年度 2022
小樽商科大学	Otaru University of Commerce			1		
北海道大学	Hokkaido University			1		
北見工業大学	Kitami Institute of Technology					1 (1)
弘前大学	Hirosaki University				1	
岩手大学	Iwate University	1		1 (1)		1 (1)
東北大学	Tohoku University	4 (2)	3	3	3	1
秋田大学	Akita University			1	1	1
山形大学	Yamagata University	1	1		2	3 (2)
福島大学	Fukushima University	2 (1)	2	3	1	7 (1)
茨城大学	Ibaraki University	4 (1)	4	5	4 (2)	6 (1)
宇都宮大学	Utsunomiya University	3	4 (2)	5 (3)	1	4 (2)
群馬大学	Gunma University		1 (1)	1		1
千葉大学	Chiba University	2		6 (2)	3	3
横浜国立大学	Yokohama National University			1	1	1
山梨大学	University of Yamanashi	1				
信州大学	Shinshu University	1	1	1		1
新潟大学	Niigata University	6 (1)	2 (2)	2 (1)	4 (1)	1 (1)
筑波大学	University of Tsukuba	1 (1)	2 (1)	5 (4)	5 (2)	5 (3)
長岡技術科学大学	Nagaoka University of Technology	9 (2)	8 (1)	7	11 (2)	20 (4)
お茶の水女子大学	Ochanomizu University	1 (1)	1 (1)		2 (2)	
電気通信大学	The University of Electro-Communications			2	1	1
東京工業大学	Tokyo Institute of Technology	1	2	1 (1)	1	
東京農工大学	Tokyo University of Agriculture and Technology	3 (2)	8 (2)	3	2 (1)	4 (1)
東京海洋大学	Tokyo University of Marine Science and Technology	1		1 (1)		
福井大学	University of Fukui					2
岐阜大学	Gifu University	4 (1)	1 (1)		1	1
静岡大学	Shizuoka University	1				1 (1)
名古屋大学	Nagoya University			1 (1)		
三重大学	Mie University					2 (1)
豊橋技術科学大学	Toyohashi University of Technology	3 (1)	2	5	3	4 (1)
滋賀大学	Shiga University	1 (1)		1 (1)		1
神戸大学	Kobe University	1			2 (2)	1 (1)
和歌山大学	Wakayama University			1 (1)		
島根大学	Shimane University					1
広島大学	Hiroshima University				1	2 (2)
山口大学	Yamaguchi University					1
愛媛大学	Ehime University			1		
高知大学	Kochi University				1 (1)	
九州大学	Kyushu University			2 (2)	2 (1)	1
琉球大学	University of the Ryukyus				1	
長野大学	Nagano University			1 (1)		
東京都立大学	Tokyo Metropolitan University			1	2	2
福岡県立大学	Fukuoka Prefectural University			1 (1)		
東北芸術工科大学	Tohoku University of Art & Design					1 (1)
千葉工業大学	Chiba Institute of Technology	1	1		1	1 (1)
千葉商科大学	Chiba University of Commerce			1 (1)		
鎌倉女子大学	Kamakura Women's University					1 (1)
埼玉工業大学	Saitama Institute of Technology					1
駒澤大学	Komazawa University					2 (1)
上智大学	Sophia University	1				
専修大学	Senshu University		1 (1)			
多摩美術大学	Tama Art University		1			
中央大学	Chuo University				1	
東海大学	Tokai University					1 (1)
東京都市大学	Tokyo City University				2 (1)	
明治学院大学	Meiji Gakuin University			1		
創価大学	Soka University					1 (1)
学習院女子大学	Gakushuin Women's College	1 (1)				
関西外国語大学	Kansai Gaidai University			1 (1)		
東京国際工科専門職大学	International Professional University of Technology in Tokyo					1
福島高専専攻科	Fukushima National College of Technology	35 (6)	43 (15)	26 (6)	26 (10)	20 (8)
計 Total		89 (21)	88 (27)	93 (28)	87 (26)	108 (36)

●専攻科修了生の進路 (令和4年度修了)

()内は女子内数 ()means the Number of the Female Students
Place of employment / Graduate school : Advanced Course graduates (Certificate of Graduation from Advanced Course, March 2023)

区分 Classification	産業技術システム工学専攻 Industrial Technology System Engineering Course	ビジネスコミュニケーション学専攻 Business Communicology Course	計 Total
修了者数 Number Completion	22 (5)	2	24 (5)
進学者数 Number Continuing Education	3	0	3
就職者数 Number Employed	19 (5)	2	21 (5)
各種学校その他 Special Training School etc.	0	0	0

●就職者の産業別分野 Employment by industry

産業別分野 Field of Industry	産業技術システム工学専攻 Industrial Technology System Engineering Course	ビジネスコミュニケーション学専攻 Business Communicology Course	計 Total
建設業 Construction	1 (1)		1 (1)
製造業 Manufacturing	化学工業 石油・石炭製品 Chemical Petroleum / Coal Products	2 (2)	2 (2)
	鉄鋼業・非鉄金属 金属製品 Steel Industry Non-iron Metal Products Metal Products	2	2
	電子部品・ デバイス・ 電子回路 Electronic Parts Devices Electronic Circuits	1	1
電気・ガス・熱供給・水道業 Electricity / Gas Heat Supply / Water	2		2
情報通信業 Informations	2 (1)	2	4 (1)
運輸業・郵便業 Transpotation/Communications	1		1
学術研究 専門技術サービス業 Academic Study etc	4		4
公務 Public Service	国家公務 National Government Services	1	1
	地方公務 Local Government Services	2	2
その他 Others	1 (1)		1 (1)
計 Total	19 (5)	2	21 (5)

●進学状況 Entrance into Graduate Schools

()内は女子内数 ()means the Number of the Female Students

修了年度 Completion Year	平成30年度 2018	令和元年度 2019	令和2年度 2020	令和3年度 2021	令和4年度 2022	計 Total
大学院・大学 Graduate School, University						
東北大學大学院 Graduate School of Tohoku University	2	1		3 (1)		6 (1)
山形大学大学院 Graduate School of Yamagata University			1			1
福島大学大学院 Graduate School of Fukushima University	1 (1)			1 (1)		2 (2)
茨城大学大学院 Graduate School of Ibaraki University	1	2			1	4
宇都宮大学大学院 Graduate School of Utsunomiya University				1 (1)		1 (1)
横浜国立大学大学院 Graduate School of Yokohama University			1	1 (1)		2 (1)
新潟大学大学院 Graduate School of Niigata University				3 (1)		3 (1)
筑波大学大学院 Graduate School of Tsukuba University					1	1
長岡技術科学大学大学院 Graduate School of Nagaoka University	1					1
東京工業大学大学院 Graduate School of Tokyo Institute of Technology	2					2
北陸先端科学技術大学院大学 Japan Advanced Institute of Science and Technology	1	1		1		3
京都大学大学院 Graduate School of Kyoto University				1		1
京都工芸繊維大学大学院 Graduate School of Kyoto Institute of Technology	1 (1)				1	2 (1)
山口大学大学院 Graduate School of Yamaguchi University	1 (1)					1 (1)
高知大学大学院 Graduate School of Kochi University			1			1
東京都立大学大学院 Graduate School of Tokyo Metropolitan University	1					1
慶應義塾大学大学院 Graduate School of Keio University				1		1
計 Total	11 (3)	4	3	12 (5)	3	33 (8)

■収入支出決算額（令和4年度） Finances (2022)

令和5年3月31日現在 As of March 31, 2023

●収入決算額 Revenue (千円) (shown in thousand yen)

区分 Classification	決算額 Settled Accounts
運営費交付金 Grants-in-Aid for Operating Expenses	35,998
授業料 Tuition Fee	249,135
入学・検定料 Entrance Fee	23,258
財産貸付料 Property Rental Charge	5,325
その他収入 Others	26,381
施設整備費 Grants-in-Aid for Facility Improvement Expenses	321,365
合計 Total	661,462

※科学研究費補助金及び外部資金を除く

●支出決算額 Expenditure (千円) (shown in thousand yen)

区分 Classification	決算額 Settled Accounts
人件費 Personal Expenses	38,750
教育研究経費 Education Research Expenses	195,261
教育研究支援経費 Education Research support Expenses	26,005
一般管理経費 General Management Expenses	84,169
施設整備費 Facility Improvement Expenses	321,365
合計 Total	665,550

※科学研究費補助金及び外部資金を除く

■科学研究費助成事業及び外部資金の受入状況 Grant-in-Aid for Scientific Research and Acceptance of External Funds

(千円) (shown in thousand yen)

科学研究費助成事業 Grants-in-Aid for Scientific Researches	31	31,251
共同研究 Joint Research	23	24,491
受託研究 Commissioned Research	7	32,916
受託事業 Trustee Business	11	43,597
補助金 Grants	7	66,183
寄附金 Endowments	24	21,710
その他の助成金 Other Endowments	11	2,453

■土地・建物 School Grounds, Buildings and Facilities

●土地 School Grounds

令和5年4月1日現在 As of April 1, 2023

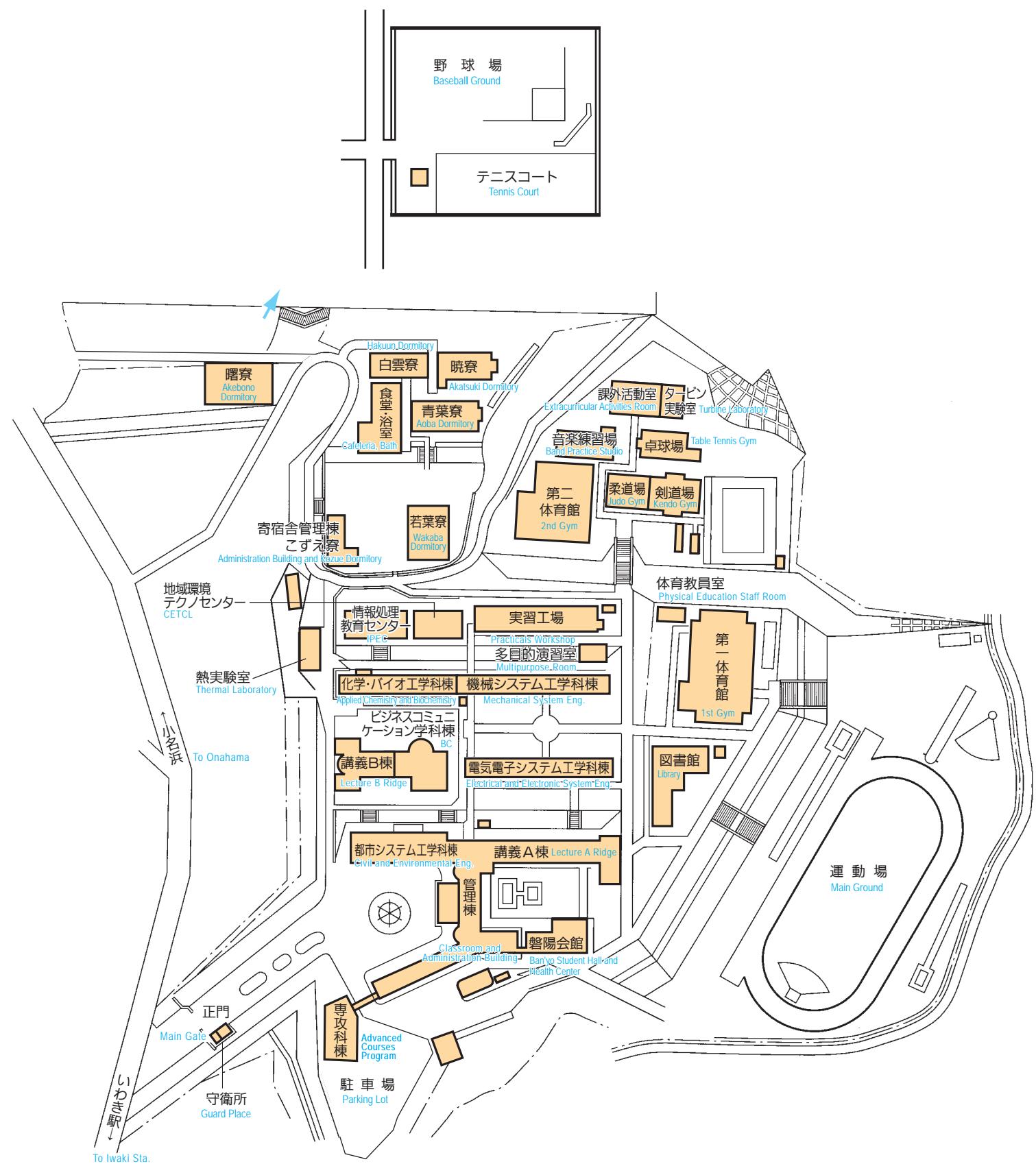
校舎・ 管理施設敷地 Building and Facility Site	屋外運動場 Area of Athletic Fields		寄宿舎敷地 Dormitory Site	その他法地、 湿地 Slope/Damp Ground	小計 Subtotal	職員宿舎敷地 Official Residence Site	合計 Total
	陸上競技場300Mトラック Track and Field	第二運動場、野球場、テニスコート Baseball Ground, Tennis Court					
48,096m ²	15,515m ²	18,874m ²	13,399m ²	9,725m ²	105,609m ²	5,729m ²	111,338m ²

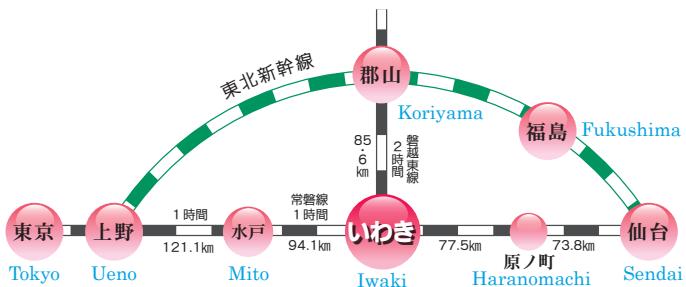
●建物 Buildings

令和5年4月1日現在 As of April 1, 2023

区分	建物名 Building	延面積m ²	区分	建物名 Building	延面積m ²
校舎 Management Department Management Facility	管理棟・講義A棟 Classroom and Administration Building-Lecture A Ridge	5,133	屋外運動場付属施設 Outdoor Sports Field附属设施	体育器具庫(3棟) Warehouse	134
	機械システム工学科棟 Department of Mechanical System Engineering	1,765		更衣室(2棟) Locker Room	82
	電気電子システム工学科棟 Department of Electrical and Electronic System Engineering	1,736		その他 Others	56
	講義B棟 Lecture B Ridge	1,990		Subtotal	272
	化学・バイオ工学科棟 Department of Applied Chemistry and Biochemistry	1,472	福利厚生施設等 Welfare and Benefits Facilities	磐陽会館 Ban'yo Student Hall and Health Center	698
	都市システム工学科棟 Department of Civil and Environmental Engineering	1,734		音楽練習場 Band Practice Studio	180
	ビジネスコミュニケーション学科棟 Department of Business Communication	1,851		課外活動室 Extracurricular Activities Room	168
	専攻科棟 Advanced Courses Program	1,160		Subtotal	1,046
	機械実習工場 Machine Practicals Workshop	636	寄宿舎 Dormitory	寄宿舎管理棟・こずえ寮 Administration Building and Kozue Dormitory	380
	熱実験室 Thermal Laboratory	136		若葉寮 Wakaba Dormitory	1,507
管理施設等 Management Facilities	タービン実験室 Turbine Laboratory	108		青葉寮 Aoba Dormitory	863
	情報処理教育センター Information Processing and Education Center	313		暁寮 Akatsuki Dormitory	745
	地域環境テクノセンター Center for Environmental Technology and Community Liaison	420		白雲寮 Hakun Dormitory	1,057
	体育教員室 Physical Education Staff Room	41		食堂・浴室 Cafeteria, Bath	671
	多目的演習室 Multipurpose Room	93		曙寮 Akebono Dormitory	1,510
	その他 Others	787		Subtotal	6,733
	Subtotal	19,375		職員宿舎 Official Residence	2,270
	図書館 Library	1,689		Total	34,420
	第一体育館 1st Gym	1,193			
運動場 Sports Field	第二体育館 2nd Gym	882			
	剣道場 Kendo Gym	450			
	柔道場 Judo Gym	242			
	卓球場 Table Tennis Gym	268			
	Subtotal	3,035			

■建物配置図 Campus Map





【JRの場合】最寄りの駅はJR常磐線いわき駅です

- ※ 東京駅から特急ひたちで約2時間25分
- ※ 郡山駅から磐越東線で約2時間
- ※ 仙台駅から特急ひたちで約2時間10分
- ※ JR常磐線いわき駅からタクシーで約5分
- ※ JR常磐線いわき駅前から新常磐交通バスで約10分
(⑥番のりば鹿島経由小名浜行き又は医療創生大経由ラバーカーいわき行きで高専前で下車)

【自動車の場合】高速道路利用

- ※ 常磐自動車道、磐越自動車道ともいわき中央IC.から車で約15分

福島工業高等専門学校要覧



2023年5月発行

編集発行 福島工業高等専門学校

〒970-8034福島県いわき市平上荒川字長尾30
TEL. 0246-46-0700(代表) FAX. 0246-46-0713(総務課)
URL <https://www.fukushima-nct.ac.jp>